

**ACE IN THE  
GUNDAM** U.C.0079  
U.C.0095

宇宙世紀のエースと専用機の系譜

**MOBILE SUIT GUNDAM**

## INDEX



## ACE OF ACES IN UNIVESAL CENTURY

アムロ・レイ／シャア・アズナブル

007



## ACES IN "ONE YEAR WAR" U.C.0079-0083

一年戦争

013

機動戦士ガンダム 014  
 機動戦士ガンダム 第08MS小隊 022  
 機動戦士ガンダム 0080 ポケットの中の戦争 026  
 機動戦士ガンダム MS IGLOO 028  
 機動戦士ガンダム MSイグルー2 重力戦線 032  
 GUNDAM THE RIDE -A BAOA QJ- 036  
 機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 036



## ACES IN "ONE YEAR WAR" ANOTHER STORIES

一年戦争異聞録

041

MSV／MSX 042  
 戦術戦術大図鑑 051  
 ガンダムゲーム 053  
 機動戦士ガンダム CROSS DIMENSION 0079  
 機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINY  
 機動戦士ガンダム外伝 コロニーの落ちた地で…  
 ジオニックフロンティア 機動戦士ガンダム0079  
 機動戦士ガンダム戦記  
 機動戦士ガンダム外伝 宇宙、閃光の果てに…  
 機動戦士ガンダム外伝 ミッシングリンク  
 機動戦士ガンダム戦記／Play Station3  
 機動戦士ガンダム MS戦線0079  
 ガンダムブレイカー



## AFTER "ONE YEAR WAR" U.C.0087-0096

### グリプス戦役

機動戦士Zガンダム

005

### 第一次ネオ・ジオン戦争

機動戦士ガンダムZZ

075

### 第二次ネオ・ジオン戦争「シャアの反乱」

機動戦士ガンダム 逆襲のシャア

087

### ラプラスの箱を巡る争乱

機動戦士ガンダムUC

091



## UNIVERSAL CENTURY

宇宙世紀概論 U.C.0079-U.C.0096

004



## COMICS

ガンダムコミック

103



## ACE PILOT LIST U.C.0079-0096

宇宙世紀エースパイロット総覧

107



## COLUMNS

エースの定義

004

エースのタイプ

012

推定エース

021

エースパイロットの戦術

035

テストパイロットの悲哀

040

Mobile Suit Variation

042

ガンダムゲーム史

053

エースパイロットの戦術

074

エースパイロットの機体1

084

エースパイロットの機体2

090

「エース部隊」と呼ばれるチーム

102

エースの階級

106



## 宇宙世紀概論 U.C.0079 - U.C.0096

兵器の概念を大きく変えることになった機動兵器であるモビルスーツと数多くのエースパイロットを生んだ宇宙世紀。その背景となったのは、U.C.0079からU.C.0096年までの20年に満たない数々の戦争の歴史だった。ここでは、その戦いの歴史のきっかけとなったスペースノイドの自治権獲得運動から、その後の歴史までを紹介していく。

### 宇宙世紀のはじまり

宇宙世紀以前の地球は、人口が90億人を突破し、食料、エネルギー問題が勃発。さらに環境汚染も深刻な状況となっていた。これらの問題は、増えすぎた人口を別の場所に移すことで解決する手段は無くなっていった。

そこで、地球連邦政府は、宇宙空間に人々が住むことができる人工の土地「スペース・コロニー」の開発を開始。数億のスペース・コロニーの完成を持って宇宙移民政策を決定。それを受けて西暦(A.D.)を棄て、宇宙世紀(U.C.)への移行を宣告した。

スペース・コロニー地球と月の間にある、重力が安定する5つのポイント(ラグランジュポイント)に建設される。

スペース・コロニーへの移住は、U.C.0030年頃から本格化はじめる。次々と新たなサイドが誕生。U.C.0070年までは、サイド1(ザンセン)、サイド2(ハック)、サイド3(ムンゾ)、サイド4(ムーア)、サイド5(ルウム)、サイド6(ヴァー)、サイド7(ノア)の7つのサイドが建設されるに至った。

### スペースノイドの自治権獲得運動

各サイドは、連邦政府を構成する自治体だと書かれていたが、実質的な自治権はなく事実上の植民地であった。そのような状況を背景に、連邦政府は自分たちが有利な形での公益を掲げていたため、U.C.0050年代にはスペースノイドの自治権獲得運動が活発化していった。しかし、連邦政府はサイドごとのスペース・コロニーの自治は不可能であると主張。自治権獲得運動の集會を弾圧する行動をとる。

こうした連邦政府とスペースノイドの間には大きな溝が生まれる中、サイド3の思想家であるジョーン・ズム・ダイクンが台頭し、サイド3国家主義思想を提唱する。

その後、U.C.0060年に演劇中にジョーン・ズム・ダイクンが病死し、サイド3はザビ家が掌握。翌年にはデズン・ザビが公主に即位し、サイド3はジオン公国を名乗り、地球連邦から制約の解除を表明した。

この主張に対して、地球連邦は経済制裁や軍事の圧力で制したが、ジオン公国の独立を認めようとはしなかった。ジオン公国は軍事増強を続け、

0079年に連邦政府へ、独立を求めて宣戦布告し、一年戦争が開始することになる。

### 一年戦争開戦

独立戦争を宣戦布告したジオン公国は、サイド1、サイド2、サイド4へ連続攻撃を行う。MSC(機動兵器、化学兵器)を使用した攻撃によって、3つのサイドは壊滅。さらに、サイド2のスペース・コロニーのひとつであるアイランド・イフィッシュに地球スラムエンジンと結びつけて、地球連邦軍本部のあるジャブローに向けて落下させるブリティッシュ作戦を敢行。アイランド・イフィッシュはジャブローへの落着き免れだが、オーストラリア大陸に落下した。

ブリティッシュ作戦の失敗にあたり、高度コロニー落としを計画したジオン公国軍は、サイド5で連邦軍の宇宙基地と展開する。ルウム戦役と呼ばれるこの戦いで、ジオン公国軍は人間型機動兵器であるモビルスーツ(MS)を投入。圧倒的な戦力差を覆す大勝を収めた。

### 地球侵攻作戦

ルウム戦役後、地球連邦軍とジオン公国軍の間で、コロニー落としやMS兵器の使用の禁止や捕虜の取り扱いなどに関する取り決めを行った条約案が締結され、戦争の継続が決定した。この結核を受けて、ジオン公国軍は2月に地球侵攻作戦を開始した。地球に大量の兵力を投入したジオン公国は、北米、ヨーロッパ、アジア、アフリカを制圧し、地球での戦力差を拡大する。宇宙艦隊の大半を失い、決定的な反撃手段のない連邦軍は一気に戦力拡大を図ったものの、戦線を維持できないジオン公国の戦いは、膠着状態に入ってしまう。この間に地球連邦軍は、量産型MSの開発を進め、地球での反撃に向けた準備を開始する。

### 地球連邦軍の反撃のはじまり

U.C.0079年9月、地球連邦軍は完成した試作MSのテストをサイド7で行う。しかし、その行動を察知したジオン公国軍の攻撃によって、サイド7で史上初の大規模な実験が行われることになる。地球連邦軍は試作MS RX-78-2ガンダムをベースに量産型MSの開発を開始。先行量産型である

RX-79「G」試験型ガンダムを開発するなどして、反撃作戦へ向けた準備を行っていた。

そして11月7日、地球連邦軍は、ジオン公国軍の重要拠点である地球基地オデッサを陥落させるための「オデッサ作戦」を開始。これに勝利することで、軍事バランスを逆転させる反撃に転じるのだった。

その後、地球連邦軍は再編した宇宙艦隊を宇宙へ派遣。そして、12月24日にはジオン公国軍の宇宙の重要なひとつの中核基地コロニーホムズを陥落させる「チェーンボロ作戦」を開始。

コロニーの陥落後は、宇宙軍ア・バオア・クーを突破し、ジオン公国本土へと向かう侵襲作戦「星一帯作戦」を開始。12月31日はア・バオア・クー方面で地球連邦軍が勝利し、一年戦争は終結した。

地球でもアフリカ・北米諸国作戦が展開され、地上勢力の転進にも成功する。しかし、公国軍の残存兵力は、一部はアステロイドベルトにあるアクシズに逃げ、または地球圏に落ちるなどして、反撃への準備を進めるのだった。

### デラーズ紛争

U.C.0083年、地球圏に潜伏していた元ジオン公国のエース、デラーズが率いるジオン機動部隊「デラーズ・フリー」が活動を開始。核攻撃を可能とするガンダム試作2号機を奪取し、地球連邦軍宇宙艦隊に対する地球攻撃を行った。その混乱の最中に第二次コロニー再編計画のために移送中のスペース・コロニーを奪取し、地球へと落下させる作戦を展開する。

この事件はデラーズ紛争と呼ばれ、地球連邦軍内部では、ジオン公国軍歴史上に対する危険性を生じる勢力が台頭するきっかけとなってしまう。そして、以降にはジャスト・ロバートによって、治安自治部隊となるティターンズが発見されるのだった。

### グリアス戦争

ティターンズは、地球圏の治安維持の名目で勢力を拡大させ、地球連邦軍内部でも大きな発言権を持つ勢力となっていた。ティターンズ率いるジャスト・ロバートは、地球圏の維持と治安を謳ったアースノイドによって行われるべきという「地球至上主義」を提唱。治安維持の名目で反地球連邦運動を行うスペースノイドを弾圧。ついに、コロニー内の無権限な住民の命令でもう大規模な起るような暴走を仕掛けていく。それに対処する形で、地球連邦軍内部のティターンズの暴走を抑えようとする勢力を中心に、反連邦政府組織「エウゴ」が結成された。

U.C.0087年3月、サイド7方面にティターンズが建設した基地グリアスで、エウゴによるガンダムAMX-110襲撃事件をきっかけに、ティターンズとエウゴによる軍事的な衝突が発生。地球連邦軍内部の戦線同士によって戦いが繰り広げられるグリアス戦役へと発展していった。

エウゴは、指導者であるブレイクス・フォーラが暗殺されてしまった。しかし、クワトロ・バジナの手続きでエウゴに参加していたシャア・アズナブルがダカールにて、自身をジオン・ズム・



## 宇宙世紀におけるエースパイロットの定義

宇宙世紀の  
元祖エースパイロットは  
シャア・アズナブルだっただけ？

エースとはトップの「A」に由来し、傑出した者という意味を持つている。

登場したエースと呼ばれるようになったのは、旧暦西暦の20世紀前半に勃発した第1次世界大戦で戦闘機が実用化されてからのことで、フランス陸軍航空隊が10機以上乗座したパイロットを「エース・オブ・エース」でエースの意（1）定義し、イギリスやドイツなどの諸国にもあるようになったのが始りである。しかし、大戦終結に前後してアメリカは戦闘機が最初で



ルウム戦場で5機の戦艦を撃沈したシャア・アズナブル中尉（当時）は、ジオン軍上層部により「トップスエース」の称号を与えられ、少佐へと二階級特進した。彼の愛機が真紅に塗られていたことから「赤い流星」の異名を持つ。ジオン軍重戦艦のプロバガンダもあって、その名は敵味方問わずに広く知られることになる。



ジオン軍上層部は戦艦・巡洋艦を5隻以上撃沈したパイロットに「トップスエース」の称号を与えて勲功褒章の対象とした。だが、一般に戦闘艦は複数のMSで当たるのがほとんどであり、その場合撃沈スコアは分割されるため、エースの称号を得る道は狭く通った。



MSで格下の相手である戦車や戦闘艦などを5機以上撃沈してもエースの称号を得ることはなかったようだ。



MSを5機以上撃沈した「MSエース」が実軍に多数出現したのは、連邦軍がMSを実戦投入した一年戦争後半になってからのことだった。

以上整理したパイロットに「エース」の称号を与えることにした。これが宇宙世紀まで沿う線が「5機以上乗座したパイロット・エース」の起源である。

第2次大戦後に戦闘機がジェット化し、やがて中戦が高度特化した「1エース・1マイル」によって格付けが決まる。「パイロット戦争」になり、中戦の機会そのものが少なくなり、次第に5機撃沈のスコアは実戦が難しくなっていく。

第二次大戦中に連邦軍はMSを保有してはなかったため、ジオン軍がいくらか勝利を重ねていくにつれて戦闘機パイロットのようなくエースの称号を自軍の将兵に与えることができず、いつか戦艦や戦車などの格下の相手をいくつ撃沈しても、それは格下で当然の活躍であり、エースの称号を与えられはしない。これが上記に開く一連断片的なエース軍上層部は、ルウム戦役においてたったひとりである。



連邦軍のトップエースのひとりであるアムロ・レイ中尉。わずか3ヵ月ほどの間に100機以上のMSを撃沈しただけでなく、ランバラルや重機三連星などのジオン軍のエースを数多く打ち倒したことで有名になった。

1ドルが安いことだった。そんな状況に突如として生まれたのは、連邦軍に愛用されたばかりの1機は、連邦軍のMSを戦場へ本格投入した最初の戦争後半のことである。MS同士で戦闘が解禁するようになる、商軍にMSエースが多量に出現するようになったのだ。その中で最も早くMSを戦場に投入していたジオン軍は戦艦の多い優勢なパイロットが揃っていたこと、戦争後半は戦力不足の中を宇宙戦にたてられたことから、連邦軍以上に多くのエースパイロットを輩出した。また、1エースパイロットでも圧倒的な結果を残した。



アムロ／シャア

「宇宙世紀を代表するエースパイロットを挙げる」という質問があったとすれば、多くの人々は一年戦争から第二次ネオ・ジオン戦争まで活躍したアムロ・レイとシャア・アズナブルの名を出すだろう。

宇宙世紀初のモビルスーツ同士の戦闘を皮切りに、一年戦争のさまざまな激戦地で高い戦果を挙げ続けた「連邦の白いモビルスーツ」ガンダムのパイロットのアムロ・レイ。

一年戦争の終戦での活躍から「赤い彗星」と呼ばれ連邦軍から恐れられ、グリプス戦役ではその正体をジオン・ズム・ダイクンの息子であることを明かし、さらには新生ネオ・ジオンを率いて地球連邦政府に

宣戦布告したシャア・アズナブル。

一年戦争では敵対する相手として激戦を重ね、グリプス戦役ではスペースノイドの地位向上のために共闘し、第二次ネオ・ジオン戦争では地球の命運をかけて対峙するという、二人のその関係はまさにライバル同士と言えるものだった。さらにこの二人は、共に高い能力を持つニュータイプパイロット同士であったからこそ互いをライバル視し続けた。二人しか到達しえないニュータイプのパイロットが繰り広げる頂点の戦いは、ある意味、宇宙世紀という戦場を象徴するパイロット同士の戦いとして多くの人々に記憶されているだろう。

# ACE IN THE GUNDAM

アムロ・レイ



## U.C.0079 | 歴戦の中で目覚めたニュータイプ能力

\* 参見「機動戦士ガンダム」

サイド7で偶然父親が開発に携わった地球連邦軍の試作機MS・ガンダムに乗り込んだことからエースパイロットへの道を歩み始めたアムロ。ガンダムの性能の高さに驚くところが多いとは言え、緒戦でザクを2機倒したところからすでにMS操縦技術の高さの片鱗を見せていたと言えるだろう。その後、シャア・アズナブルやランバ・ラル、奥に1連座などのエースパイロットたちと刃を交

え、時には敗北を味わうことで経験値を積んだアムロは、MS操縦技術はカメキと上達。さらにそれに伴ってニュータイプ能力も覚醒することで、「相手の攻撃に害をいなくまで反撃する」ようになる。ガンダムの性能を凌駕する反応速度を最大の武器として、アムロは一年戦争で他のパイロットの追追をゆるぎないレベルにまで昇り詰めることになる。



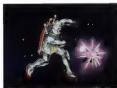
初めてMSに乗り込んで戦闘に参戦できたことも、エースパイロットに成長する要因だったと言えるだろう。



時に自分の実力よりも上の相手と戦ったことが、アムロの精神を鍛え、さらなる成長をうながした。



再び宇宙に出る頃には、ニュータイプの片鱗を見せ始め、これまで以上に冷静に戦闘に臨むようになっていた。



通常のパイロットでは反応できないオールレンジ攻撃にも対応。その反応速度こそがアムロの最大の武器だ。

RX-78-2  
ガンダム

地球連邦軍が開発した試作MS。早期生産を限んで生産性などを度外視したハイスペックな機体で、ジオン軍の主力機・ザクの性能を大きく凌駕していた。しかし、そんな高性能機も後年にはアムロの反応速度に追いつかなくなり、マグネット・コーティングを施すなど、反応速度向上がはかられた。

登場作品	機動戦士ガンダム、機動戦士2ガンダム、 機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
所属	地球連邦軍、スーゴ
階級	大尉

エースタイプ	一騎当千型、ニュータイプ
主な搭乘機体	ガンダム、ディジェ、νガンダム
最終判定	行方不明



## ホワイト・ユニコーン | カラバで活躍したエースパイロット

ホワイト・ユニコーンは、グリプス戦役から第一次ネオ・ジオン戦争時に、地球で活動するエウゴの協力組織であるカラバに所属したエースパイロットのコードネーム。白を基調に塗装したカスラムタイプのZガンダムを駆り、常

使用作品	「GUNDAM EVOLVE. 19」
地域	玉ヶ子(カウパ)
期間	??



ブロスベロー事件後には、赤と黄色の2機のZガンダムと共に第13号機に追加する機を見舞われている。

人を陥えた反応速度を駆使した戦いぶりによって、すぐに戦場でもその名を知れ渡っていた。 그리스戦争時に発生したプロスペロー落下事件をはじめ、いくつかの伝説的な活躍が言われているが、その正体は明らかにされていない。

ユーザタイプ	一騎当千型
主な搭乗機体	Zガンダム3号機
戦術得意	生存

## GUNDAM EVOLVE\_19

プラネタリウム用特別映像『ガンダム新機軸グリーンダイバーズ』の後日談として描かれた作品。映像技術的なトライアルが行われた。フルCGによるショートストーリーで、ホワイト・ゼータ、グレイ・ゼータ、レッド・ゼータの3機のガンダムと巨大MAの戦いを描いている。



MSZ-006-3A  
Zガンダム3号機A型

複数機存在したと言われるZが  
ンダムのパリエーション機。白  
いボディに紫のラインが入った  
カラーリングが特徴だが、基本  
性能は大きく変わっていない





## U.C.0087 | 隠遁生活からの復帰

0087 [機動戦士Zガンダム]

一年戦争後のアムロは、ニュータイプ能力を持つことから地球連邦軍の監視下に置かれ、自由のない状態で生活を強いられていた。そんな中、密会に来たフラウとカツの言葉から、アムロは脱走を決意。ハヤトが率いるエウゴの協力組織であるカラバに身を寄せる。当初こそ、かつての敵であるシャアとの共闘や、長期間のブランクに戸

惑い以前のような実力を発揮できずにいたが、戦場に身を置くことで徐々にかつての感覚を取り戻し、エースパイロットらしい戦いを見せるようになっていった。復活後は、カラバにそのまま残ってMSパイロットを務めながら、エウゴが地上での特殊作戦を行う際には、それを支援するなどしていた。



幼馴染みのフラウと青年へと成長したカツの言葉から、戦力家となっていた状況を持ち堪えるべく行動する。



復帰当初は戦いに恐れるような感覚を持っていたが、身体に課するエースパイロットの才能は、戦いを繰り返すことで再び開花した。



**RMS-099  
リック・ディアス**

復帰直後に乗った機体は、シャアが使用していた赤いリック・ディアス。ガンダム系の特徴を継承した機体であり、アムロにも合っていたようだ。



**MSK-008  
ディジェ**

カラバがリック・ディアスの技術をもとに大気圏内用MSとして開発。カラバはエウゴの技術支援により高い運動性を発揮し、アムロの愛機として活躍した。

## U.C.0093 | 成長したニュータイプパイロット

0093 [機動戦士Zガンダム 逆襲のシャア]

カラバでの活動を経たアムロは、ブライトと共に地球連邦軍の実働部隊であるロンド・ベルを設立。そのMS部隊の隊長に就任する。その後、シャアが率いる新生ネオ・ジオン軍による小惑星落としを契機とした「第二次ネオ・ジオン戦争」が勃発。アムロは自身のニュータイプ能力を駆使して戦えるMSの開発を進めてこれに対抗。長年にわ

たって実戦の現場に身を置き、心身共に覚醒したアムロは、MSパイロットとしてベストと謳える状態。さらに、自身のニュータイプ能力をフルに発揮できるZガンダムを手にしたことで、まさにワンランク上のパイロットとなり、シャアとの最終対決においても、戦闘内用としては圧倒するほどの力を見せていた。



人間としても成長し、恐いのない状態のアムロは、まさに最強のMSパイロットであり、その戦い方には驚かざるべきではない。



シャアとの宿命の対決。実力は拮抗していたものの、戦いの最中に集中力を切らしたシャアの隙を突いて対決を制した。



**RX-93  
νガンダム**

アムロが自ら基礎設計を行った機体。コクピット周りにサイコロフレームを配置することで、機体の追従性を向上。ニュータイプ専用機として高い完成度を持つ。



**RGZ-91  
リ・ガンダム**

νガンダムの前にアムロが使用していた機体。Zガンダムの量産型に向けた試作機で、GWSによる変形機構を持つが、ニュータイプ用としては性能不足の機体だった。



# シャア・アズナブル

## U.C.0079 | 赤い彗星の異名を持つ孤高のエースパイロット



ジオン公国軍のエースパイロット。一年戦争の緒戦である「ルウム戦役」で戦艦5隻を撃沈するなど、抜群的功績で少佐に昇進。天才的な操縦技術で機体の性能を限界まで発揮させ、機動力を駆使した遠攻攻撃を得意としており、赤い機体で戦場を駆け抜ける姿から「赤い彗星」の異名をとった。

サイド7で地球連邦軍の新造艦ホワイ

ベースと新型MSガンダムの存在を察知し追撃。ザビ家の四男・ガルマを守りきれなかったことで左遷されるが、後にマッド・アングラー隊の指揮官として戦線に復帰する。一年戦争後半にはニュータイプ部隊を率いるなど、指揮官として、またパイロットとしての功績も高く評価され新鋭機が優先的に与えられた。

※※※【機動戦士ガンダム】



撃墜されないという絶対的な自信から、宇宙空間での戦闘でもノーマルスーツを着用しないというポリシーを持つ。



MSパイロットとしてだけでなく、指揮官としても優秀で、さまざまな作戦の立案や実行、指揮を行っていた。



自身を武器とさせる信念としてガンダムとアムロとの戦いにこだわり続け、それは果しにわたる因縁となっていく。



ラッパの能力を見出し、さらに共に戦うことによって、シャア自身もニュータイプとして覚醒していった。



**MS-06S**  
シャア専用ザクⅡ

ジオン軍の主力MSであるザクⅡのカスタム機。指揮官やエースパイロット用に強力向上などがなされており、指揮官機にはブレードアンテナが取り付けられている。シャアの愛用した機体は、パーソナルカラーの「赤」を想起させるカラーリングが施されていた。

登場作品	機動戦士ガンダム、機動戦士Zガンダム、機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
所属	ジオン公国、スーゴ、ネオ・ジオン
階級	大佐
ムースタイプ	一戦出千戦、指揮官型、ニュータイプ
主な搭乗機体	ザク、ズゴック、ジョング、西式、サザビー
戦歴判定	行方不明

## PILOT FILE NO.003

### デニム

シャアの率いていたジオン公国軍攻撃部隊の兵士で、サイド7の偵察を担当したMS小隊の小隊長。階級は曹長。ジーンとスレンダーを率いてサイド7に近づき、スレンダーを捕縛させて内部に侵入。しかし、軍功をあげたジーンの行動を抑えられず、サイド7は戦場と化してしまう。その際、アムロの乗ったガンダムと遭遇。史上初のMS戦を体験するが、ガンダムに撃破された。



**MSM-07S**  
シャア専用ズゴック

ジオン公国軍が開発した水陸両用型MS。一般戦と性能が向上された指揮官機があり、シャアはザクロー部隊のために機体作戦の際に、パーソナルカラーの赤で塗装した指揮官機に搭乗。連邦軍の量産機であるジムのコクピットをクローで覆くなどの造詣を見せた。



**YMS-14**  
シャア専用ゲルググ

ジオン公国軍がビーム兵器を使用可能な次期主力MSとして開発していった機体の初期生産型。ニュータイプ部隊を率いるシャアのものにいち早く流され、エルメスと共に戦線に投入された。シャア専用の初期生産型は、パーソナルカラーの赤で塗装されている。



**MSN-02**  
ジョング

ジオン公国軍が開発した。初のニュータイプ用MS。組み立て途中の80%の完成度だったが、シャアの乗機としてア・バオア・クーの最終決戦に投入された。関節部サイコミュを用いた有模式マッド子機として高機から分離し、オールレンジ攻撃が可能であった。



M5パイロットとして、ブランクを感じさせない華麗な戦いぶりを見せた。

U.C.0087 クワトロ・バジーナとして地球連邦兵として行動

一 年戦争後、地球圏から離れていたシアは、アクシズに潜伏。その後、地球圏に戻り、クワ・ロ・バジーンを名乗って地球連邦軍兵士として反地球連邦運動「エウゴ」に参加し、その中心メンバーとして活動する。スペースノイドを差別するティターンズを排斥するという理想のもと、エウゴのMS部隊の中心として活躍する傍ら、政治

的な行動にも関わる。エウゴの指導者であるノ  
レックス准将の死後は、自身がシャア・アズナ  
ルであることを明かし、ノレックスに代わってエ  
ウゴの指導者となった。エウゴを率いる立場  
でありながらMSパイロットとして戦場で戦い続  
け、最終的にはアクシズの指導者であるハマ  
ンの最終決戦に方向不明となった。



**RMS-099**  
リック・ディアス

シャアがアウンスから持ち帰った数回刷ガンダリウムYを用いてアナハイムエンクロニクス社が開発した機体「Yガンダム」とも呼ばれた。この機体の開発がZ計画のきっかけにもなった。当初シャアの機体のみが赤い塗装だったが、後に全機が赤い塗装に統一された。



RMS-100  
百式

Z計画の中で、可変型MSとして開発され、3ガンダムのコードネームで呼ばれていた。しかし、可変機としての開発が断念され、基運動性時を持つ非変形の攻撃型MSとして完成させた。メカ専用機ながら、赤、塗装は施されず、金色の外装となっている。

PILOT FILE NO.004 / NO.005  
アポリー / ロベルト

シャアを輔佐する形で共に行動するエウゴの  
パイロット。シャアからの信頼も厚く、高性能  
であるリック・ディアスに格闘していることから  
判り通り、MSパイロットとして高い実力を持つ。  
シャアとは一戦戦争時代からの仲間とも言われて  
いるが詳細は不明。口癖は地上での戦闘で戦  
死してしまっただが、アポロはグリス改の操  
縦士でエウゴのMS部隊の中隊長として活躍し



## UC093 人類の革新のため、新たな指導者へ

グリブス戦役後身を隠していたが、新生ネオ・ジオン軍の総帥として再び舞臺に姿を現す。スペースノイドの覇王を続ける地球連邦政府に対して反旗を翻し第二次ネオ・ジオン戦争を起す。その目的は、アクシズを地球に落とす、地球に人が住めなくなることで、地球連邦政府の支配体制をなくそうというものだった。その一方で、かつて



地球連邦政府の要請を受け、ソヘ、スノイトの伝道者として活動する事となる。



こだわり続けたアムロとの決闘も、まさしく最終の戦いでも勝つことができなかった。



MSN-04  
サザビー

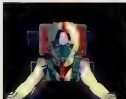
サイコメを搭載し、フロンティア、ふるオールレンジ攻撃が可能なニュータイプ専用MS。最初からキャプ専用機として設計されており、重装甲ながら高い機動性を持ち、さらにコクピット周りにはサイコフレームを搭載することで、ニュータイプ専用MSとしては高い完成度を誇る。



## エースのタイプ

個性豊かなエースパイロットを  
7タイプに分類する

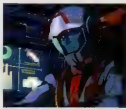
エースパイロットと呼ばれる性格やタイプはさまざまである。過激な者から冷静な者まで、個性は様々である。自分自身の性格やタイプは、自分自身で決めることができる。しかし、自分自身の性格やタイプは、自分自身で決めることができる。しかし、自分自身の性格やタイプは、自分自身で決めることができる。



一騎当千を代表するアムロ・レイ。ニュータイプとしての能力を開花させた彼は驚異的な戦果を挙げたものの、それによって周囲との人間関係は希薄なものになっていった。



ボイア、オルトガ、マッシュの3名で構成された「黒い三連星」。(正式な部隊名は実戦編組第7隊田園MS大隊司令官付特務小隊)は、典型的なチームワーク重視系で集まる。



戦場のメロディ、空を代表するガンダム。近戦中で「赤い身」の第4形態。を主としたサウス・ハルキングである。戦後はトントン基地でアストパイロットたちを教育して指導した。



ゴジマ大城防衛のソロ・アクタは、実行不真の問題児タイプではないが、「敵とも分かり合える」という信念から敵との内通を疑われる無類の敵一党も。



技術士官でありながら劇中MAパイロットを務めることになったオリヴァー・マイは、ビグ・ザング性能もあって固守もエースとなった。典型的な急ぎ足系だ。

【一騎当千派】  
このタイプは、自分の能力で敵を倒すことができる。自分自身の能力を開花させた彼は驚異的な戦果を挙げたものの、それによって周囲との人間関係は希薄なものになっていった。

【理論重視派】  
理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。

【チームワーク重視派】  
チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。

【戦場の火消し役派】  
戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。

【急ぎ足系派】  
急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。

【一騎当千派】  
このタイプは、自分の能力で敵を倒すことができる。自分自身の能力を開花させた彼は驚異的な戦果を挙げたものの、それによって周囲との人間関係は希薄なものになっていった。

【理論重視派】  
理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。

【チームワーク重視派】  
チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。

【戦場の火消し役派】  
戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。

【急ぎ足系派】  
急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。

【一騎当千派】  
このタイプは、自分の能力で敵を倒すことができる。自分自身の能力を開花させた彼は驚異的な戦果を挙げたものの、それによって周囲との人間関係は希薄なものになっていった。

【理論重視派】  
理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。

【チームワーク重視派】  
チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。

【戦場の火消し役派】  
戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。

【急ぎ足系派】  
急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。

【一騎当千派】  
このタイプは、自分の能力で敵を倒すことができる。自分自身の能力を開花させた彼は驚異的な戦果を挙げたものの、それによって周囲との人間関係は希薄なものになっていった。

【理論重視派】  
理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。

【チームワーク重視派】  
チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。

【戦場の火消し役派】  
戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。

【急ぎ足系派】  
急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。

【一騎当千派】  
このタイプは、自分の能力で敵を倒すことができる。自分自身の能力を開花させた彼は驚異的な戦果を挙げたものの、それによって周囲との人間関係は希薄なものになっていった。

【理論重視派】  
理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。

【チームワーク重視派】  
チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。

【戦場の火消し役派】  
戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。

【急ぎ足系派】  
急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。

【一騎当千派】  
このタイプは、自分の能力で敵を倒すことができる。自分自身の能力を開花させた彼は驚異的な戦果を挙げたものの、それによって周囲との人間関係は希薄なものになっていった。

【理論重視派】  
理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。理論重視派は、理論に基づいて戦う。

【チームワーク重視派】  
チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。チームワーク重視派は、チームワークに基づいて戦う。

【戦場の火消し役派】  
戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。戦場の火消し役派は、戦場の火を消す。

【急ぎ足系派】  
急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。急ぎ足系派は、急ぎ足で戦う。



# 一年戦争

**ACES IN "ONE YEAR WAR"**  
U.C.0079-0083

**06-07-2018**

[illegible]

「土主」とは、土地の神である。アフリカ、東欧、ロシア、ヨーロッパなど、世界の各地でMCとよびのびるバイロンの文化が、世界各地に

「本邦では絶滅危惧種に指定されている種に該当するものの絶滅が危ぶまれている。伊豆半島3003年にはジョン・オズボーン氏の調査によって記録された。この一次調査で再び記録されたことがない。そして、二次調査から記録された個体の数はごくわずかである。この種は、絶滅の危険にさらされている。絶滅の危険にさらされている種に指定されている種に該当するものがある。」

Downloaded by [University of York] at 11:00 11 June 2016

DOI: 10.1002/for

# ACE IN THE GUNDAM

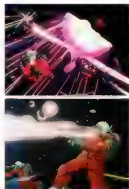
PILOT FILE NO.006

## カイ・シデン

## 軟弱者から成長したナンバー2エース



登場作品 機動戦士ガンダム  
所属 地球連邦軍  
階級 少尉  
モースタイプ 普通話者型  
主な搭乗機 ガンキャノン  
戦術判定 生存



最終決戦ではパイロットとして活躍。最終決戦ではパイロットたちを指揮する形で活躍していた。

RX-77-2  
ガンキャノン

V作戦でガンダムと共に開発された連邦軍の試作MS。高火力が特徴。白鳥戦を行うガンダムとの連携を重視した設計となっており、肩部に装備したキャノン砲を駆使して、中距離支援戦を行う役目を持っている。

ホワイトベースにパイロットとして乗船したミハルとの出会いと別れを経験することになり、人間性にも成長した。



PILOT FILE NO.007

## ハヤト・コバヤシ

## ホワイトベースを支えた影の立役者

カイと同じく避難民としてホワイトベースに乗船後、兵士として働くことを志願。当初はリュウと共にガンタンクに搭乗していたが、リュウの死後は単独でガンタンクを操りパイロットとして成長を見せる。戦いの中でライバル視していたアムロにどんどん遅れをとる自分に不甲斐なさを感じていたが、負傷を乗り越えてカイと共にア・バオア・クーでの最終決戦で仲間を守るために奮闘した。



アムロと自分と比較して落ち込んでいるが、パイロットとしてホワイトベースを守るといふ一翼をしっかりと担っていた。

登場作品 機動戦士ガンダム  
所属 地球連邦軍  
階級 兵員  
モースタイプ 普通話者型  
主な搭乗機 ガンタンク  
戦術判定 生存

PILOT FILE NO.008

## リュウ・ホセイ

## 戦場に散った兄貴的パイロット

MSパイロット候補生としてホワイトベースに乗っていた正規軍人。寄り合い所帯のホワイトベースをまとめ、アムロやカイ、ハヤトらのパイロットはもちろん、若き隊長であるブライトのよい理解者として成長をサポートしていく。パイロットとして主にハヤト共にガンタンクで出撃する他、コア・ファイターによる偵察や対空戦闘も担当した。

RX-75  
ガンタンク

地球連邦軍で対MS戦闘車両として開発され、その後MSとしてモフインされた試作機。ガンダム、ガンキャノンとの連携を重視した、長距離支援型のMS。両肩にキャノン砲を持ち、後方から砲撃支援を行う。



登場作品 機動戦士ガンダム  
所属 地球連邦軍  
階級 曹長  
モースタイプ 普通話者型  
主な搭乗機 ガンタンク  
戦術判定 戦死



ガンタンクとの戦いで負傷し、その後仲間を守るために自ら犠牲となった。

## PILOT FILE #009 | スレッガー・ロウ

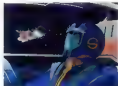
## 頼りになる歴戦のパイロット

ジャブローに属したホワイトベースに、補充人員として配属された航空宇宙機パイロット。若い人員が多いホワイトベースにおいては、やや年齢が高く、実戦経験も豊富なところから、新たに配属されながらもみながら頼られるような存在となり戦場の意見を求められるなど、早々に馴染んでいた。

いた。砲撃に長けており、ホワイトベースの主砲を操作したこともある。戦闘においては、コア・ブラスター（Gファイター）に搭乗し、戦闘機機りらしい機動性を活かした戦い方を得意としており、ホワイトベースのMS部隊と連携しながら、対MS戦において高い戦果を上げた。



ベタランとスレッガーの会話からベタランが持つ頼れるパイロットとしての一面がうかがえる。



主砲を操作して戦うスレッガー・ロウ。他のパイロットと異なり、主砲を操作することもあった。



戦闘機機りな機動性を活かして、高速移動しながらMSを多数撃破する活躍を見せた。



同型機に乗るスレッガーは陣羽を好み、運用して攻撃を行うことも多々あった。



## コア・ブラスター

コア・ファイターを機体部分として構成し、追加ブースターとメカ種子砲を装備した戦闘戦闘機。機体機りながら高い機動性と攻撃力によって、対MS戦やMSを援護などの戦闘で大いに活躍した。



登場作品	機動戦士ガンダム
所属	地球連邦軍
階級	中尉
機体タイプ	戦闘機
主な搭乗機体	コア・ブラスター
戦後状況	戦死

## PILOT FILE #010 | セイラ・マス

## 目覚ましい成長を遂げた女性エースパイロット

民間人としてホワイトベースに避難し、その後通信士としてMS部隊の出撃のサポートを行っていた。激戦が続く中、ホワイトベースの戦力増強用の補給物資としてコア・ブラスター（Gファイター）が到着したのを機に、戦闘機パイロットに志願する。当初は戦闘に慣れずに戸惑っていたが、ガンダムと連携しながら戦闘を続けるうちにパイ

ロットとしても成長を遂げた。一年戦争の後半で宇宙に上がったからは、同型機に乗るスレッガーと隊列を組むことが多かったが、ベタランパイロットであるスレッガーに引けをとらない戦闘技術を披露している。



アムロのガンダムをサポートする形で実戦経験パイロットとして成長した。



コア・ブラスター能力が開花し、四駆車のような機動性も高くなっていった。



パイロットとして（出撃した初期、戦場では）兄であるアムロと再会。戦うことで兄と交流することになる。



## Gファイター

ガンダムの機動向上のためにホワイトベースに導入されたサポートメカ。バリエーションの組み合わせで様々な形態をとることができる。Gファイターは戦闘機形態であり、ガンダムの飛行支援や戦闘支援用として活躍した。

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	地球連邦軍
階級	中尉
機体タイプ	戦闘機
主な搭乗機体	Gファイター
戦後状況	生存





登場作品 機動戦士ガンダム  
所属 ジオン公国軍  
階級 中尉  
機体タイプ 指揮官型  
主な搭乗機体 ビッグザム  
戦後状況 戦死

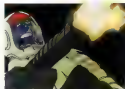
## PILOT FILE MODEL

## ドズル・ザビ

## 指揮官として最期まで戦い抜いた武俠の漢

ジオン公国軍の中尉にして、最期は宇宙要塞ソロモンの総司令を務めた、ザビ家の三男、ドズル。部下下思いの司令官として多くの部下たちからも厚い信頼を得てきており、どんな戦況が難しくとも仲間を見捨てるような決断を下さない強さを持っていた。連邦軍の猛攻によって、陥落寸前のソロモ

ンを放棄する際、部下たちを先に撤退させ、自身はしんがりを務め、MAビッグ・ザムで出撃。撤退する時間稼ぎを行った。司令官であるため、パイロット的な技術の面は極めなかったが、その潔い戦い方は、他のパイロット以上の強いインパクトを残している。



ビッグザムが動かしきれない最期は生身でMSに立ち向かうという強さを見せた



強力な兵器であるビッグザムを駆使ではなく仲間を逃がすために使用した。



艦船の船首を無効化するビッグザムだったが、ガンダムによって破壊されてしまう

MA-08  
ビッグザム

ジオン公国軍が地球降参軍の拠点であるジャブロを占拠するために開発していた巨大MA。各部にメガ粒子銃を配置し、全方位に向けて圧倒的な火力の攻撃が可能。さらにフィールドビーム兵器を無効化する防衛能力を持つ。



## PILOT FILE MODEL

## ガルマ・ザビ

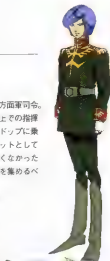
## 友の謀略で敗った、若き指揮官

ザビ家の四男でジオン軍の地球方面軍司令。北米を拠点として、ジオン軍の地上での指揮を執り、さらには自身で戦艦機体のドップに乗って戦線に参加していた。パイロットとしての資質、指揮官としての能力は高くなかったが、若いゆえに兵たちからの尊敬を集めるべく奮闘していた。

登場作品 機動戦士ガンダム  
所属 ジオン公国軍  
階級 大佐  
機体タイプ 専らドップ型  
主な搭乗機体 ガルマ専用ドップ  
戦後状況 戦死



ゾアとよき友人として、ザビ家の遺言のための最初の犠牲となった。



## ガルマ専用ドップ

大気圏内での戦闘を想定して開発された航空戦闘機。ガルマの専用機はブラウンのカラーリングで塗装されているが、基本性能は一般機と変わらない。

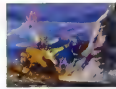
## PILOT FILE MODEL

## マクベ

## 連邦軍を翻弄した智謀の策士

ジオン軍の地球方面軍での要職にあり、オデッサ鉱山基地の司令。オデッサ作戦での敗北後、宇宙に撤退。アキスコロニーではガンダムを倒すためにガンダムで出撃している。地雷原を作るなど策を弄しながら、ニュータイプに乗るガンダムを追い詰めるほどのMS操縦技術を披露している。

登場作品 機動戦士ガンダム  
所属 ジオン公国軍  
階級 大佐  
機体タイプ 指揮官型  
主な搭乗機体 キャン  
戦後状況 戦死



高級官階ながら、一般のMSパイロットを凌ぐ技量でガンダムを翻弄した。

YMS-15  
キャン

ゲルググと次期主力MSの座を争った試作型MS。白兵戦に特化した武装を持っており、高出力のビーム・サーベルと、トリスライバを内蔵した大型のノードを装備。その独特のスタイルは中世の騎士を彷彿とさせる。

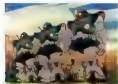


## 黒い三連星

## 3機の連携で軍功を上げたエースパイロット部隊

ガイア、マッシュ、オルガの3人で構成される、ジオン公国軍のMS小隊。パーソナルカラーの黒と二位一体の攻撃を得意とすることから、連邦軍からは「黒い三連星」と恐れられた。一年戦争の緒戦であるハムム戦役からMSに乗って参加し、3機連携攻撃することによって、敵の攻撃を混乱しながら連

続攻撃を行う「ジェット・ストリーム・アタック」を駆使して連邦軍の艦船を次々と撃破し、レビル将軍を捕虜にするという軍功を上げている。MSによるフォーメーションや連携攻撃の有用性を示した、ある意味戦史に残る活躍をした部隊とも言える。



黒い三連星のデモは、黒い三位一体の攻撃を基調として色を塗り分けた。



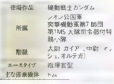
オルガへの機体名として「マッシュ」の機体名が採用された。



特殊な機体の活用から脱却。連戦攻撃を「ジェット・ストリーム・アタック」



地上でもトムの機動性を活かして「連戦攻撃をガンダム」に仕掛けた。



機動戦士ガンダム  
ジオン公国軍  
突撃機動隊第1中隊  
第1MS大隊副隊長  
機体名  
大尉 ガイア、中尉 マッシュ、オルガ  
機体タイプ  
汎用型  
主な搭乗機体  
ガンダム

MS-09  
トム

ジオン公国軍が開発した汎用MS。関節に小ハブ推進機を備えることで、MSの弱点である移動速度の遅さを解消。地上において高速機動による高い機動性を発揮して、その性能の有用性を示し、多くのバリエーション機が展開した。



## ランバ・ラル

## ゲリラ部隊を率いた有能な指揮官

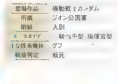
一年戦争以前からゲリラ戦を得意として活躍してきた部隊を率いる指揮官。ザビ家の政敵であるランバ家の長男であったため、軍での出世コースを外れていたが、カルマの依頼という任務を受けて地上に降り、ホワイトベース隊と戦う。MSパイロットとしても高い技量を持ち、アムロの乗るガンダムを凌駕。戦術指揮官としてホワイトベースを導き、大きなダメージを負わせた。

YMS-07B  
先行試作型グフ

サウティ・スに続いて陸戦用のMSとして開発された機体。機体下部のサウティ・スとの機動性や情報性の向上が図られていた。ランバの機体は量産型の試作型で、この機体は三連星が運用された。



グフを中心に、2機のサウティ・スと連携することによってホワイトベースを攻略した。



機動戦士ガンダム  
ジオン公国軍  
突撃機動隊第1中隊  
第1MS大隊副隊長  
機体名  
大尉 ガイア、中尉 マッシュ、オルガ  
機体タイプ  
汎用型  
主な搭乗機体  
ガンダム



## コズン

ランバ・ラル隊の一員で、アムロと共にサウティ・スのパイロットを務めていた。セイジの乗ったガンダムを捕獲しようとするが、アムロの乗ったガンダムに阻まれて失敗。ホワイトベースの捕虜となった。



グフの白熱戦能力を駆使することで、ガンダムを捕獲。その結果を見せつけた。



自身の政治的立場やメカニズムを「ランバ」に託すため、連戦の逆転をよめ、カルマの依頼から出陣。MSを失ったランバは連戦の戦況を逃す。



## アコース

ランバ・ラル隊のサウティ・スのパイロット。ランバ・ラルの指揮官に似て、MSによるホワイトベースを捕獲を目標としていたが、アムロの乗るガンダムによって撃破されている。



登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ジオン公国軍 潜水艦隊所属
階級	大尉
モースタイプ	魚雷官型
主な搭乗機体	グラブロ
戦歴判定	戦死

## PLUG FILE 0006

## フラナガン・ブーン

## マッド・アングラー隊を支える艦長

ジオン公国軍のキシリアジア特配下の潜水艦隊幹部マッド・アングラー隊。シャアが部隊長を務めるこの部隊の母艦となるのが、潜水艦マッド・アングラーであり、その艦長を務めたのがフラナガン・ブーン大尉である。艦長としてシャアの副官的な立場で働くだけでなく、ホワイトベースに民間人のミハルを潜入させ、さらには自身も民間

人に化けてホワイトベースに出向くなど、任務遂行のためにアクティブに動いていた。しかし、その一方で作戦中に部隊所蔵のMS4機を失ってしまい、最終的には自らMAグラブロに乗り込み、ホワイトベース隊への攻撃を行った。MA機種の技術も高く、水中戦ではガンダムを捕獲し片足を破壊するなどの活躍を見せた。



マッド・アングラー 艦長フラナガンの機体、ジグザグググによるMS部隊を襲った



艦長と「モース」を駆動して、モースを「グラブロ」の入り口の場所の情報を入手した



MAM-07  
グラブロ

ジオン公国軍が開発した水中用MA。ビグロをベースに開発されており、艦船を追尾攻撃する「ム」に加え、角部、対空ミサイル・コンターを装備。水中での機動性も高く、ガンダムを圧倒するほどだった



自らグラブロに乗り、ズゴック2機を率いてホワイトベースへの攻撃を行った



ガンダムを捕獲するが、脚部を破壊したことで追跡を断ってしまった

## PLUG FILE 0007

## コーカ・ラサ

ホワイトベース破壊に挑んだ  
ゴッグのパイロット

マッド・アングラー隊の一員で、水陸両用MSゴッグのパイロットを務めた。シャアがマッド・アングラー隊に兼任する前に、ペルファストに入隊したホワイトベースを破壊すべく、機雷網を突破して上陸作戦を行う。ゴッグの重装甲ぶりに驚いた姿が印象的だ。共に上陸したマシーと連携してカンダムと戦い、ガンダム・ハンマーを受け止めたマシー機が撃破された後は、カンダムを得意のフィールドである海中に誘い込んで倒そうとするなどの作戦を見せた。



水中ではカンダムのメカ・カメツを破壊するなど、艦隊の上手を支援した。



MSM-03  
ゴッグ

ジオン公国軍の水陸両用MS。高い水圧に耐える重装甲とそれに負合うハイパワースピード。水中での機動性はガンダムを上回る。ただし、ヒール領域に対する防御力が弱い。

## PLUG FILE 0008

## カラハ

ズゴックの性能を引き出す  
豪快な凄腕パイロット

マッド・アングラー隊の一員で、ズゴックに乗るパイロット。ひげ面で豪快に笑う姿が印象的。ペルファスト基地でズゴックによるホワイトベース破壊のための上陸作戦を展開。攻撃に現れたハヤトの乗るガンキャノンズをズゴックの機動性とパワー駆使して圧倒する。援軍に現れたガンダムの不意を突いたヒーム・サーベルの攻撃に反応し、さらに至近距離からの射撃を避けるなど、見た目の雰囲気とは違って、パイロットとしてかなりのMS技術を持っていた。



「ワグ」も「モース」の性能が良く、実戦でも使いこなしていた。



MSM-07  
ズゴック

ジオン公国軍が開発した水陸両方MSの中で最も実用性が高かった機体。両腕にメカ腕子高を装備。地上、水中の両方で高い機動性と運動性を発揮した

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ジオン公国軍 潜水艦隊所属
階級	大尉
モースタイプ	魚雷型
主な搭乗機体	ゴッグ
戦歴判定	戦死

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ジオン公国軍 潜水艦隊所属
階級	大尉
モースタイプ	魚雷型
主な搭乗機体	ズゴック
戦歴判定	戦死

PIL0T FILE NO.009

## アカハナ

ジャブロー潜入部隊を率いた  
作員のリーダー

ジオン公国軍の突撃機動軍戦術海洋諜報部隊所属の特殊作員のリーダーで、爆発物のエキスパート。本名は不明だが、特徴的な鼻から、アカハナと呼ばれている。ホワイトベースを破壊すべくシャアと共にアッガイでジャブローに潜入し、連邦軍のMS量産を確認するも、カンダムと交戦し撃破された。



PIL0T FILE NO.020

## ポラスキニフ

ジャブローへの入り口を  
発見したパイロット

ゾックのパイロットを務めたマッド・アングラー隊の一角。ジャブロー攻陥の先遣隊としてゾックでジャブローの内部への入り口を発見し、ジオン軍の攻勢の立役者となった。しかし、ジャブロー内部での戦闘では、移動砲台として役に立たないゾックに乗っていたためか、戦闘には貢献できず、メインカメラを破壊して撤退しようとしたシャアの乗るズゴックを援護した際に、ガンダムに撃破されてしまっている。



アッガイに搭乗し、ジャブロー内部では攻撃に用いたが式転載などを撃破している

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ジオン公国軍 突撃機動軍 戦術海洋諜報部隊
階級	少尉
ユニットタイプ	指揮官型
主な搭乗機体	アッガイ
戦後判定	戦死



## MSM-04

## アッガイ

ジオン軍が開発した水陸両用MS。プラザIIのジェネシスを転用すること、で、コストを抑えることに成功。スラスターが高く、陸地行動や潜入任務に使用された。



乗っていた機体が壊れたせい、パイロットとして活躍することはなかった

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ジオン公国軍 突撃機動軍 戦術海洋諜報部隊
階級	曹長
ユニットタイプ	ゾック
主な搭乗機体	ゾック
戦後判定	戦死



## MSM-10

## ゾック

ジオン公国軍が開発した水陸両用MS。前後が対象と異なり特殊なデザイン。大型メガ粒子砲を搭載。火力は高かったものの、運動性が低く、実戦ではほとんど役に立たなかった

PIL0T FILE NO.021

## トクワン

ガンダムを翻弄した  
高機動型MAのパイロット

新型MAビグロのテストパイロットを務めていた、ジオン公国軍の大尉。当初はビグロとリック・ドムの実戦テストをすべくザンジバルに乗っていたが、シャアの指示でホワイトベース追撃を行うことになった。ビグロの高機動性に耐える身体能力を持ち、他のMSの追跡を許さないビグロの機動性を駆使して、カンダムをはじめとしたホワイトベース隊を翻弄。ガンダムのビーム・ライフルを回避し、クローで捕獲するほどビグロを使いこなしていた。



アムロを攻撃するほど船に近づき、メガ粒子砲への攻撃により撃破されてしまう

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ジオン公国軍
階級	大尉
ユニットタイプ	指揮官型
主な搭乗機体	ビグロ
戦後判定	戦死



## MSM-03

## ビグロ

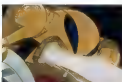
ジオン公国軍が開発した高機動型MA。メガ粒子砲と大型アームを装備し、速達、よる一撃離脱戦法を重視した設計からされており、地空両用の防衛兵器として開発された

PIL0T FILE NO.022

## デミトリ

上官の仇討に散った  
テストパイロット

ビグロのテストパイロットであったトクワンの部下で、ザクレロのテストパイロットを務めていた。自身が慕っていた上官であるトクワンの戦死を知り、シャアにその仇討ちを誓う。却下されるも命令違反を犯して開発放棄されたザクレロに搭乗し、ホワイトベース隊を追撃する。ハヤトの乗るガンタンクを窮地に追い込み、Gパーツを盾に攻撃してきたカンダムの腕部を潰つけるなど善戦したが、単独な攻撃を食われて撃破されてしまう。



ザクレロの機動をフルに活用したカンダムに、対処するが、速達、よみ切れなかった

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ジオン公国軍
階級	曹長
ユニットタイプ	単独型
主な搭乗機体	ザクレロ
戦後判定	戦死



## MSM-04X

## ザクレロ

初期に開発されていた宇宙用MA。ビグロに近いコンセプトだったが、運動性の向上が望まなかったため、運動性に不向きな宇宙空間での作業に、開発は中止されて放棄された



登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ネオン公国軍
階級	大尉
ニュータイプ	タイプ
主な搭乗機	ブラウ・ブロ
機体判定	戦死

PILOT FILE NO.023

## シャリア・ブル

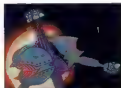
### ジオン公国初の本格的なニュータイプパイロット

ジオン公国軍の木星エネルギー船団の隊長を経て、キシリア少将麾下のニュータイプ部隊に配属されたパイロット。フラガナン機関でニュータイプ能力を見出され、ニュータイプ用MAブラウ・ブロのパイロットとして、ホワイトベース隊強襲任務に参加する。ニュータイプとして覚醒しつつ

あったアムロの乗るガンダムと対峙。サイコミュ搭載MAに初めて搭乗したにも関わらずオールレンジ攻撃を使いこなし、敗れたもののブラウ・ブロの攻撃に対応しようとするアムロの反射神経にガンダムの駆動系がついていくことが出来ずオーバーヒートするほどの戦いを繰り広げた。



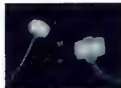
ニュータイプの戦時タ記録を担当するムス中尉と伴って戦線に参加した



ブラウ・ブロの初戦闘で、ガンキャノンとカンタンクを圧倒する戦いを見せた



ニュータイプ用MAの初参戦で戦線にも順応する能力の苗芽を持っていた。



有線コントロールによるオールレンジ攻撃を駆使してガンダムを苦しめた。



#### MSN-03 ブラウ・ブロ

初のニュータイプ用MA。サイコミュを搭載し、メカ電子回路を本体から射出し、有線コントロールによるオールレンジ攻撃が可能。また、複数のパイロットが搭乗することで、オールタイプでも運用することが可能だった

PILOT FILE NO.024

## ララァ・スン

### 高い能力を示したニュータイプの少女

ニュータイプ研究を行うノブナカン機関で育てられたニュータイプの素質を持つ女性パイロット。その能力は高く、ニュータイプ用MAエルメスに乗り、ビットを駆使したオールレンジ攻撃で、ソロモン攻略に集まっていた地球連邦軍の艦船やMSを多数撃破しており「ソロモンの亡霊」と恐れ

られた。アムロとはニュータイプ同士で共鳴し、戦場で精神的な交流を果たすなど、アムロに大きな影響を与えている。アムロの存在がなければ、さらなる被害の拡大は必至であり、一年戦争での地球連邦軍の勝利を脅かした可能性を持つほどのパイロットであったことは確かだ。



シャリアに能力を見出され、ノブナカン機関でニュータイプ能力を育てられた。



シャリアとは恋人同士のような存在として精神的にも深く繋がっていた



ブラウ・ブロよりもさらに発展したニュータイプ用MAを乗りこなした。



ビットによる無類のオールレンジ攻撃を初めて行ったパイロットでもある。



#### MSN-08 エルメス

ニュータイプでしか使えない本格的なニュータイプ専用MA。サイコミュシステムにより、機体制御とビットによるオールレンジ攻撃を行うことができる。その後開発されるニュータイプ専用機の始祖的な機体でもある。



登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ネオン公国軍
階級	少尉
ニュータイプ	ニュータイプ
主な搭乗機	エルメス
機体判定	戦死



## 「奇策」と「連携」を重視した指揮官エース



自身の出身地であるサイド7で、ジオン公国軍のブリティッシュ作戦に遭遇。そこで家族や友人が毒ガスで死亡する姿を目撃したため、ジオン兵への憎しみを持つつ、生きることによって戦艦に臨んでいる。

MSの操縦技術も平均よりも高いが、それ以上に身の回りの環境や装備を常識に囚われない形で利用することで、窮地を脱し、状況を逆転させる

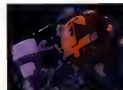
戦い方を得意としている。また、指揮能力が高く、08小隊メンバー同志の信頼関係をしっかりと築いているからこそ、どんな奇策でも仲間がしっかりとバックアップしてくれるという強みがある。常識にとらわれない戦いも、仲間との信頼関係も、そして窮地に陥っても諦めないという精神も、シロの「生き残る」ことへのこだわりが生み出した戦い方なのだ。



戦艦で窮地に陥りながらも、冷静に状況や敵機の動きを観察して逆転につなげる冷静さも持っている。



戦いの中で仲間と共有した自分のメンバー、安心して共に戦える信頼関係こそがシロの最大の武器だ。



ホムラフレイッシュとサウザンズを討つなど、マクニカムでは無い機体で生き残るための戦いを行う。



アイナと再会。そして、敵兵と戦い、あえることを知ったシローは、最終的には事を決める決意をする。



RX-79 [G] EZ-8  
ガンダムEZ-8

アプサラスⅡとの遭遇で大破した陸戦型ガンダムを現地改修した機体。基本性能が小さく変わっていないが、胸部コックピット前面をはいの音波感知が強化され、遠距離には遠距離戦の向上させるアンテナが追加されており、シロの戦い方に合わせた改修となっているとも言える。

登場作品	機動戦士ガンダム第08MS小隊
所属	地球連邦軍 極東地区 フォンマ大隊
階級	少尉

モビルタイプ	指揮官型 チムフク型
主武装・機体	陸戦型ガンダム、ガンダムEZ-8
戦術・得意	戦術決定 戦術 行方不明

## PILOT FILE NO.026 第07MS小隊

## 08小隊をライバル視する小隊

07小隊は、08小隊と同じくゴジマ大隊のMS第2中隊に属する部隊。激戦地に配備されたゴジマ大隊のMS小隊は機体も激しく、07小隊も欠員が出ており定数に満たない3人での戦いを維持していた。隊長のロブとマイクはMSパイロットを

担当、女性兵のサリーはネバートラックに搭乗し前線を担当。同じ中隊である08小隊にはライバル意識を持っており、挑発的な行動も目立った。劇中ではその活躍は描かれなかったが、仲間を失う戦いに何度も参加していたのは確かだ。



登場作品	機動戦士ガンダム第08MS小隊
所属	地球連邦軍 極東地区 フォンマ大隊
階級	少尉 ロブ 伍長 サリー

モビルタイプ	チムフク型
主武装・機体	陸戦型ガンダム
戦術・得意	戦術



08小隊に同村者とチェッカーを出し、サンダーズ「死神」時をわらし、乱戦騒ぎを起こしたこともある。



他の小隊との評判も起こしながらも、同じ部隊内では結束が固く、行動も共にしていた。



ジオン公国軍の鉱山基地攻撃時、上官であるライヤの策略によって、3人とも戦死してしまっただ。



RX-79 [G]  
陸戦型ガンダム

陸戦型ガンダムの生産ラインを使って、生産された先行量産機。試作量産機となるRCM-79に比べて総合的に高性能な機体となっている。ゴジマ大隊では02、03、05、07のMS小隊に配備されていた。先行量産機とは違い、その生産数は少なく、開発過渡期の機体である。



PILOT FILE NO.029

## カレン・ジョシュワ

## 経験値を活かした堅実な戦いで小隊を牽引

08小隊には最初から配属されていた古参のMSパイロット。姉御肌で筋骨隆々の見た目ながら、実は元医学生というインテリ女性兵士でもあり、負傷した仲間の治療をその場で行うことができるというスキルも持つ。前任の隊長がノイローゼで後方送りになるほどの激戦区で生き残り続けていることから、パイロットとしてかなりの手練れであることが判る。

理想主義の新任隊長であるシローを甘く見ていたが、有言実行する彼を隊長として認めたことで、08小隊はより頑固な形でもとまることになる。極東アジア地区での長い戦闘経験を活かした知識と、近距離・中距離両面での高いMS操縦技術を駆使して戦い、責任当初の経験の浅いシローを補佐していた。08小隊の副隊長的存在であり、シローが不在の際は隊長代理も務めていた。



MSパイロットとしての技量も高く、戦闘経験の豊富から、エースと呼べるレベルの撃墜数も持っている。



ノロの機体修理や医務になる仲間に喝を入れるなど、ある意味小隊のハニースを保持する者でもあった。



愛機の特装型ガンダムはアッカイとの戦闘で小破。後半は陸戦シムの訓練を取り付けた形で戦線に参加していた。

登場作品	機動戦士ガンダム第08小队
所属	地球連邦軍 極東地区 コマンド
階級	軍医

機体タイプ	ゲームワーク型
主な乗乗機体	特装型ガンダム
戦線判定	生存

## PILOT FILE NO.028 , テリー・サンダース Jr.

## 才能を秘めた日の当たらないエース

MSパイロットとしての技量が高いため、先行量産型ジムに乗って機度かの戦闘に参加し、08小隊配属前に6機の撃墜記録を持つエースパイロット。しかし、自身が所属していた小隊は、ことごとく自分を除いて全滅してしまうため「小隊演じる死神」という不名誉な二つ名を持っていた。

高機動型ザクとの戦闘で被弾した自分を救いつつ、生き残ることにこだわって生還したノロと

出会い、自分のジンを変えてくれると彼に全機の情報を見せている。

「ツキさえあれば士官にもなれた」とカレンが評価するほど、酒豪ではないが確実なMS操縦技術と交戦時でも敵の動きをじっくりと見極める冷静さも併せ持っており、ここぞという時に仲間をサポートする能力も高く、単なる偶然で彼だけが生き残ったのではないことが判る。



08小隊としての3度目の出撃では、仲間の助力を受けてアプサラスを撃墜させ、ノックスを脱出した。



ノロを救う心は強く、最大の理解者でもあった。

RX-79[G]  
陸戦型ガンダム

高性能な試作機であるRX-78ガンダムの全制成品をばい生産された連邦軍初の量産型MS。大量生産はされず、要となる激戦区に優先的に配備された。08小隊が高い戦果を挙げられたのは、機体の高いパイロットに加え、陸戦型ガンダムのボトムアップの富が合わさった結果とも言えるだろう。



陸戦型ガンダムにのって、敵を倒すという戦い。

登場作品	機動戦士ガンダム 第08小队
所属	地球連邦軍 極東地区 コマンド
階級	軍医
機体タイプ	ゲームワーク型
主な乗乗機体	先行量産型MS 陸戦型ガンダム
戦線判定	生存



## 忠誠心に生きた、一騎当千の武人



ノリスは、地上で運用する新型兵器開発に携わるギニアス家に仕える形で、極東方面の鉱山基地を改装したラサ基地に配属されている。以前の経歴は不明だが、MSパイロットとしての技量が高く、超級も人佐と高いため、一年戦争開始時からMSに乗り続けていたと思われる。パイロットのタイプとしては、高い操縦技量によって、単機でも多くの機体撃破を行える一騎当千タイプ。しかも、単なる天才肌ではなく、出撃前に戦闘を行う場所

や敵機の情報を把握し、それに応じた武装を装備して出撃。現地では、戦場の全域を見渡せる場所から状況を確証し、効率的に敵機を制圧していくという理詰めでの戦闘を行う。MSの性能をギリギリまで引き出せる技量と相まって、まさにエース中のエースとも言える人物だ。シロー・アマダに撃破されて危機を迎えたが、それも任務遂行を優先した結果であり、実力としては完全にノリスが勝っていたことは明らかだ。



ザクミに搭乗し、戦艦型ガンダムと水中戦を展開。性能差が著る様子を見せない戦いぶりを見せた



義人としての忠誠心も強く「悔しい」サハリン家のアイナの思いに応えるべく、無償の出撃を敢行した



高い運動性と格闘能力を持つ「カスタム」の性能と市街地という状況を活かすことで、複数の敵機を制圧した。



アイナの忠告である「シローと対峙したノリス。結果、戦死してしまうが、目的を達成するどころかエースらしい。



MS-07B3  
グフカスタム

ノリスが義勇に戦った機体。当初はザクミに搭乗していたことから愛機というよりは、市街地で有効に戦闘を行えるという意味で、機体を盗んだものと思われる。その性能をいかんなく発揮することで、08小隊とガンタンクの計6機で構成された部隊を単独で追い詰めることに成功している。

登場作品	機動戦士ガンダム第08MS小队
所属	ジオン公国軍
階級	大尉

エースタイプ	一騎当千型
主な搭乗機体	ザクミ、グフカスタム
戦歴判定	戦死

## 一族復興の思いを試作機に託した兄妹



サハリン家の当主で、ジオン軍の技術士官であるギニアスは、ジャブロ・攻撃用の兵器開発を一任され、極東地区のラサ基地に赴任。戦局を大きく変えるMAアブサラスを完成させることが、没落したサハリン家再興の最終手段だと信じていた。そこで、アブサラスのテストパイロットとして実験のアイナを呼び寄せ、兄妹でアブサラス完成に心血を注いだ。

しかし、ギニアスとアイナの心は一枚岩ではなく、兄はアブサラスの完成への妄執に囚われる中、妹は戦場で心を通わせたシローとの関わりを深めることで決裂することになる。共にパイロットとしての手腕は高くないが、アブサラスという連邦軍の弱点を単独で破壊可能な兵器の運用していたため、連邦軍にとっては大きな脅威だったことは間違いない。

登場作品	機動戦士ガンダム第08MS小队
所属	ジオン公国軍
階級	アブサラス
戦歴判定	アイナ/脱走 行方不明 ギニアス 戦死

## アブサラスⅢ

試作と実験を重ねた最終完成した、アブサラスの最終形態。ミノフスキー・クラフト2基を搭載することで飛行安定性の向上に成功し、消費エネルギーはどの高い破壊力を持つ大型メガ粒子砲を装備している。





PILOT FILE NO.03

## トップ隊

## オデッサの激戦から逃れた、はぐれMS部隊

地上における連邦軍とジオン軍の軍事バランスが入れ替わった「オデッサ作戦」。大敗したジオン軍では、指揮権を失って孤軍奮闘しなければならぬ小隊が独自判断で行動していた。トップ隊もそんなオデッサからの敗残兵である。女隊長のトップは、冷静で高潔な人物で、食料の供給に立

ち寄ったゲリラの村でも礼儀を重んじて行動。その部下である言夢のパイロットのデルもその場の状況を認める人物であり、2人の優秀さがあつたから生き延びられたのだろう。しかし、若輩兵のアスの軽率な行動から、ゲリラの村で戦闘に発展し、小隊は全滅してしまうことになる。



トップがザクI、デルとアスはザクIIに搭乗。激戦を抜けてきたように、機体はかなりボロボロだった。

登場作品	機動戦士ガンダム 第008MS小隊
所属	メーサー公国軍
階級	大尉・トップ
主な搭乗機体	ザクI、ザクII
戦後行状	戦死



MS-05  
ザクI

ジオン軍対の量産型MS。オデッサ作戦時にはすでに旧型となっていた。悪名であるトップは動きよりも性能の低い機体で部隊を率いており、ここから彼女の能力の高さを伺い知れる。

MS-06JC  
ザクII

連邦軍のシートを持つがアス機、スパイクヘッドが破壊されているがアム機。かなりの激戦を伺い知れる戦況にあり、的確な撤退を指示したトップの判断能力も見て取れる。

## PILOT FILE NO.032 | ボーン隊

## 脆弱な装備でMS小隊と互角に戦う気鋭部隊

オデッサからガウ攻撃空母で撤退を図っていたボーン・アプストが率いる部隊。空母降下中の08小隊と遭遇し、シローによる交戦を避ける間、いかにボーンは感謝と屈辱が入り交じった複雑な表情を見せる。

その後、仲間たちを完全撤退させるために、08

小隊を足止めしなければならぬ状況に陥ると、遭遇時の借りを返すべく、マゼラ・アタック3機で防衛戦を展開。撃墜を駆使して機弾率を下げる作戦や心理的な動揺を誘う作戦を展開することで、08小隊を相手に互角以上の戦いを見せ、その能力の高さを知らしめた。



上官である「ボーン」との交戦経験も豊富で、仲間たちの退路を拓くことを率先して実行した。



撤退部隊であったため、対MS装備としては脆弱なマゼラ・アタックを駆使して08小隊と戦いを挑む。



隊長のボーンとシローは特殊部隊のハイル・ヘルンが中心となって、反乱軍作戦に参加する。

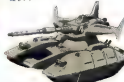


撃墜した機体を隠し、約物に破壊されたMSの残骸を配置するなど、不利な状況を取り返す作戦を展開する。

登場作品	機動戦士ガンダム 第008MS小隊
所属	メーサー公国軍
階級	大尉・ボーン
主な搭乗機体	マゼラ・アタック
戦後行状	戦死

## マゼラ・アタック

ジオン公国軍が開発した戦車型MSで、戦車の概念を大きく踏襲。機体部分が分離し、空中から攻撃可能な機能を持たせている。MSに対抗しうる火力を持つが、あくまで支援攻撃に使える程度であり、単独戦闘で勝つことは難しい。



PILOT FILE NO.032

## ハーディ・シュタイナー

サイクロプス隊の隊長にして  
特殊作戦のプロフェッショナル

特務部隊「サイクロプス隊」の隊長。年齢は44歳で階級は大尉。性格は冷静沈着、洞察力に優れ、危機を巧みに切り抜ける術を心得ている。MSパイロットとしての腕もたしかで、シュタイナー率いる4機の部隊で北極基地の連邦軍MS隊を壊滅状態に追いやった。



北極基地襲撃で戦闘中に膝を怪我、シャトルを取り逃がし、アンディを失った。

登場作品	機動戦士ガンダム 0080 ポケットの中の戦争
所属	ジオン公国 サイクロプス隊
階級	大尉
機体タイプ	増援型
主な搭乗機体	MS-07E
戦後判定	死亡

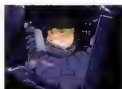


PILOT FILE NO.034

## ミハイル・カミンスキー

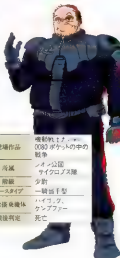
巨漢のベテランパイロット  
酒好きでコクピットにスキットルを持ち込む

巨漢のロシア系パイロット。隊内では「ミーンヤ」の愛称で呼ばれている。サイクロプス隊の中でも特に操縦技術に優れているようで、ルビコン作戦ではテンプファの操縦を任されていた。サイト6の連邦軍MS隊を一網で壊滅させたが、NT 1の攻撃で死亡した。



舞臺の轟音で作戦中に酔っ払い、入れたウイスキーを欠かさない。

登場作品	機動戦士ガンダム 0080 ポケットの中の戦争
所属	ジオン公国 サイクロプス隊
階級	少尉
機体タイプ	一般型
主な搭乗機体	ハイゴック
戦後判定	死亡

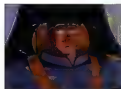


PILOT FILE NO.035

## ガブリエル・ラミレス・ガルシア

工作活動を得意とする隊員  
粗暴な性格に見えるが……

MSの操縦だけでなく、格闘戦や破壊工作なども得意とする兵士。言葉使いは荒く、必要とあれば子供でも躊躇なく殴る粗暴さと冷酷さを持つが、新兵を気遣い作戦が失敗して隊が危機に陥った際には自らを犠牲にすることを厭わない仲間思いの一面を見た。



ガルシア機のコクピットはスードピンナが貼られていた。

登場作品	機動戦士ガンダム 0080 ポケットの中の戦争
所属	ジオン公国 サイクロプス隊
階級	軍曹
機体タイプ	一般型
主な搭乗機体	ハイゴック
戦後判定	死亡



PILOT FILE NO.036

## アンディ・ストロース

身だしなみに常に気をかけていた隊員  
北極基地襲撃でシャトルに殉戦

連邦軍北極基地襲撃作戦の際にハイゴックで出撃したサイクロプス隊員。出撃前に衝で髪型を整えるなど身だしなみに常に気を遣う性格のようだ。NT 1を載せたシャトルの打ち上げ阻止のために隊長を待たず殉戦したが、GMの攻撃を受けて戦死する。



アンディは現場においても洒落っ氣を奪われない人物だった。

登場作品	機動戦士ガンダム 0080 ポケットの中の戦争
所属	ジオン公国 サイクロプス隊
階級	少尉
機体タイプ	一般型
主な搭乗機体	ハイゴック
戦後判定	死亡



## サイクロプス隊の使用機種

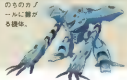
特務部隊のサイクロプス隊は一般大規模の少突撃隊の部隊で、随伴への潜入や破壊工作などを主な任務にしていた。そうした部隊の性格から、ズゴックやケンパフォーマーなどの最新鋭機や特殊作戦機が優先して配備されていたようだ。

MSM-07E  
ズゴック

シュタイナーが駆るズゴックの性能向上型。足は反戦機を意味するSEXPERIMENTの略。部品共通化によるコスト削減と機動性向上を主眼に開発された。

MSM-03C  
ハイゴック

重装甲、大火力が機動性の低かったズゴックを両脱し、軽量化による機動性向上と生産性アップを期して再設計されたMS。のちのガンダムに繋がった。

MS-18E  
ケンパフォーマー

一戦車末期に開発された機体用MS。大出力による高機動で目標に接近することに主眼とし、ジェネレーター出力を弱くビーム兵器はほとんど使用しない。



PILOT FILE NO.039

## バーナード・ワイズマン

相打ちながらアレックスを倒し、ザクでガンダム撃破の金星を挙げるが…

宇宙突撃軍の新兵で愛称は「バーニー」。初陣となるサイド6「リボー・コロニー」襲撃作戦で乗機のザク改が爆撃・墜落。その際に少年アルと知り合い、アレックスの情報入手に成功した。

その後サイクロプス隊に補充兵として移動となり、ルビコン作戦に参加するが、そこでアルと再会。交流を深めることになる。連邦軍基地への潜入中に彼の不用意な発言から正体がばれて隊は

壊滅。ジオン軍上層部が同コロニーに対して核攻撃を実行したことを知り、1度は脱出しようとするが、作戦を中止させるために追撃されてしまったザク改を修理し、ガンダムに挑むことを決意する。コロニーの森林地帯にゲリッ戦でおびき寄せ、白兵戦に持ち込みNT-1を撃破するが、白機も機関部にビーム・サーベルの直撃を受けて爆散。壮絶な戦死を遂げた。



大戦後半に登場し、短期教育でMSパイロットとなったバーニー。初陣でザク改を失ったことを友人に告げられたが本人もそのことを気にしていなかった。

MS-06F2  
ザクII改

ザクシリーズの最終生産型で、年戦争末期、登場した機体。統合整備計画により、生産性と性能が大幅に向上しているが、同時に推進剤の消費量も増大しているため、稼働時間は短くなっている。生産機数も極めて少ない。

ゲリッ攻撃でアレックスを撃破し、相打ちとなったザク改とカントムを撃破する大きな戦果を挙げた。



PILOT FILE NO.038

## クリスティーナ・マッケンジー

抜群の操縦適正からアレックスを預かるテストパイロット

NT専用機の開発を行うG 4部隊に所属するテストパイロット。愛称は「クリス」。連邦軍士官学校を首席卒業し、1年戦争開戦とほぼ時を合わせて、戦術研究班へ配属された。優秀な操縦技術が買われて配属後まもなくアレックスの専任パイロットを拝命。機体の調整を受け持った。同僚の開発はリボー・コロニーの連邦軍極秘施設で行われたために、実家に登場することになり、そこで旧知

のアルと再会。身分を隠してサイド6に潜入していたバーニーとも出会うことになる。

初陣でケンパファーを撃破したが、続くザク改との戦闘では現地軍は協力を拒否した上に、市街地への被害を避けるためにバーニーがフタを仕掛けた森林地帯で戦うことを余儀なくされ、最終的には性能で劣るザク改と相打ちになった。その際に負傷し、復讐する前に戦死を遂げている。

RX-78NT-1  
アレックス

NT専用機として開発された同機は度々事故が多いため、通常は使われていない。試作機として開発された。試作機として開発された。試作機として開発された。

RX-78-NT-1FA  
チョバムアーマー

フルアーマーオペレーションの一環として開発された複合装甲を装備したNT-1。装甲自体が破壊されることで衝撃を吸収して機体ダメージを防ぐ。



チョバムアーマーの効果もありケンパファーを撃破するものの、相打ちになったバーニーのザクと戦うこととなり、戦場の不利もあってNT-1を大破させる。

登場作品	機動戦士ガンダム0080 ジオン再興戦記
所属	連邦軍
階級	中尉
機体タイプ	専ら汎用機
主な機体	アレックス
戦歴	死亡

## PILOT FILE NO.039 | フェデリコ・ツァリアーノ

## 卑劣な手段も厭わないジオン狩り部隊長



こいつの「20」に、あるか、物資集積所を襲っただけ、必ず少頃、アリアノイ、その声には随分と驚き、さうも



当初こそ、お前、ヒルドルブ戦で、部下が次々と斃れるに、従い、戦いは、崖地と崖地のぶつかり、合点、なっていた。

MS-06J  
ザクII型

一年戦争におけるジオン公国軍MSの代表格。ザク5の陸戦仕様。セモヘンテ隊の指揮官は任務の性格と、機体を防ぐため通信機を連射型に換装していたが、ザク・マンガンガンは弾薬不足に陥り、ジオンの物資集積所から、現地に運送していた。

登場作品	機動戦士ガンダム MS IGLOO 年戦争秘録
所属	地球連邦軍
階級	中佐
機体タイプ	指揮官型
主な搭乗機体	MS-06、ザクII型
戦歴判定	戦死

## PILOT FILE NO.040 | セモヘンテ隊

## ヒルドルに破れ全滅したプロ軍人集団

北米アリゾナ砂漠で活躍していた、ツァリアーノ麾下のコマンド部隊。南進したMS-06J ザクII型3機と61式戦車1輛のことで編成される小隊2個からなる。正式な撃破記録など残るべくもない汚れた仕事に従事する一方、彼らには連戦MSによる実績を通じて連邦軍のMS戦術を確立する役割も

求められていた。その意味では、大局を見据え「名を捨て実を取った」プロ軍人集団だったと言える。さらにはこれらコマンド部隊には、連邦製MS配備後の指揮官候補を育成するという教団的側面もあったが、セモヘンテ隊はヒルドルブとの交戦で全員戦死している。

登場作品	機動戦士ガンダム MS IGLOO 年戦争秘録
所属	地球連邦軍
階級	中佐～中佐の位階を擁護
機体タイプ	指揮官型
主な搭乗機体	MS-06、ザクII型
戦歴判定	戦死

## 第1小隊



フェデリコ・ツァリアーノ  
フレート・アンリナツキのザクII、321号機に搭乗。倒したはずのヒルドルブに背後から先に即座の撃を受けて死亡



ベンター・CAP  
ザクII 322号機に搭乗。ヒルドルブの不意打ちに倒れ、生き残ったものの、その後マシンガンで倒れて死亡



ホロゴノフ  
ザクII 323号機に搭乗。ヒルドルブの車体に倒れ、生き残ったものの、その後マシンガンで倒れて死亡

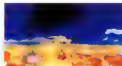


ミツチル  
61式戦車144号車に搭乗。ザク・マンガンに倒れ、生き残ったものの、その後マシンガンで倒れて死亡

## 第2小隊



シュアート  
ザクII 340号機に搭乗。左後部座席を被弾させたヒルドルブに、とめを刺すことができなかった



ジャクソン  
ザクII 341号機に搭乗。機内爆弾の炎に、ヒルドルブに倒れ、生き残ったものの、その後マシンガンで倒れて死亡



クルス  
ザクII 324号機に搭乗。倒したはずのMS-06 ザクIIを機中から、背後からヒルドルブの不意打ちを受けて倒れる



フランシス・マリオン  
61式戦車144号車の車長。砲撃、機内爆弾で倒れ、生き残ったものの、その後マシンガンで倒れて死亡

PG 07 FILE 00 046

## デメジエール・ソンネン

## 負け犬の凄味を見せつけて荒野に散った戦車乗り

ジオン公国軍の戦車兵。かつては戦車教導団で教官を務めたほどのベテランだが、新世代兵器であるMSへの転科適性試験で不合格となり、聴尿病を患うほど自虐的な生活を送っていた。だが地球連邦攻撃戦の物資不足から、一度は不採用となったモビルタンクYMT-05 ヒルドルプと共に第603技術試験隊に合流し、再起を図る。この奇死が試

験は、固らずも連邦軍の幽霊ザク部隊「セモベンテ隊」との実戦となったが、熱で過剰な商売の制約プログラム不備を長年の勘で補うなど、超人的な戦車戦術を遺憾なく発揮。結果、MS6機、戦車2両を半壊で全滅させる大戦果を挙げたが、自らもフェデリコ・ゾリアノのMS-06J ザクⅡと相打ちとなり、誇り高い死を迎えた。



験した生活による聴尿病は深刻。聴尿病による自虐的な生活を送るために、體分の調整がよいドロップを常用していた。



だがセモベンテ隊との戦闘が始まるまで、理想も止んでこの表情。神楽坂の射撃と戦術を各分に見せつけ、敵艦を次々倒した。

YMT-05  
ヒルドルプ

開発中だった連邦軍の超大型戦車に、近距離式の上半身を加工した試作モビルタンク。だが運用性汎用性の低さから開発は中止となり、増の完成車両も所蔵室試験を名目、秘に捨て置かれた。これは真に30cmの口径を持つ主砲の威力は絶大。



実験機として、ノアのモビル形態でも、同じくマン・カザン戦艦も、同じく活用。機体と血を流す今の姿は評価を低くした。



通常形態



モビル形態

登場作品	機動戦士ガンダム MS IGLOO 年表戦争秘録
所属	ジオン公国軍
階級	少佐
モビルタイプ	戦車型
モビル機体	YMT-05 ヒルドルプ
機体判定	戦死

PG 07 FILE 00 042

## ジャン・リュック・デュバル

## 最も初期のMS撃墜記録を持つ、非業のテストパイロット

ジオン公国のMS開発メーカー、ツィマノド社の元テストパイロット。かつてEMS-04ツダの開発に携わり、ジオニック社のMS-05 ザクⅠと制式採用を競ったが、試験中に部下の搭乗機が空中分解事故を起こして散失した過去を持つ。のちにその改良型といふ触れ込みのEMS-10 ツダと共に第603技術試験隊に合流するが、これは連邦軍MS

の登場に焦った事が、新型機導入を阻害するプロパガンダのためで、実際にはEMS-04と同様の欠陥機であった。この事実を連邦軍に暴露された彼は二度目の屈辱を味わうが、オタニサから衛星軌道上へ送れた友軍の救出にツダを駆って奮戦。境界を超えた推力で敵MSを引き付け、意図のある戦いに満足しながら愛機とともに殉じた。



プロパガンダ・メカニズムも登場。時の人となったデュバル。だがその真実を暴露され、名声は絶って地に堕ちる。



かつてのノアの悲劇も、その一環。敵艦と戦い、決して敗北を認めない。その高すぎる誇りが、彼を汚れた英雄に変えた。



最終にはツダで敵艦と激突を繰り返す。敵艦とも空中分解。だがこの戦いで、連邦軍MSを最も初期に撃墜した。メカニズム。

EMS-10  
ツダ

年表で当時の全MS中でも、格闘の能力と運動性を誇る機体。だが過剰な速度・ジャンプの力に、高い機動力・機体構造への負担も専断ではなく、境界まで駆逐すれば自爆を免れないという致命の欠点を持つ。



登場作品	機動戦士ガンダム MS IGLOO 年表戦争秘録
所属	ジオン公国軍
階級	少佐
モビルタイプ	機体型
モビル機体	EMS-10 ツダ
機体判定	戦死



PILOT FILE NO.045

## ヒデオ・ワシヤ

パイロット崩れのお調子者で  
603のムード・メイカー

第603技術試験隊所属のテストパイロット。MSパイロットに憧れていたが、士官学校での得意科目と不得意科目の成績差が激し過ぎたため、扱いに困った軍によって同隊に配置されてしまった。場違いな軽口が十八番の陽気者だが、危険な任務に高い集中力と、同僚の死に等しい苦しさも持ち合わせている。また、のちにEMS-10ツダ2番隊の専属パイロットとなつてからは、その実力を見事に証明。ア・バオア・クーの激戦も生き残り、仲間たちと共に終戦を迎えている。



ノダ2番隊の専属となり、満面の笑顔を浮かべるワシヤ。扱い難く危険な機体を操って、見事自分の愛機として見た。



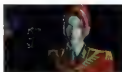
登場作品	機動戦士ガンダム MS IGLOO 一年戦争秘録 機動戦士ガンダム MS IGLOO 第II巻 双星降臨
所属	オー・公国軍 第603技術試験隊
階級	中尉
ユニットタイプ	普通型汎用型
主な搭乗機体	FMS-10 ツダ
機体判定	生存

PILOT FILE NO.046

## モニク・キャデラック

激情と行動力で  
MSをも駆った政治将校

超帥男バーネムインダ機関から、第603技術試験隊に派遣された特務大尉。当初は中佐相当の権限と相手をとねかきして部隊を掌握しようと奮闘するが、戦争の現実と試作兵器に関わった者たちの運命を目の当たりにするうち、名実共に隊の一員となっていく。それでも激情家には変わりはなく、オデッサから衛星軌道上に脱出した友軍の救出作戦と、ア・バオア・クー攻防戦では、自らEMS-10 ツダの予備機で出撃。敵MSを撃破するのみならず、後援でマイ中尉の命をも救った。



勇敢と誇りっぽい性格。悪戯好きな超帥男で、部下に愛されることが、だか心の奥には、虚か。思、やっも秘めて、いる。

登場作品	機動戦士ガンダム MS IGLOO 一年戦争秘録 機動戦士ガンダム MS IGLOO 第II巻 双星降臨
所属	オー・公国軍 第603技術試験隊
階級	特務大尉
ユニットタイプ	指揮官型
主な搭乗機体	MS-10 ツダ
機体判定	生存



PILOT FILE NO.047

## オリヴァー・マイ

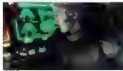
603の任務の中核を担う職人気質の技術士官

第603技術試験隊の技術士官。試作兵器の評価試験を主任務とする同隊で、技術面での中核を抑う。論理派で冷静、かつ温厚な人物だが、優れた技術への崇敬と探究心、それを公国のために活かそうとする情熱は人一倍。そのため、しばしば政治的判断や苦しい戦局に左右される任務の内実には、困惑することもある。連にはア・バオ

ア・クー戦において、自らも急造兵器のMA-05Ad ヒク・ラングで出撃を余儀なくされたが、機体性能に助けられ、戦艦1、過半数5を含む一戦艦も敵を撃破。たった一度の実戦でエースとなる。だがその間も、母艦にヒク・ラングの記録を取り続けるよう求め、「兵士が命を賭けた技術は後世に伝える」という信念に忠実であった。



味方の命を救うと信じて、なにか「命を救う」機。ワシヤの任務。ノダの任務を知った際には、主官ア・バオア・クーに依頼した。



機体不調での戦線離脱を惜しむオリーブ。味方、味方の少年兵らを守りつづける意思を固くした。



ワシヤ機

キャデラック機

MA-05Ad  
ヒク・ラング

MAヒクログを改造した新鋭指揮機。機体下部はMSやモビルスーツの駆動機構。応急修理可能なコンテナとなっている。武装も充実して、その厚装甲の利点であった大威力をスライサー。場合によっては改造機でも、ある。

EMS-10  
ツダ

603での再評価試験を無条件で終了し、603のノダはそのままだに、戦艦1、過半数5を含む一戦艦も敵を撃破。たった一度の実戦でエースとなる。だがその間も、母艦にヒク・ラングの記録を取り続けるよう求め、「兵士が命を賭けた技術は後世に伝える」という信念に忠実であった。



登場作品	機動戦士ガンダム MS IGLOO 一年戦争秘録 機動戦士ガンダム MS IGLOO 第II巻 双星降臨
所属	オー・公国軍 第603技術試験隊
階級	技術中尉
ユニットタイプ	普通型汎用型
主な搭乗機体	MA-05Ad ヒク・ラング
機体判定	生存







PILOT FILE NO.051

## ベン・バーバリー

## 怒りに吼える生身のザクハンター

一年戦争前半、生身でMSと戦うことを余儀なくされた。対MS特務兵小隊の隊長。実に13機もの敵MSを撃破した優秀な指揮官だが、その度にはほとんどの隊員を失い、「部下の命を吸う死神」と称されていた。高過る損耗率が1機不足な新兵の補充を招く悪循環に苦悩する部下思いの男で、そのがんじがらめの裏には煮え滾るような怒りを秘めて

いる。事実、4月26日の欧州マリアーージュの戦いでは、MS-06J ザクII 2機と引き換えに全ての部下を失うも、なお単身で2機目に抵抗し、地の利を活かしてこれを撃破。尽きることないその闘志は、敵パイロットを震え上がらせた。だが戦って現れた3機目に抵抗する術は最早なく、雄叫びと共に拳銃を乱射しながら死んでいった。



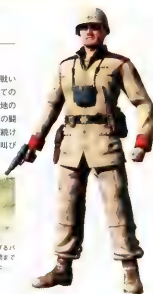
厳しい戦いに共に、大団円。パイロット・ルイス隊長、彼もザクⅢの5機に倒れ、バーバリーの怒りは満ちた。



ひとりで抱えたメーサーも、地下の石切り道を踏み踏んだザクⅢに発射。見事ジャイアント・キングを倒し立てた。



現れた3機目に向かい、高味を上げるババリー。その悲しみの瞳は英の國歌まで恐れを知らず、運命に抗って見せた。



## M101A3

## 対MS重誘導弾リジーナ

歩兵用の対MSミサイル。目視を頼り導弾でミノムシや、射撃落下でも高い命中精度を誇る。一年戦争前半にはザクIIに数多く撃たれた兵器だった。だが再装備時や量産と文句も多く、対人兵器が完成した敵艦型ザクⅢには苦戦を強いられた。



登場作品	機動戦士ガンダム MS IGLOO2 重力戦線
所属	地球連邦軍 第44機械化近衛連隊 対MS特務兵小隊
階級	中尉
機体タイプ	指揮官型
主な搭乗機体	M101A3 対MS重誘導弾リジーナ
戦歴判定	戦死

PILOT FILE NO.052

## ガンタンク小隊

## 未来を絶たれ、過去を絶つために戦う四人部隊

RTX-440陸戦強襲型ガンタンクで、最前線に転戦せられた四人兵部隊。隊長のアリヌはかつて同僚の戦死に携わっていたが、恋人クライドが機体の情報を手土産にジオンへ運び、自らも間与を疑われて終身刑となっていた。以来ふたりの部下と共に復讐だけを求めて戦い続け、オデッサ作戦で遂に彼が産棄するダブテ超陸戦艦を発見。敵をなぎ倒し、ダブテ級もろとも自爆する。だが、クライドの正体が味方の送り込んだ二重スパイだと知った彼女の魂は、決して曲がらなかった。



ドロ・バクスワヨ 隊長 アリヌ・ネイズン 技術中尉  
ミロス・カルツ 技術少尉

登場作品	機動戦士ガンダム MS IGLOO2 重力戦線
所属	地球連邦軍 第44機械化近衛連隊 対MS特務兵小隊
階級	中尉、ア、少
機体タイプ	指揮官型
主な搭乗機体	M101A3 対MS重誘導弾リジーナ
戦歴判定	戦死



特攻のため、戦一ナイスワッチと、ザクの攻撃で機体、損壊した。お前もロトルがよと、叫びて自爆した。



アリヌの過去を知るカルツは、どこまでも置いて行く」と約束。クライドへの通を伝へると、ダブテに特攻していく。



速、ファイアを促す。アリヌは、彼の光明も聞かず、自爆装置を起動。搭載された大量の爆薬が、恨みと共に火を噴く。

RTX-440  
陸戦強襲型  
ガンタンク

試作巨大戦車RTX-440 対MS戦術能力を付与した。RX-75ガンタンクの兄弟機。情報漏洩とミス、すなわちコンセプトゆえに開発は中止されたが、オデッサ戦では過半数の巨額投入と、突撃攻撃部隊、要所としての突撃力を見せ付けた。



自爆機、アリヌは悲しい。すでに、敵中で、死ね、と嘆き、死んでいったこと。その哀しみは、自らの手で絶たれた。

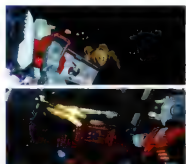


登場作品 G Gundam the R of A  
BADA QJ  
所属 地球連邦軍  
階級 中尉  
武器タイプ 色違い型  
主な搭乗機体 ノム  
戦歴判定 生存

## PILOT FILE NO.053 | ジャック・ザ・ハロウィン隊

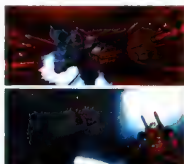
### ア・バオア・クーで民間人を守ったMS小隊

ジャック・ザ・ハロウィン隊は、地球連邦軍による宇宙での反攻作戦「星一号作戦」に参加していたMS小隊。最終決戦の舞台となったア・バオア・クーでの戦闘以前はどのような活躍をしていたのかは不明で、部隊も隊長のジャック・ヘアード少尉と占夢のアダム・ステインワレン曹長の2名しかいない。ア・バオア・クーでの戦いの最中、サッミス改フジ級スルカに乗りこえていたコロニー移



ス・スルカ 避難する人々を、いかに時間差を設けて、絶妙な連携で難く撃破 アダム曹長の突撃力をジャック少尉がサポートするよう作戦、を立案しているようだ

民を乗せたランチをジム2機で牽引し、激戦区から退避させる任務を担う。二人ともMS操縦技術は決して低くはなく、民間人の乗るランチを防護するという不利な状況でも、戦況に応じて2機が同時、もしくは時間差攻撃を行うなど絶妙な連携を見せることで、遭遇する艦MS、MAを多数撃破しており、特に攻撃担当したアダム曹長は充分エースパイロットと呼べる実力を持っている。



退避作戦中に、艦MS、MAを、も遭遇するが 状況を見て戦術を回避 また 仲間であるホワイトヘース隊の機のカンパニオン部隊とも連携している



RGM-79  
(アダム機)

2機の連、は保護する武器とマ キングの連、のみアダム機はム スブレカールに ム ハル2本を装備し、攻撃性を重視している

RGM 79  
ジャック機

ジャック機は、青銅色、ブルー、ハイパー・ハス カを装備し、ランチを引継ぎ、攻撃よりも 民間人を守るフナタを防護すること、を主として行っていた



ア・バオア・クーの最深部に隠された大規模兵器「コロニー」を発見 これも幸なり 戦況が激化し 連邦軍の被害拡大を抑えている



二人は、アダムは、戦闘用メカマックスなどとは異なっている。イン・フォーム機、武装に際しても特殊な装備を結 いていない。この点から大きな特徴は、ない。ジャック 民間人を守るという任務が重なり、単独以上の実力を出させていた可能性はある



私戦の中、航空用トロワの中心に立つ、その中心にジャック・クーの最深部に移動 狭い空間でも戦術を次々と撃破 MS戦術に挑み付けはよく 操縦技術もかなり秀



私戦の中、航空用トロワの中心に立つ、その中心にジャック・クーの最深部に移動 狭い空間でも戦術を次々と撃破 MS戦術に挑み付けはよく 操縦技術もかなり秀



ノーラン・レーン戦線、サラの活躍、直ぐアダム曹長が身を挺して阻止。シャッフル劇本、人々を導きながら

### シミュレーションライド型アトラクション 「ガンダム・ザ・ライド～宇宙要塞ア・バオア・クー～」

『ガンダム・ザ・ライド～宇宙要塞ア・バオア・クー～』は、2000年7月20日オープンし、2007年1月9日まで、山梨県富士吉田市にある「富士急ハイランド」で稼働していたアトラクション。サッミス改フジ級スルカから避難するランチに乗った一般人という設定で、ア・バオア・クーでの戦場を疑似体験するライド型アトラクションであり、ジャック・ザ・ハロウィン隊と共に戦場を駆け抜ける感覚を味わうことができた。サンライズ製作のCG映像にリンクして、油圧式で稼働する津波の激しい動きが臨場感を高め、上映時間はわずか3分間ながら、ガンダム世界への没入感が高く、多くのガンダムファンを喜ばせた。





## PILOT FILE NO.054 | コウ・ウラキ

### 戦場で覚醒したエースとしての資質

士官学校を卒業したばかりの新米パイロットであり、オーストラリアのトリントン基地に着任後はデータ収集用機体のテストパイロットを担当していた。しかし、偶然遭遇したガンダム試作2号機強奪事件をきっかけに、ガンダム試作1号機のパイロットを任せられ、戦場で真実と実力を付けていった。まだ稚りなさが残るものの、搭載するMSの性能を限界まで引き出す操縦技術を持ち、

ジオン軍のアナベル・ガトーとの戦闘を繰り返すうちに、実力的に引けを取らないレベルまで急激な成長を見た。

その戦い方は、決して派手ではないが、近距離、中距離のどちらのレンジにおいても安定した攻撃能力を持つバランスタイプであり、機体の性能を見極め、限界まで使いこなす天性の操縦技術が加わることで激戦の中で高い戦果を挙げた。



操縦技術という才能を誇ったものの、この部分、カトーという好敵手へのライバル心で自分をより強く磨いていった。



エンゲージであるコア・バリエーションによるサポートもあり、ガンダムの性能を大きく引き出した。



ガンダム試作1号機と3号機と、一特殊な機体をお互いに戦闘で使ったことから能力の高さがわかる。



**RX-78GP01**  
ガンダム試作1号機

汎用人型兵器としての性能を確固まで引き出すことを目的とした試作機。RX-78.2ガンダムの設計をベースに、より人間に近い運動性を実現するよう各部の関節箇所の可動性を高めて高められている。各部にセンサーが配置され、格闘・白刃戦を重視されている。



**RX-78 GP-01f**  
ガンダム試作1号機  
フルバーニアン

ガンダム試作1号機の宇宙戦仕様。重力下と無重力下でそれぞれ高い性能を発揮するためのバリエーションを駆使した設計がされている。関節にノーストップが埋め込まれることで、宇宙空間での高機動性を実現した。



好敵手ばかりから、やや遠慮気な部分もあり、深い思いなどによって戦場に臨むことが多かった。



**RX-78 GP03**  
ガンダム試作3号機

MSの汎用性の高さとMAの攻撃力を兼ね備えた、宇宙空間での拠点防衛を目的としたガンダムの試作機。コア・ユニットである スパイメンとアームトヘイストを以て構成されている。

登場作品 機動戦士ガンダム0083  
—STAR DUST MEMORY—  
所属 地球連邦軍  
階級 少尉  
★ ユニタリ 名義ふりえ型  
主な搭乗機体 ガンダム試作1号機  
戦場判定 生存

## PILOT FILE NO.055 | チャック・キース

### 共に激戦を戦い抜いたコウの盟友

トリントン基地のテストパイロットで、士官学校時代からのコウの友人。陽気な性格のため、戦闘で遅れをとることが多かったが、ガンダム試作2号機の強奪作戦の最中にバニングやモンシアらによる戦闘訓練を受けることで、パイロットとして成長した。その後、デラース前線では、ジム・キャノンIIに乗り込み、中距離支援というポジションからコウや不死身の第4小隊の面々と共に激戦を戦い抜いた。



コウやバニング、モンシアらと行動を共にする中で、彼らから多くのことを学んだ。



登場作品 機動戦士ガンダム0083  
—STAR DUST MEMORY—  
所属 地球連邦軍

階級 少尉  
主な搭乗機体 ジム・キャノンII  
戦場判定 生存



PICT FILE NO.055

## 不死身の第4小队

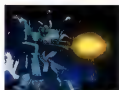
## 一年戦争を戦い抜いた連邦軍のエース部隊

サウス・パニングが率い、アルファ・A・バート、ベルナルト・モンシア、チャップ・アデルで構成されたMS小队は、一年戦争時には「星一号作戦」に参加し、ソロモンでの戦いやア・バオア・クーでの激戦を一人の犠牲者を出さずに戦い抜いた。その結果「不死身の第4小队」と呼ばれることになる。終戦後はパニングとは別の任地に就いていたが、ガンダム試作2号機の追撃にあたって、バ

ニングによって再招集され、アッヒオンで小队として再結成することになる。協調性にかけるバート、酒好きでトラブルメーカーのモンシアと個人の性格には問題があるものの、激戦を抜けてきたキャリアに裏打ちされたMS操縦技術は高く、コウとチャップの新人パイロットのお手本となる部分も多く、途中隊長のパニングを欠いてしまうものの、デラース紛争を最期まで戦い抜いた。



激戦を生き抜いたベテランパイロットであるモンシアから見れば、上官甲斐出たこのコウは、経験が足りないヒヨコ。そのため、軍性癖を試作機であるガンダム試作1号機のパイロットを返して返戻することも多かった。しかし、激戦を共にし、互いに話の合うようになる



部隊として、この4人、サウスとバート、モンシアとチャップ、連邦軍に戦った最期の戦いで連戦を繰り返した



アノス紛争後、バート、モンシア、アデルの3人はティターンズに入隊して、



バニングが率い、アルファ・A・バート、ベルナルト・モンシア、チャップ・アデルで構成されたMS小队は、一年戦争時には「星一号作戦」に参加し、ソロモンでの戦いやア・バオア・クーでの激戦を一人の犠牲者を出さずに戦い抜いた。その結果「不死身の第4小队」と呼ばれることになる。終戦後はパニングとは別の任地に就いていたが、ガンダム試作2号機の追撃にあたって、バ



バニングは経験豊富なが、年輩的な風格から周囲を苦しむが、アノス紛争の途中で戦死してしまう。



コウやキースは生き残り、アノス紛争こそ戦ったが、その甲斐あって、人はパイロットとして大きく成長した。

RGM-79C  
ジム改

ジムのバリエーションで、一年戦争後期生産型の機体で、バックパックのシステム増設や機体センサー、ジェネレーターなどが改良されている。ア・バオア・クーでの戦いに実戦投入されて以降、配備された。配備された。

RGM-79N  
ジム・カスタム

量産型MSのトータルパフォーマンスを向上するための開発された。ジム系MSの生産と整備機能、機動性、柔軟性、耐久性が向上した。エースパイロット用として少数量生産された。不死身の第4小队では、バニング、バート、モンシアが搭乗した。

RGC-83  
ジム・キャンノンII

RX-77Dガンキャノンのア・バオア・クーでの戦いで、開発された中隊機を型の新機体。ジム・カスタムとの生産ラインを共有することで、バニングの共通化や整備性の向上が図られている。アルビオンのMS小隊では、コウとアデルが搭乗していた。



## PILOT FILE NO.057 | アナベル・ガトー

## ソロモンの悪夢と恐れられし武人

一年戦争当時は、ドスル・サビ指揮下の宇宙攻撃軍第302哨戒中隊を指揮してソロモンを中心に活躍。ソロモンからの撤退戦ではしなりを露め、追撃をかけてきた連邦軍に甚大な被害を与え、その無敵とも言える戦いぶりから「ソロモンの悪夢」と呼ばれるようになった。ア・バオア・クーでの最終決戦でも高い戦果を挙げた、上官であるエ

ギ・ユ・テラーズと共に戦線を離脱し、その後デラース・フリートに参加する。ガンダム試作2号機を盗奪し、追撃してきたコウ・ウラキと熾烈な戦いを繰り広げた。どんなMSでも乗りこなす、圧倒的な操縦技術で多くの撃破数を誇る。デラースへの忠義を貫き、まさに武人のようなパイロットであった。



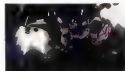
登場作品	機動戦士ガンダム001 ~STAR DUST MEMORY
所属	ドスル・サビ
階級	少佐
モーター	ア・バオア・クー
主な搭乗機体	ガンダム試作2号機
戦歴判定	戦死



ガンダム試作2号機を盗奪する。ア・バオア・クーでの最終決戦でも高い戦果を挙げた。



武人のようでありながら、人間的な情懷も持ち合わせている。



トリエット基地に侵入。ア・バオア・クーと激戦を繰り広げ、戦う度に強くなるコウを次第にライバル視するようになる。

AMA-X2  
ノイエ・ジール

小惑星アクシズで開発された試作型MA。大型シールドを用いた革新的な機体。高火力を實現。有線攻撃が可能なメイン・アーム、ビーム・サーベルを内蔵したサブ・アームを持つ、完成度の高い機体だ。

RX 78GP02A  
ガンダム試作  
2号機

地球連邦軍が地球攻撃可能な機体として開発された機体。新機体・新機体と称される機体。新機体と称される機体。新機体と称される機体。

## PILOT FILE NO.058 |

## ケリィ・レズナー

## 過去にこだわった隻腕のエース

一年戦争時はガトーと共にソロモン宙域で戦ったが、戦中の負傷によって左手を失いパイロットの道を断たれてしまうが、終戦後もガトーとは交流を続け、月面都市フォン・ブラウンでジャンク屋を営みつつ、開発途中状態の秘密型MAヴァル・ヴァロを完成させ、デラース・フリートに参加することを目的に生きてきた。完成したヴァル・ヴァロを、愛護しながらガンダム試作1号機を追いかけるほどの情量で操ったことから、もともと高い機体操縦技術を持っていたと思われる。

MA-06  
ヴァル・ヴァロ

ジオ公国軍が一年戦争時に完成させることなく廃棄したテスト型MA。クロー型の大型機体と機体サイズが大きい。電子回路を駆使するプラズマナイダー搭載している。

登場作品	機動戦士ガンダム001 ~STAR DUST MEMORY
主な搭乗機体	ヴァル・ヴァロ
戦歴判定	戦死

## PILOT FILE NO.059 |

## カリウス

## ソロモンの悪夢と恐れられし武人



一年戦争時は、宇宙攻撃軍第302哨戒中隊で、ガトーの指揮下で戦った人物で、ソロモン撤退戦やア・バオア・クーを共に生き抜いた。戦後はガトーと共にテラーズ・フリートに参加し、地球連邦軍の組織式攻撃などをサポート。ガトーの信頼を得ている人物であり、武術の如く戦うガトーについてただあつて、パイロットとしての実力も高い。ガトーの部下で唯一生き残った人物でもある。

MS-09 R-2  
リック・ドムⅡ

一年戦争後半に戦線に投入された、ク・アムラの改良型。プロペラントタンクの増設により、機体時間の強化が図られている。特別な機体ではないものの、カリウスは戦後も愛護として使い続けている。

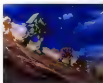
登場作品	機動戦士ガンダム001 ~STAR DUST MEMORY
主な搭乗機体	リック・ドムⅡ
戦歴判定	生存

PILOT FILE NO.050

## ノイエ・ビッター

## ジオン再興に望みをかけた古参兵

一年戦争時は地上に降下し、ジオン公国軍アフリカ方面第3突撃機動師団司令として戦闘を指揮。戦後は、通信用ダイヤモンド鉱山基地跡を建設し、アフリカで抵抗戦を続けていた。地上で行動するガトーへの人的支援に加え、宇宙へのガンダム試作2号機の輸送にも協力する。階級は少将とかなりの高官であり、補給のない基地を3年間守り通すなど、指揮能力の高い人物であることが判る。また、ガトーを宇宙に送り出すにあたっての基地を捨てる決断にも部下たちが素直に従うことから、人望の厚さも伺わせる。ガトーとガンダム試作2号機の脱出のための時間稼ぎには、自らザクⅡに乗って戦闘に参加している。



ザクⅡ乗用。部下を率いて進軍するアルトオン隊に所属した。

登場作品	機動戦士ガンダム0083 ～STAR DUST MEMORY～
所属	ジオン
階級	中佐
機体	ザクⅡ改型
機体特徴	ザクⅡ改型
機体設定	戦死

MS-06F2  
ザクⅡF2型

一年戦争時、開発された、標準的なタイプのザクII。整備性や生産性を向上すべく部品が改良されているが、基本的性能はあまり変化していない。ノイエ・ビッターの乗った機体はロケット・スターを装備していた。

PILOT FILE NO.061

## シーマ・ガラハウ

## 混乱の時代を生き抜いた女傑パイロット

ジオン公国軍突撃機動軍を指揮していた女性士官。一年戦争時は、ジオン公国軍海兵隊として、艦載ではスペースコロニーへの毒ガス注入する「コロニー演習」に従事し、その後「シーマ艦隊」を率いて破壊工作や暗殺など汚れた仕事を続けた。しかし、戦後はアクシズへの亡命を拒否され、稀る場所を持たなかったため、民間船や軍用貨物船を襲う宇宙海賊を行って生活していた。テラース紛争では、テラース・フリードに協力する素振りを見せながら連邦軍と裏で通じるなど計略を図る狡猾さも見せつけた。また、MSパイロットとしての実力も高く、愛用の海兵隊指揮官仕様のゲルググに乗り、一年戦争時には50機以上のMSを撃破したとも言われている。

MS-14FS  
ゲルググM 指揮官機

一年戦争時に活躍した量産型ゲルググの海兵隊仕様。機動性の向上、燃費、稼働時間を良くするためのプロペラントタンクが装備され、ヒュー・サーヘルと改造されるなど改良がなされている。



登場作品	機動戦士ガンダム0083 ～STAR DUST MEMORY～
所属	ジオン
階級	中佐
機体	一式陸上型
機体特徴	ザクⅡ改型
機体設定	戦死

AOX-04  
ガーベラ・テトラ

ガンダム試作4号機として開発された機体はヘム、外装を改良した機体、自給装置を主眼としており、機動性を向上させるコンパイル・システムを装備していた。



PILOT FILE NO.062

## アダムスキー／ボブ／ゲイリー

## ガンダム強奪作戦に参加したジオン残党兵



ガンダム試作2号機強奪のために地球に降ってきたガトーを支援するために、ノイエ・ビッターが派遣した自身の部下。アダムスキーとゲイリーはドム・トロペンを駆ってトリントン基地を襲撃し、ボブの乗るザメルが長距離砲撃でこれをアシスト。基地を混乱状態に陥れ、ガンダム試作2号機強奪を成功に導いた。奇襲を仕掛けていると言え、絶妙な連携と少ない機体で基地防衛のMSを次々と倒す手前から、3人とも手練れであることが判る。

登場作品	機動戦士ガンダム0083 ～STAR DUST MEMORY～
機体	ドム・トロペン、ザメル
機体設定	戦死

MS-09F/TROP  
ドム・トロペン

MS 09ドムの局地戦仕様で、砂漠や陸軍基地での運用を前提としたトロピカル（熱帯地）タイプ。中央アフリカなどに配備された。防衛フィルターや拡張内蔵装置などが装備されている。

YMS-16M  
ザメル

中・遠距離支援用MS。MSながら砲撃に特化した機体構造となっており、あらゆる移動可能な機体を持つ移動砲台として先行する隊方MSに対して砲撃支援を行った。









# 一年戦争異聞録

## ACES IN "ONE YEAR WAR" ANOTHER STORIES

## MSV/MSX/戦略戦術大図鑑/ゲーム

「戦国時代」の物語は「人間の戦争を描写した物語」である。戦国時代に生じた人物の何人か一言が、主役として多くの人々の戦争を動かす。この物語は、あえて正確な歴史を捨てた第5の存在である。それは世界に根拠無いリアリティを備えた物語である。

そうした作業を通じて、現場監督から得たひとつの知識。それは、現場のどこかに存在した糸を辿るだけ。本職である建築士は、あくまでMSや人物を創造するだけ。一冊の『究極の建築家』に、その糸を辿る建築家の姿が、一瞬一瞬の瞬間に描かれていた。

ーション」で、アニメ映画の制作が本格化し、プロダクションが、海外への展開を始めた。エースたちも続出。91年には書籍「**漫画家・高橋留美子 読者劇場大賞**——新戦国全記録」が発表増補し、そのコンピュータゲーム版も、読者の手元に届いた。また、その

「今日、学生は『世界は紙で出来た』と信じている。だから、紙のイメージをアニメーションで表現して、紙のイメージを伝えることが、紙のイメージを伝えることだ。紙のイメージを伝えることが、紙のイメージを伝えることだ。」

# ACE IN THE GUNDAM



## ギャリー・ロジャース

## 刹那の見切りで勝機を掴む連邦屈指のスピードスター

RGM 79L ジム・ライトアーマーを駆った、代表的なエースパイロット。高速戦闘に慣れた元戦闘機乗りが望んで誕生したという機種の山由から考えて、彼もまた戦闘機からMSへ機種転換したと思われる。速度と機動力を活かした一撃離脱という、愛機のコンセプトに忠実な戦法を得意とし、巧みな操縦で多くの戦果を挙げた。

登場作品	MSV
所属	地球連邦軍
機体	大尉
ユーザータイプ	機動タイプ
主な所属機体	RGM-79L ジム・ライトアーマー
機体特定	不明

RGM-79L  
ジム・ライトアーマー

RGM 79L ジムのエースパイロット向け仕様。高機動バルカン砲と高速度をオミットして軽量化を施し、速度と機動力を売りにしている専用ビーム・スプレーガンは、高機動をより引き出し、ジム・ライトアーマーの威力を高める。一撃必殺の高速戦闘で真価を発揮した。即ち、僅かな高機動も命取りになるため、速さは極めて高い。



## ON GAME

後のゲーム作品では、ムヒートに絶対の自信を持ち、ぎりぎりの戦いを好む戦士といった人物像が描かれている。また、能力面で下記の「ファイア」と差別化するための、射撃より格闘戦が得意と設定されることが多く、同時に愛機ジム・ライトアーマーも、スピードを活かした格闘戦向きMSと再定義されているケースが少なくない。

## PILOT FILE #064 | フランシス・バックマイヤー

## 愛機の最適化でも名を馳せた伶俐なる射手

RGM-79SC ジム・スナイパーカスタムの著名パイロット。搭乗者の好みに合わせてチューンされた同機種のなかでも、最も軍武的な機体を採用、得意の射撃戦で多大な戦果を挙げた。のみならず、光学センサーを誇る顔面バイザーや、抜刀の癖を生じたバックスライム・サーベルなど、その論理的で的確なカスタマイズでも、つとに有名。のちに50機が生産された同機の約半数が、「バックマイヤー・カスタム」と呼ばれた彼の仕掛けで作ったと言われている。

RGM-79SC  
ジム・スナイパー  
カスタム

RGM 79L ジムの性能に不満を抱くエースパイロットに登場した上級機種。精密射撃用のR4型ビーム・ライフルを装備するため、スナイパー、の名で呼ばれたが、機体性能は出力と機動力を中心に、ひと回り強化されており、機密に富んだバグシステムを駆使する。搭乗者の好みや任務に合わせて、多彩な仕様が存在。



## ON GAME

射撃と機体カスタマイズの名手。相応しくゲームなどでも天才を自称する。クールな自信家とされることも多い。僕と、という人柄も、連邦軍には珍しく、奇巧の長さを伺わせる。

登場作品	MSV
所属	地球連邦軍
機体	中尉
ユーザータイプ	遠距離
主な所属機体	RGM-79SC ジム・スナイパー カスタム
機体特定	不明



## パーソナル・マーク

カメオメンのマーク。バックマイヤーの愛機である機密型の左胸に描かれていた。

30年の時を超え、  
遂に描かれたエース用ジム

上記のように、RGM-79SC ジム・スナイパーカスタムには「多くの仕様が存在した」となっている。だが実際には、いとも簡単にバックマイヤー・カスタム以外のバリエーションは、永らく設定海蔵が存在しなかった。そんな状況下で生まれたのが、MSV-Rで登場したシモダラ仕様機。まだ見ぬカスタム機を想像するにあたって、貴重な手がかりとさえなるだろう。

同様にMSV当時から、ジム・スナイパーカスタムと原型機を同じくする艦隊機、ジム・カードカスタムとジム・インターセプトカスタムの存在が、文字設定でのみ書かれていたのだが、こちらもMSV-Rで遂にイラスト化。実に30年もの時を経て、描き描きを果している。

RGM-79SC  
ジム・スナイパーカスタム  
(シモダラ仕様)

ア・バオア・クー戦で確認された、ジム・スナイパーカスタムのバリエーション。ランダムセルに施した戦用とサイロ・ランチャーをマウントしているが、DCSの書き換えは間に合わず、モニター画面での直接照準で使用する。

RGM-79KC  
ジム・インターセプトカスタム

艦隊防衛を主任務とする迎撃機。MS本体はオーソドックスな仕様だが、多数のミサイルランチャーを備えた大気圏外用のフェロウ・ブラスターを装備することで、速度と火力を増強。艦隊防衛戦で戦術的に威力を誇る。

RGM-79RC  
ジム・ガード  
カスタム

艦隊及び軍港防衛の防衛用MS。ジム・スナイパーカスタムと同様の機動力で敵艦に回り、艦隊を脅かすだけでなく、艦隊の死角に侵入し、シモダラ仕様機が装備された、身を隠しながらの攻撃も可能。



## 非情に徹することも厭わない古武士を思わせるベテラン士官

「白狼」ないし「ソロモンの白狼」のふたつ名で呼ばれたエースパイロット。U.C 0055 ジオンの日系名家に嫡男として生まれ、一年戦争開戦以前に軍へ入隊。軍籍番号PM0557674415)。ルウム戦役で戦艦1、巡洋艦5を沈めて中尉に昇進し、士官学校での短期教育を経て大尉となった。著しい戦功から、豪華の授与などで幾度も本国に召還され、

MS 06R 1A 高機動型ザクR-1Aの機動飛行時の画像が公開されたことも手伝って、国民の人気を博した。ドズル・ザビ中將とは兄弟同然の絆で結ばれており、ドズルが出撃する際には常に傍らにあったが、ソロモン陥落時は本国に召還中で、トスル戦死の報に勇立たしたという。その後のア・バオア・クー戦には参加せず、戦後の消息も不明。

MS-06FS  
ザクII

MS 06F ザクIIの頭部に30mmバルカン砲を追加した上位機種。5型の登場以前、治安官を中心に配備された。マツナガが中尉時代に使用した機体は、5型の限界まで機動性をチューンアップしていた。高機動型ザクR 1Aへの機体転換後、研究機体としてジオニック社に移送。

MS-06F  
ザクIIマツナガ小隊機

ザクII 55機連隊のマツナガが率いるMS小隊の所属機。MS-06F ザクIIに若干のチューンナップを施し、ホワイト・ウルフを表す「W」の文字と機体ナンバーがマーキングされている。同27機連隊のほか、試験のナンバーを赤で書き込んだ3機機も存在。



## パーソナル・マーク

最も有名な機体である高機動型ザクR-1A（機体573）のシールドに描かれたパーソナル・マーク。左肩パイロット・アーマーにも、別の意匠の狼が描かれている。



登場作品	MSV
所属	ネオン公国軍宇宙攻撃軍
階級	大尉
機体タイプ	騎馬タイプ
主な搭乗機体	MS 06F5 ザクII、MS 06R 1A 高機動型ザクR-1A
経歴判定	生存

MS-06R-1A  
高機動型ザクR-1A

MS 06F ザクIIを全面再設計し、空母機動性を高めた上位機種。開発有望なテストにのみ結実されたこの貴重な機体をマツナガは入隊時代に2機受領して、主に使用した機体573とは、右肩の顔認識顔面装具、ふくらみ足関節部、カトリッジ部などが、初期生産型であるR-1と相別れ、生産工程による差異やR-1A仕様、改修されたR-1の可能性が指摘されている。本機はソロモン陥落時生存者のまま帰国。機体23号は陥落パイロット不在の機体を予備機としたもので、ドズル中尉のザクIIと似てく向前にスバイク・アームを装備している。

## マサヤ・ナカガワ

## 祖国の大義に命を捧げたジオンのサムライ

ア・バオア・クーのEフィールド防衛大隊所属。シン・マツナガと同じく、ジオンには珍しい東洋系の血をまぐ。高性根と引き換えに生産性が低く、「連邦軍の戦艦を沈めるより手に入れる方が難しい」とまで言われた、MS-06R-1A 高機動型ザクR-1Aを駆ったエースのひとりである。にもかかわらず、機体の上半身のみが写った画像を入手した連邦軍は、そのパーソナル・カラーから地上用のザクIIと誤認。のちに下半身の画像が発見されて真相が判明したという、珍しいエピソードを持つ。



登場作品	MSV
所属	ネオン公国軍
階級	中尉
機体タイプ	騎馬タイプ
主な搭乗機体	MS 06R-1A 高機動型ザクR-1A
経歴判定	不明

MS-06R-1A  
高機動型ザクR-1A

愛機はブラウン系の「パーソナル・カラー」で塗装されており、マルチモード・アンテナが膝ではなく頭頂部にあるのが最大の特徴。もともと、初期生産型のR-1に見られなかったスバイクを基いた直筋があるが、機体の変型までは利用していない。



## 不撓不屈のMSパイロット

ゲム作品での一人称は「私」で、祖国への忠義に重い実直な情といった人物像。強敵には敬意を表しながらも、不撓のタフネスを武器に死を賭して創すスタイルが持ち味となっている。

PILOT FILE NO.067

## エリオット・レム

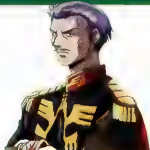
## ザクの可能性を極めんとした求道の技術者

宇宙世紀にその名を残す技術者のひとり。軍籍番号MT0296683222を持つジオニック社からの山崎軍医で、MSの基礎理論とMS-06ザクの基礎設計を確立した。続く高機動型ザクの開発では責任者を務めるのみならず、スポーツマンとしてならした肉体を駆使してテストパイロットも兼任。以降も新鋭機の投入を尻目に、ザクの性能限界を追求し続けた。戦後は再三の要請により、連邦軍技術本部付工芸士となっている。

MS-06R2  
高機動型ザク  
・プロトタイプ

MS-06F ザクIIの量産型に30mmバルカン砲を追加した高機動、5型の登場以前、指揮官を中心に配備された。マフガが中絶時代に使用した機体は、F5型の部品の大半を機体でチェンソー、ブレイクした。高機動型ザクIIAへの機体転換後も、研究機体としてインテック社に提供。

登場作品	MSV
所属	ジオニック社
機体	中作時過



## ON GAME

++

実戦経験のない技術者であるため、敵面にはエースパイロットではないが、高機動を持つことにより本書での定義、高機動型ザクIIは技術者らしく、彼の機体性能を的確に、見定め金セ・フカ多し、さらにも実戦への出場も可能。

登場作品	MSV
機体	MS-06R2 高機動型ザクIIプロトタイプ MS-06R2 高機動型ザクII 高機動型ザクII
機体	高機動型ザクII
機体	高機動型ザクII



## ON GAME

++

新鋭戦術大団長の記述では、機体スラア・MS138、艦船2で、ジオン公国軍第6位。ゲーム作品では圧倒的な両面能力を誇り、セリフも振々と、空気を感ぜさせる。一方で、固も電機も秘の人物として、登場している。

登場作品	MSV
所属	ジオン公国軍 突撃機動隊
機体	大佐

PILOT FILE NO.068

## ギャビー・ハザード

## 尽きぬ闘志をその身に秘めた練達の志士

史上4人しか存在しないMS-06R2高機動型ザクR-2のパイロット。折り紙つきの雄略技量と凄まじい胆力とを兼ね備え、躍動していた補給艦隊の盾となつて愛機の右腕を吹き飛ばされながら、左腕1本で任務を完了した逸話を持つ。一方で人間臭い面もあるようで、パーソナルカラーは好物のジュエリー・ビーンズに由来するとの噂である。

機体タイプ	一機当り型
主な機体	MS-06S ザクII、MS-06R2 高機動型ザクII、MA-05R2 ザクII
機体	高機動型ザクII

## MS-06S

## ザクII

少佐時代の機体。ザク・バズ・カム機体と黄色に塗装されていた。能力を中心にチューンナップされていたため、機体も非常に速くは速い。機体はMA・作戦中作中不明となっている。

## MS-06R-2

## 高機動型ザクR-2タイプ

高機動性と最大機動時の攻撃能力を両立させた。高機動型ザクIIの最終型。シャネレ・タ・マズ・MS14ゲルグの試作品を改造しており、ザクの性能を超える能力を誇る。だがコスト高からMS-06R・リョウ・ドムに置き換えられ、機体のみの生産に留まった。



PILOT FILE NO.069

## ロバート・ギリアム

## 尽きぬ闘志をその身に秘めた練達の志士

史上4人しか存在しないMS-06R2高機動型ザクR-2のパイロット。折り紙つきの雄略技量と凄まじい胆力とを兼ね備え、躍動していた補給艦隊の盾となつて愛機の右腕を吹き飛ばされながら、左腕1本で任務を完了した逸話を持つ。一方で人間臭い面もあるようで、パーソナルカラーは好物のジュエリー・ビーンズに由来するとの噂である。

## MS-06S

## ザクII

片腕でザク・マンガンと戦い補給艦隊を襲った。中絶時代の機体。失われた名前は、機体名が影響を受けている。ザクIIの機体名が影響を受けている。

MS-06R-2  
高機動型ザクII  
R-2タイプ

片腕でザク・マンガンと戦い補給艦隊を襲った。中絶時代の機体。失われた名前は、機体名が影響を受けている。ザクIIの機体名が影響を受けている。

## ON GAME

++

新鋭戦術大団長の記述では、MS14SゲルグとMSA-01Eスリムエースにも搭乗した記述がある。機体スラア・MS115、艦船2でジオン公国軍第6位。同僚をはじめ、敵艦は対戦とされることをあきらめ、最終のMSV-Rは左官表に記された。ゲームではジオンの大義のため。闘志を燃やす気持で戦ったセリフが多い。

## MA-05R

## ビグ・ルプ

MA-05Rに巨大な加農機サイレンを搭載した機体。ギリアムは増設のサイレン・本機の飛行機を破壊した。生産された機体は、ア・バオア・ク・攻撃戦で全滅。



## 激闘の宇宙を駆けた「真紅の稲妻」

PM056330279Aの軍艦番号を持つ、ジオン公国軍屈指のスーパーエース。U.C.0056、サイド3には珍しいアメリカ系の血を引く移民二世として生まれ、22歳でジオン共和国国防軍に志願。一年戦争開戦直後の一週間戦争で、MS-06C ザクⅡCを駆って曹長となる。続くルウム戦役ではMS-06F ザクⅡで戦艦3隻を沈め、大尉に昇進。ほどなく

真紅と黒の機体カラーから「真紅の稲妻」の異名で知られるようになった。一年戦争末期には、キシリア・ザビ少将が設立したエース部隊「キマイラ隊」の第1中隊長に就任。その輝かしい経歴と気さくな人柄で、国民にも絶大な人気を博していた。だがア・バオア・クー戦において行方不明となり、のちに終身中佐に昇格。軍籍を抹消された。

MS-06R-2  
高機動型ザクR-2

ムサイ総統がザクⅡ/ムスを改良とする第2方面軍第81コロム艦隊、通称「ゾリムス隊」のMS部隊隊長を務めていた頃の機体。フィッシュの乗機中、また4機しか存在しない超機種のなかでも、最も有名な機体である。巨大戦艦での「軍艦隊」という彼の特殊戦法に打ってつけた機体であり、ルナノ 方面での最終総決戦などで多大な戦果を挙げた。

MS-06S  
ザクⅡS

大戦時代の受援受援機体はボディとシールド、スライダ・マーカーが赤くペイントされていたが、著しい戦功によってバウンズ・カラーの使用が許可され有名な真紅と黒、塗り直されていた。

MS-14B  
高機動型ゲルグ

キマイラ部隊に所属した、ジオン公国軍の次期主力用機。肩にラットセルの搭載により「容易に仕様変更が可能な」フィッシュは軍艦隊タイプのB型1号機、機番010を愛機としていた。

MS-14C  
ゲルググキャンパン

ライデンのゲルググとして有名なのは機番010の高機動型だが、よから機番011のゲルググキャンパンも後援。

## ON GAME

+

ずば抜けた人気を誇る、MSVの象徴的キャラクター。それだけに多くの派生作品に出演しており、主役級の扱いを受けることも珍しくない。戦略戦術大図鑑での登場スコアは、MS185 艦船6で、ジオン公国軍第3位。ゲームでは、赤い機体ガンダムと誤認され有名になったという初期からの設定を受けて、間違われるたび、文句を言うコミカルな面が強調されていたがやがて大層不敵で実力をも兼ね備えた、真のエースとして描かれるようになった。アクションゲームでは、プレイアブル・キャラクターに採用されていることも少なくない。コミック系でも様々な容姿と人格で描かれており、もはや「作品とファンの数だけジョニー像がある」と言ってもいいほどである。



## パーソナル・マーク

真紅と青い身体を持つユニコーン、高機動型ザクR-2の頭部に見られる、ほかにもザクⅡSのシールドには青い稲妻が、高機動型ゲルググの左肘には「キマイラ」の意思が描かれていたが、後援部隊隊長の可能性もある。

登場作品	MSV
所属	ジオン公国軍 第8方面軍
階級	少佐 のち、終身中佐
ユーザータイプ	一騎当千型
主な機体	MS-06S ザクⅡS、MS-06R-2 高機動型ザクR-2、MS-14B 高機動型ゲルググ、MS-14C ゲルググキャンパン
戦歴判定	行方不明

## 搭乗機の変遷と解釈

ライデンの搭乗MSに関しては、当初ザクⅡCからF型を経てR-2に乗り換えたとされていたが、「MSV-R」ではR-2の直前の機体は5型とされている。また、左上掲載の高機動型ゲルググにはマルチブレッド・アンテナがないが、こちらはのちに「角つぎ」の画稿も描き起こされた。ゲルググキャンパンは予備機とする説のほか、MS配備数よりパイロットのほうが多かったキマイラ隊の事情から、塗装を変更して一時的に使用されたとする解釈もある。

## MSV人気の立て役者

ライデンの人気の一因としては、やはりMSVのプラモデルが挙げられる。83年の「1/144 MS-06R-2 ザクⅡ ジョニー・ライデン少佐機」を皮切りに3種のスケールで発売され、ヒーロー然としたカラーリングと「最強のザク」というキャッチな設定、TVアニメには出て来なかった「新たなエース」のミステリアスな魅力などによって、シリーズ屈指のヒットとなった。結果、第2のライデン機——高機動型ゲルググも誕生し、その人気は驚きとなったのである。



## RB?

高機動型ザクR-2の右肩にある「RB」のマーキングは、赤くペイントした受援機から「レッド・バロン」(Red Baron)の異名をとった第一次大戦のドイツ軍エース、マンフレート・フォン・リヒトホルンへのオマージュという説がある。一方、その意味を宇宙世紀の枠内で捉えようとするファンには、「Rot Blitz」(ドイツ語で「真紅の稲妻」)、「Red Blitz」(英語でドイツ語の混成)などに解釈する向きも、これもまた、ライデン人気の底さしめるところだろう。



PILOT FILE NO.071

## ジェラルド・サカイ

## 最強部隊「キマイラ隊」の生き証人

U.C.0049年1月3日生まれ。24歳で予備パイロット教育を受け、開戦直後のルウム戦役時に野戦任官で少尉に昇進。以降MS-06F ザクⅡ、MS-09R リック・ドムを操り、エースの仲間入りを果たす。学生時代に学んだ工学への造詣も深く、のちにグナダへ転属して技術上官となった。戦争末期には「キマイラ隊」に召集され、ア・バオア・クー戦に参加したが、本国防衛のため帰還。そのまゝ終戦を迎え、同僚の数少ない生き残りとなった。



登場作品	MSV
所属	ジオン公国軍
階級	大尉
エースタイプ	騎兵タイプ
主な搭乗機体	MS-06F ザクⅡ MS-09R リック・ドム、MS-14C ゲルググキャノン
戦後判定	生存

## ON GAME

+

夫々「愛蔵」の面影が存在しない不遇のキャラクタ。キマイラ隊での乗機ゲルググキャノンはスプリッター迷彩を施し、前部はマルチブレード・アンテナを装備していたとされ、後者の特撮から第2または第3中隊長だったとする説もある。

## キマイラ隊



一年戦争末期、キシリア・ザビ少将の介入で設立されたエース部隊。ザンジバル改竄機動連隊にキマイラを旗号とする艦隊と、25機生産されたYMS-14 先行生産型ゲルググのうち24機、高機動型ゲルググやゲルググキャノンへの換装用ランドセルが配備された。MSパイロットは、各戦線から選りすぐられた31名のエースたちが務める。コレビドール暗黒領域での偵察訓練後、突如3箇中隊長としてア・バオア・クー戦に参加したが、隊員のほとんどが行方不明となった。

PILOT FILE NO.072

## トーマス・クルツ

## 故国に銃を向けエースとなった亡命者

軍籍番号EX0570042196G。U.C.0057生まれのアスノイドで地球連邦空軍に所属していたが、家族がサイド3出身だったため、一年戦争開戦と同時にジオン公国に亡命。その出自から、地球攻撃軍第5地上機動師団の特務部隊「G-27」に配属され、中東からアフリカに至る過激区において、ゲリラ戦で多くの戦果を挙げた。この功績により、戦争末期にはエース部隊「キマイラ隊」へ転属となるが、ア・バオア・クー戦で戦死。



登場作品	MSV
所属	ジオン公国軍
階級	中尉
エースタイプ	騎兵タイプ
主な搭乗機体	MS-07B ゴフ MS-14C ゲルググキャノン
戦後判定	戦死

## ON GAME

+

ゲーム作品では戦いと戦の風情を楽しむ、執念深き血塗りに描かれている。また、機動戦士ガンダムカオスリターンズシリーズではMSV当時、は描かれなかった「G-27」時代の愛機、ゴフのイラストも描き起こされた。

## MS-14C

## ゲルググキャノン

キマイラ隊専用機。2色迷彩の塗装は、地球で用いていたMS-07B ゴフから継承したものである。なおキマイラ隊には、2色のゲルググキャノンの機体確認されているが、うち1機の機体は本機と同じ56。そのため「クルツ」機の変種が、時期により異なっていた可能性も指摘されている。



## 「MSV-R」で明かされた、キマイラ隊員のさらなる実像

ライデンの機体MSに関しては、当初ザクⅡC型からF型を経てR-2に乗り換えたとしていたが、「MSV-R」ではR-2の直前の機体は5型とされている。また、左と同様の高機動型ゲルググにはマルチブレード・アンテナがないが、こちらはのちに「角つゝ」の面影も描き起こされた。ゲルググキャノンは予備機とされる訳のほか、MS配備数よりパイロットのほうが多かったキマイラ隊の事情から、塗装を変更して一時的に使用されたとする解釈もある。

## MS-14C

ゲルググキャノン  
キマイラ隊所属機

ゲルググキャノンのブレ-2色塗装。クルツ機と同じ機体番号の、31.57を含む数機が確認されている。



## MS-14C-1A

ゲルググキャノン  
ジオンアスノイド大尉機

師団に移動時同僚長官のコンフォ-マル・タンクを模倣。機体兵装はマウント可能な推進用ランドセルも装備できた。ノード大尉機は機体用ストライプが特徴。



## MS-14B

高機動型ゲルググ  
ユーマ機体コン中尉機

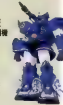
コンフォ-マル・タンクとランドセルはC-1A用と同型。機体の機体は機体作品の活用と思われる。その機体色から、ロバート・ギリアム大佐機と類似された。



## MS-14C

ゲルググ高機動型R型  
ジメンス・ウィルヘルム大尉機

機甲を取り払って両腕の推進器をさらに大型化。リッター、ドットで改修された機体とその予備パーツが購入された。さらに1機がキマイラ隊内で改修された。



## MS-14C

ゲルググ高機動型R型  
エディ・プロム中尉機

3機存在したR型のうち、唯一の女性パイロットだったティエロ中尉は、推進器消費の激しい本機を長年に乗りこえ、最終戦に連戦軍が降参。





PILOT FILE NO.093

## イアン・グレーデン

### 理論と勘で敵機を墜とした先読みの天才

軍籍番号PM0513384612G。卓越した理論派として知られ、一年戦争開始時には訓練部隊で主力下でのMS戦闘を教えていた。第2地上機動師団に転属後、MS-06K ザクキャノンを受領し、同機で構成されたキルフォルニアベース直属支援戦闘MS中隊長として活躍。航空機34、車両71、MS2

#### ON GAME

★★

ゲームでのセリフでは、敵の動きだけでなく運命までもが手に取るように見えており、ニュータイプの資質の張満である。

登場作品	MSV
所属	ジオン公国軍 地球攻撃軍 第2地上機動師団
階級	中尉
機体タイプ	固定型
主な搭乗機体	MS-06B ザクキャノン/プロトタイプ
戦歴判定	生存

#### MS-06K

##### ザクキャノン・ラビットタイプ

MS-06A 陸戦型ザクⅡを改造したキャノン搭載機。当初は対空仕様として開発されていたが、のちに中距離支援機へ設計変更されている。両肩の150mmキャノンに加え、対MS戦闘2連ロケット弾が、ド・ヒュッケンムス搭載可能。グレンの機体は、通常1本の固定型アンテナを2本備えた、特殊プロトタイプであった。



PILOT FILE NO.094

## ロイ・グリンウッド

### MSに乗ると異常に興奮。強化後は「猫目のキャラ」に

軍籍番号PM045898156G。U.C.0045サイド4生まれ。U.C.0078、妻ケイティの事故死を機にサイド3へ移住し、姓を独語読みのグリンウッドから英語読みで改めた。一年戦争開戦後はブリティッシュ作戦で左目を負傷、失明は免れたものの以降眼帯を着用する。ルウム戦後、地球攻撃軍アブ

リカ方面第5地上機動師団に復帰し、中佐へ昇進。第1MS大隊A小隊、通称「カラカル隊」の隊長として、部下のノーマン、ジョエルと共に終戦まで活躍した。その後はアマリアとリミアという二人の娘を残し、消息不明となっている。

#### YMS-09D ドム・トロピカル・ テストタイプ

赤道圏南でMS-09F ドムのマシンとして開発されたアフリカ戦線向けに、キャリブレーション・アベスで製造された機体。応急的な仕様であったため、型番番号は制式のものではない。簡易放熱パイプ、ランドカールの推進器などが、より環境適性の高いYMS-09Fプロトタイプ・ドムの仕様へ差し置かれている。カラカル隊には、プロトタイプ・ドムから直接改造された機体を含む4機が配備。うち1機をグリンウッドが使用したが、ほどなく彼の乗機はザク・デザートタイプに置かれた。



#### MS-06D

##### ザク・デザートタイプ

MS-06 ザクⅡの砂漠戦仕様。出力、装甲、推力の強化に加え、軽量化と防塵処理も施され、ランドセルには大型冷却装置を搭載している。グリンウッドとカラカル隊は、頭部に2本のロ・ドアンテナを備えた、ダリアンアンテナタイプを、実験テストを兼ねて使用。



#### ザンダーキヤット

グリンウッドのドム・トロピカル・テストタイプは、通称「ザンダーキヤット」と呼ばれていた。アレキサンダー方面では、同じ名前エンブレムを持つザク・デザートタイプも確認されており、こちらも彼の愛機とする説が支配的である。

という輝かしい撃破スコアを挙げ、「先読みの達人」と評された。終戦はケープカナベール基地で迎え、連邦軍による拘留を経て、翌年10月にジオン共和国へ帰還。戦後の調査ではニュータイプの疑いが持たれたが、真相は不明である。

#### アルフレディーノ・ラム

ガルスとの共同運用を前提とした火力支援用MS。ミサイルボルトの増設や胸部に火力ブースターを装備することで大気圏内飛行を可能とする。ニューとイーンの共同作戦の目に耽れる。



#### パーソナル・マーク

機体の下部に描かれていた、意匠化された敵機の頭部。由来は不明。



登場作品	MSV
所属	ジオン公国軍 地球攻撃軍 アフリカ方面第5地上機動師団 第1MS大隊A小隊
階級	少佐
機体タイプ	指揮官型
主な搭乗機体	MS-06D ザク・デザートタイプ YMS-09D ドム・トロピカルテストタイプ
戦歴判定	消息不明

#### ON GAME

★★

ゲームのセリフからは、敵の利を活かした「うぬぬ」の名手であることが伺える。多少強引な作戦でも気遣って進行する、軍神とながら人物だ。

#### カラカル隊

機体を砂中に隠して敵を奇襲する「サンドアン」の戦術を以て、リビアの真ん中からスエズ湾西部にかけて活躍。隊旗のクロ・バーを部隊マークとしていた。





## PILOT FILE NO.075 | エリック・マンスフィールド

## 驚獅子の紋章を統べる公国の守護神

ギレン・ザビ総帥直属の組織である。ジオン本国防空本隊所属のミースパイロット。グラー2色の低視度塗装という、ジオン公国軍のエースには珍しく地味な機体カラーで知られている。

登場作品	MSV
所属	ジオン公国軍本国防空本隊
所属	中佐
機体タイプ	軽巧型
主な搭乗機体	MS-06F5 MS-06F5 ザクⅡF5 MS-06F5 MS-06F5-1A 新機動型ザクⅡA
戦歴判定	不明

## ON GAME

戦略戦術大図鑑 ではMS150 最新3位、ジオン公国軍第4位の撃墜スコアを誇っているにもかかわらず非常に露出が少なく「機動戦士ガンダム、カートビッダ」をはじめ周辺作品にもほとんど出ていない。その数少ない例外が 95年のゲーム GUNDAM TACTICS MOB. TY REE0079 で、07年のコミック機動戦士ガンダム エレン編年表 ことに後者では エレン編年表を筆を執る美青年として描かれ、協役ながら強い存在感を示した。

## 第4戦術MS部隊

YMS-09 プロトタイプ・ドムの1/100ノモデルには、オマケとして「第4戦術MS部隊」のエンブレム(盾と、シールドが描かれていた。これにより、同部隊がプロトタイプ・ドムのテストに臨むこと、クランベリーの所属部隊とされることも示された。だが、このマークが描かれたプロトタイプ・ドムのイラストは存在せず、あるのはリク・ドムの機体図だけ。その真意は未だ不明である。なお、クランベリー が所属した正式機、プロトタイプ・ドムの機体には、ザビ家の命令で描かれた部隊章のマークが描かれていたとされている。



## PILOT FILE NO.076

## フレデリック・クランベリー

## 新型機のテストを華々しく担った著名人

YMS-09 プロトタイプ・ドムのテストパイロット。軍が期待を寄せていたこの新型機のテストは、多くの高級料校と軍部幹部の見守るなか、キャリフォルニアベースで武典として行われたが、この際同様に搭乗して幕を添えた人物として知られる。

登場作品	MSV
所属	ジオン公国軍 突撃機動隊
階級	大佐
機体タイプ	軽巧型
主な搭乗機体	MS-05 ザクⅡ MS-06F5 ザクⅡF5 MS-06F5 新機動型ザクⅡA MS-06F5-1A
戦歴判定	生存

YMS-09  
プロトタイプ・ドム

MS軍体での作戦行動支援を広く、機体シャット・アップ・エンジンを選んだ。MS-09 ドムの試作機。ジオン本隊 2機が製造され、キャリフォルニア・ベースで試験が行われた。のちにさらに1機が、YMS-09 ドム・トロピカル・テストタイプに改修されている。

## ON GAME

マンスフィールド以上に露出は少なく、唯一の出演となる86年のゲーム「機動戦士ガンダム 閃光の追撃」で、マンスフィールドの敵のザクⅡ部隊の隊長としてMS-14C ゴルグ・グンペンを率いて終戦直前のアフリカで味方基地を襲撃するが、生き残りである撃墜機パイロット・クレストに討たれた。クレストも後「戦略戦術大図鑑」で言及されている。

## PILOT FILE NO.077

## 個性的な紋章で愛機を飾ったエースたち

## サイラス・ロック中尉／キリー・ギャレット少佐／マルロ・ガイム中尉／カーミック・ロム大尉

以下に挙げるジオン公国軍のMSパイロットたちは、独自のエンブレムで有名だ。

## サイラス・ロック中尉

地球攻撃軍第4地上機動師団所属。中佐候補生待遇とし、大戦初期の東南アジア戦役では、MS-07Bで多くの戦果を上げた。「我、貴の盾」と愛機を守護した。バノラ・マーク・乗務 グレナード、有名。戦後直前、第MS部隊との戦戦で力行不明となる。



## マルロ・ガイム中尉

元機動機パイロットで構成される東南アジアのMS部隊「サイア・ミ・ス・フィ」に所属し、MS-07B グラフに搭乗。機体はグラフィックに塗られ、チャイロ・グレイ、と呼ばれていたが、これらは部隊カラーマークである。



## カーミック・ロム大尉

地球攻撃軍第3地上機動師団所属。のちに近衛MS部隊「スカル・ビオ」の隊長、統率し、主に中東を転戦した。部隊マークである「アラビアン」は、元々彼のパーソナル・マークだった。戦後はサイド7に移住している。



## キリー・ギャレット少佐

地球攻撃軍に所属していた、非常に珍しい女性パイロット。ハービーのマークを模した愛機MS-06J 機動型ザクⅡが、キャリフォルニア・ベースで確認されている。



カーミック・ロムの主な搭乗機はMS-06D ザク・デザートタイプとされているが、1/100プロトタイプ「YMS-09 ドム」・トロピカル・テストタイプ、のバリエーションに描かれた機体図にも「アラビアン」のマークがある。よって、彼がスカルビオ隊長の縁故が、同様に搭乗していたものと推測される。



# 名もなき戦士たちの紋章

パーソナルマークや部隊マークを用いたのは、エースだけではない。  
歴史に名を残すことのなかった者たちのエンブレムから、ごく一部を紹介しよう。



## ジオン公国軍

### 第29機甲中隊

欧が戦艦で活躍した、通称「ブリッツ中隊」のエンブレム。左の旗のマークはMS-07C3 グフ重装甲型へのバリエーションが確認されている。部隊では右側の通称「ザクレディ」も使用が確認されている。



MS-07C-3  
グフ重装甲型  
ブリッツ中隊  
所属機



### 第55MS部隊

エジプト神話における冥界の神アヌビスの紋章。MS-06 ザクII、MS-07B グフなどに使用された。



### ソロモン特殊攻撃隊

MS-06R 高機動型ザクIに見られたマーク。MS-06C ザクII Cの目撃例もある。



### サーベルタイガー

MS-09 ドム系の機体に描かれていたとされる。部隊やパイロットの詳細は不明。



### グリーンサイレン隊

南太平洋水島隊の部隊マーク。MSM-01 水中用ザクも1機配備されたが、主力はMSM-07 スゴック。

### キラビー

サハラ砂漠からジブラルタル海峡にかけて活躍した特務部隊「ピンクパンサー」所属のMS-06D ザク・デザートタイプの本に描かれたマーク。部隊マークはパーソナルマークか不明。同隊は戦後連邦軍に吸収され、RG-80 ジムキャノンとの混成部隊となった。

MS-06D  
ザク・デザートタイプ  
ピンクパンサー  
所属機



### ブルーピオニア

少なくともある時期において、北米で唯一とも書かれていたドム部隊のエンブレム。



### ボトムズ

MS-06M ザクタンクに描かれたエンブレムだと書かれているが、「ザクレディ」との関係も含め、詳細は不明。



## 地球連邦軍

### 北米RG-80部隊

連邦軍の1米戦線仕機に見られた。「North America」の英文字と書けるエンブレム。RG-80 ジムキャノンの盾に描かれたものがある。



RG-80  
ジムキャノン  
北米戦線仕様



### シーサーペント隊

ユーコン湖シサーペントを模倣とする、北太平洋潜水艦隊の部隊マーク。MS-06M 水中用ザクのテストを担当した。



### ウィングレディ

中国北部から北緯ヨーロッパに侵攻した部隊で使用、美しいエンブレムとして有名だが、部隊の詳細はわかっていない。



### ナーガII

「赤いシャッ」とも呼ばれた太平洋潜水艦隊、通称「ナーガII」のエンブレム。水陸両用MSに描かれた。



### フェアリーハート

グラナダ第7師団のMS-06R 高機動型ザクIに描かれていた。

PL07 FILE #0708

## ギェンター・バル

### アフリカの空に舞う航空機キラー

機首に白い甲冑を描いた機番305のド・ダイGAとコンビを組み、サハラ砂漠の水ガール山地上空に一度に9機の敵航空機を撃墜。「ネガールの鷹」の異名で恐れられた。至るまでこれ敵機をヒートホークで西面する驚異の技術で、わずか42日間に戦闘機32、爆撃機6、RGM-79 ジムIを撃破している。戦い末期にはア・バオア・クーに異動。



MS-06B  
陸戦高機動型ザク

MS-06Bを改造した陸戦型ザクの最終「ファル・メタル」の強化と戦闘システムの追加によって高い機動性を発揮したが、開発が遅れ生産数は有限に留まる

### ON GAME



MSV-Rで新たに設定された、30年経ったニューフェイス。東側の陸戦高機動型ザクも、同企画の新設定である。

登場作品	MSV-R
所属	ジオン公国軍
階級	中尉

エースタイプ	一騎当千型
主な陸戦機体	MS-06G 陸戦高機動型ザク
機体判定	不明

PL07 FILE #0709

## デン・バザーク

### MSを駆ってベズンの秘密を暴く諜報員

地球連邦軍のMSパイロットにして諜報員。ジオン公国の小惑星基地ベズンにおける新兵器開発計画を調査する特務部隊の隊長で、FA 78-2 ヘビーガンダムへの搭乗が予定されていた。



### ON GAME



MSXで登場を予告された唯一のキャラクター。ヘビーガンダムを駆ってベズンMSと戦う物語が描かれる。また「ア」と言われるが企画の途中で変更はなかった。そのかわり後半のゲームでは、冷静沈着な素顔パイロットとして活躍。幻のキャラクターからエースの一角として復活を遂げている

### FA-78-2 ヘビーガンダム

RX 78 ガンダムの強化プラン「FSWS計画」に基づきコア・ブロックを廃して装甲と武装を強化した機体。開発は一時中止されたが、最終的に機体の4機が完成したという。



登場作品	MSV
所属	地球連邦軍
階級	大佐

エースタイプ	指揮官型
主な機体	FA 78-2 ヘビーガンダム
機体判定	不明

PILOT FILE NO.080

## テネス・A・ユング

無数の敵を撃ち落とした  
連邦軍のトップエース

地球連邦軍で最多のスコアを誇る撃墜王。その卓越した射撃センスを活かせる機体が好んで使用した。



ON GAME

++

撃墜スコアはMS149 艦船3 戦術戦術大図鑑。の発行当時、アムロを凌ぐこの数字で多くのファンに衝撃を与え、一部からは反響も買った人物。固みにアムロは連邦軍第2とされる。その影響が、ゲーム作品での人物像は悪化しながら、「ジョン狩り」を弄しようとするゾゾウと見られる一方で各能力は極めて高く、安定感に優れたキャラクターとされることが多い。

登場作品	機動戦士ガンダム 戦術戦術大図鑑
所属	地球連邦軍
階級	少佐
ユニットタイプ	機動型 RGM79G5 ジム・ コマンド宇宙駆逐 艦 RGM79SC ジム・ スナイパーカスタム
主な機体乗機	
戦歴判定	不明

PILOT FILE NO.081

## リド・ウォルフ

敵を震え上がらせた  
「踊る黒い死神」

人員不足によって駆動機からMSへ機種転換し、アフリカ戦線において1週間21機という驚異的スコアを記録。黒い機体から「踊る黒い死神」の名でジョン将兵に恐れられた。のちに宇宙へ上がり、バオ・クーで戦死。



ON GAME

++

撃墜スコアはMS68 艦船4で連邦軍第3位。同事では非常に珍しい「シナル・カネ」持ちで、歴代の愛機はすべて黒く塗られている。ゲームでは「死神」の名に反して、幼少時父親の女好き。自身の異名は知っていて、誇りとしていた節がある。

登場作品	機動戦士ガンダム 戦術戦術大図鑑
所属	地球連邦軍
階級	少佐
ユニットタイプ	機動型 RGC-80 ツム・キャ ン、RGM79C 量 産型ガンキャノン RGM79SC ジム・ スナイパー
主な機体乗機	
戦歴判定	戦死

PILOT FILE NO.082

## ハインツ・ペア

幻の機体を駆ったとされる  
謎多き豪傑

所属部隊や活動実態は不明ながら、多くの敵を撃墜したエースとして有名。FA-78-1 フルアーマーガンダムに搭乗したともいわれるが、真相は不明。



ON GAME

++

撃墜スコアはMS37 艦船2で連邦軍第7位だが、それ以上に物語を騒がせたのが乗機の設定。フルアーマーガンダムの出現となるMSVには、机上プランのみで実機は存在しないとされていたカット。もののゲーム作品では決まって同機を駆り、持ち前のスピードと機巧な性格で活躍しているが、機体の存在は未だ設定を見えていない。

登場作品	機動戦士ガンダム 戦術戦術大図鑑
所属	地球連邦軍
階級	中尉
ユニットタイプ	機動型 FA-78-1 フルア マーガンダム
主な機体乗機	
戦歴判定	不明

PILOT FILE NO.083

## ロン・コウ

高潔な魂を内に秘めた  
アジアの星

地球連邦軍第5位の撃墜記録を持つエースパイロット。その名前から東洋系の血を引くと思われる。



ON GAME

++

撃墜スコアはMS43 艦船3 戦術戦術大図鑑。では、このスコアと階級ぐらいしか情報なかったが、のちのゲーム作品では人物像が肉付けされ、紳士的な好青年、描かれている。ペストを尽くそうと奮闘し、船にすら敬語で呼びかけるその姿は、さすが連邦の最上層。能力的には格闘家のオールラウンダーとされることが多く、前線を作戦し、足場を確保する

登場作品	機動戦士ガンダム 戦術戦術大図鑑
所属	地球連邦軍
階級	少佐
ユニットタイプ	機動型 RGM79SC ジム・ スナイパーカスタム
主な機体乗機	
戦歴判定	不明

## 撃墜し過ぎのエースたち

## 『戦略戦術大図鑑』における過大な戦果

本頁と次頁で紹介するエースたちの出典であり、MSVキャラクターの各項目でも再三名前を挙げたのが、新書版書籍『機動戦士ガンダム 戦術戦術大図鑑』。91年に発売されたこの本は、いわば一年戦争をテーマとする航空軍事資料集である。アニメ作品としての『機動戦士ガンダム』ではなく、その作中における各戦役の背景や陣営、使用兵器などに関して、よりミラリックな視点から解説した本なのだ。またそれまでの記述において、既刊のムック本やMSVの設定などを用いつつ、足らない部分を独自設定で補っているものも大きな特徴。例えば『機動戦士ガンダム』の冒頭で地球に落ちるコロニーの名前は、アニメの設定としては決まっておらず、また作戦上その必要もない。だがリリッシュ

な作戦を軍事的側面から詳説するとすれば話は別であるため、厳密に「アランド・イフッシュ」と名づけているのである。こうした「今日のガンダムファンにとって常識化しているが作品には出てこない設定」の機つきは、この本が特典。

ただし、一部の記述に関しては、大に疑問が持たれているのもまた事実。その最たるものが、本書MSVページでも言及している、エースパイロットたちの撃墜スコア。ご存知の通り、地球連邦軍のMS本格配備から終戦までは、たった2ヶ月ほど。しかも宇宙における大規模戦闘は、ソロモンとア・バオア・クーの2回だけである。にもかかわらず、同軍エースたちのスコアは軒並み100機以上なのだ! 一応「連邦

軍のスコアは自己申告制なので、より厳格なジオン軍のスコアほど信用できない。旨は書かれているものの、余りに多過ぎる数字のままだでは鰻に石を。おまけに航空機などは除く数字と明記されているため、多くのファンが頭を抱えてしまった。

それだけに同書が存在自体を慰める向きさえある。だが実は、この本自体も「J.C.0094という体積。怪しい程度は航空の軍事であるビグ・ハボク、クワータータを見開くだけでも解明して読めば、いままって大いに想像力を刺激されるだろう。一紙以上の価値があることと譲り合ひだ。もっとも、後述最大の欠点。すでに地球宇宙世紀ではなく、現実世界で」なところなのだ。

## 戦闘機乗りの魂を継ぐ大空の覇者

地球連邦軍の戦闘機パイロット。フライングナイト戦闘機からFF-6 TINコードへの機種転換後、急激にスコアを伸ばし、オデッサ作戦では34機の敵機を撃墜して第一等戦功勲章を授けられた。終戦時の総スコアは、実に301機にも上る。レディキラーと呼ばれるほどの二枚目で、終戦後には自叙伝『天空の騎士』がベストセラーとなるなど、空戦以外でも負け知らず。



### 「戦略戦術大図鑑」で 言及された その他のエースたち

#### サミュエル

地球連邦空軍少佐。「テキサスの黒い悪魔」と呼ばれる、戦闘機乗りのトップエース。

#### シャルル・キジジギム

地球連邦軍中佐。MS22、艦船2という連邦軍第4位の戦績記録を持つ。主な搭乗機はRGM-79ガンダム。

#### ゲリス・ハノーバ

地球連邦軍少佐で同盟軍第8位の撃墜スコアを誇る。RGM-79ガンダムを乗り、MSのみを32機撃墜。

#### アラクリン・ボトニー

地球連邦軍中佐。RGM-79Gジム・コイル宇宙戦仕様でMS43、艦船1を撃墜し、同盟軍第6位。

#### ミヤ・サミエック

地球連邦軍少佐で第22MS機動大隊に所属。激戦のアーノボア・ワー戦で「負け越え」で戦年を記入するより、勝利の果てに勝つようにと兵を鼓舞した。

#### グレン・エスコット

ジョン公国軍中尉。同軍を通じて最も多くの艦船を撃沈したパイロット。撃墜スコアはMS103、艦船12、MS 065ザクB5、MA 05ビトロに相当。

#### ジョン・クエスト

ジョン公国軍地球戦隊「アノ」カ方隊の第18戦術基地に所属する第1戦術連隊連隊長。戦術部隊「敵のザクリ」が元祖として同基地を襲撃した際、やむなくMSに搭乗。素人ながら6機以上の敵を撃墜し、基地の仲間の救出に助けた。

#### メルディット・バウアー

ジョン公国軍中佐。MS191、艦船4という、ジョン公国軍第2位の撃墜スコアを誇る。搭乗機はMS-065ザクB5、MS 06Xザクキャン。MS 06R-1高機動型ザクR1、MS 06R-2「ジャック・ドム」R1。ソロモンの戦いにも参加したといわれる。

#### ヘルムート・ルッツ

ジョン公国軍地球戦隊軍ヨーロッパ方面第15戦術連隊に所属する。爆気な少尉または大尉。重戦術機「ド・ダイGA」を操り、戦闘機4機、戦術機14機を撃墜したタンクラーである。オデッサ作戦では遠征と補給に充てられ2週間を過ごし再び続けたが、3日目に奇襲部隊の迎撃で事故死した。

## 一撃必殺の腕を持つ真の撃墜王

同軍を通じて最多の撃墜数を誇ったトップエース。無敵弾を極端に嫌い、一撃必殺を旨としたため「ワンショット・キラー」の名で敵に恐れられた。その半面、共同撃破のスコアを質前よく譲り、未熟な新兵の前線投入には反対する、温和な人柄でも有名。専用機やパーソナル・カラーも用いることがない。戦争末期には教導師団で指導に当たっていたが、その後の消息は不明。



## ON GAME ++

撃墜スコアはMS193 艦船8  
この数字の信憑性はともかく、射撃の確率はのちのゲーム作品でも健在。

登場作品	機動戦士ガンダム 戦術戦術大図鑑
所属	ノコ公国軍
階級	中佐
ムースタイプ	騎馬型
主な搭乗機	MS-06F ザクII、MS-06F2 ザクB2、MS-06R1 高機動型ザクR1、MS-06R2 リックドム、MS14C ヴァイグザン
戦後判別	不明

## ON GAME ++

ゲームでのセリフは軽妙で、「気楽にいく」のが印象。ウォルフに会うのが好きなのも、色男の面目知らず。

### 隙なく埋まったエースのピース ミリタリー的にも「いて当然」な人々

数値データの信憑性はともかく、改めて「戦略戦術大図鑑」で登場したエースたちを列挙すると、ふたつの注目すべき特徴が浮かび上がってくる。

まずひとつは、連邦軍側のエースが大幅に増えたこと。MSVの時点ではフランシス・バックマイヤーとギャリー・ロジャースしか存在しなかったことを考えれば、これは大きな意味がある。彼ら新エースの存在がなければ、のちのゲーム「ギレンの野望」なども、エースの偏りによって成立しなかったかもしれないのだ。そしてもうひとつは、同軍のエースのなかに航空機乗りが選んでいることだ。考えてみれば、可変MSの誕生以前では一年戦争では、既存の兵器もMSと組み分けて充分活用されたはず。とくに制空権の奪取と空母はMSに出来ることではないため、空のエースが健在であっても何ら不思議はない。いかにもこの本らしい、ミリタリズムに溢れた視点と書えよう。エースではないため本項では紹介していないが、ほかにも艦隊司令官などが数人に設定されている。

因みにMSV-Rでは、長年文字設定しか存在しなかったヘルムート・ルッツの愛機、ド・ダイGAが遂にイラスト化。一年戦争の空の情景に、新たなイメージを付与している。



#### ド・ダイGA

重戦術機ド・ダイVSの改修機。MSとの連携を主眼に、武装の増設などを行った、対地攻撃型である。



#### FF-6 TIN コード

ハービック社製の大気圏内用小型戦闘機。テキサン・ディミトリの愛機でもあった。

ゲームから生まれたエースたち

## 年戦争の片隅で戦ったプレイヤーの分身

すでに述べたように、アニメ本編の外伝から一年戦争の背景知識を学べるには、トビとして「ガンダム」でデビューし、1979年に『機動戦士ガンダム』という大規模な特撮アニメが公開された。このアニメは、日本テレビの『日曜劇場』枠で放送された。このアニメは、日本テレビの『日曜劇場』枠で放送された。このアニメは、日本テレビの『日曜劇場』枠で放送された。

すでに述べたように、アニメ本編の外伝から一年戦争の背景知識を学べるには、トビとして「ガンダム」でデビューし、1979年に『機動戦士ガンダム』という大規模な特撮アニメが公開された。このアニメは、日本テレビの『日曜劇場』枠で放送された。このアニメは、日本テレビの『日曜劇場』枠で放送された。

すでに述べたように、アニメ本編の外伝から一年戦争の背景知識を学べるには、トビとして「ガンダム」でデビューし、1979年に『機動戦士ガンダム』という大規模な特撮アニメが公開された。このアニメは、日本テレビの『日曜劇場』枠で放送された。このアニメは、日本テレビの『日曜劇場』枠で放送された。



初代ガンダム外伝『機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINY』第1作。この機体のデザインは、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。



99年に発表された『機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINY』第2作。この機体のデザインは、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。



『機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINY』第3作。この機体のデザインは、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。



『機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINY』第4作。この機体のデザインは、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。

## 機動戦士ガンダム サイドストーリーズ

2014年5月にリリースされた「ガンダム外伝」シリーズの最大規模。新作は、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。アニメは、ガンダムシリーズのデザインである。

収録作品  
機動戦士ガンダム外伝 ミッシングリンク  
機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINY  
機動戦士ガンダム外伝 110 の落ちた地  
機動戦士ガンダム外伝 宇宙、閃光の果てに  
ジオニックフロント 機動戦士ガンダム0079  
機動戦士ガンダム外伝 Lost War Chronicles  
機動戦士ガンダム CROSS DIMENSION 0079

発売 2014年5月29日 プラットフォーム PlayStation 3  
ジャンル ドラマチック&ハイスピードアクション 価格 7,600円+税





**MS-06  
ザクII  
(重武装仕様)**

ブーン以外の隊員は、全員がザクIIに搭乗。人型兵器としての特殊兵器を用いた戦術もあった。この重武装仕様はゾム軍の愛機



**MS-08TX  
イフリート**



ジオンの地球攻撃軍が独自開発したといわれる陸戦用MS。高い速度と機動力、格闘戦能力を併せ持つ。MS-07GとMS-09の中間的な機体として完成した。だが宇宙への多用途性と生産性の低さから量産には至らず、試作機に似せた改修機として特殊部隊などに配備された。ウルフ・カーン隊ではブーン大尉が使用

登場作品	機動戦士ガンダム CROSS DIMENSION 0079
所属	ジオン公国軍
機長	大尉 ノー 曹長 ハカー 軍曹 グラウ・ヒム
機体タイプ	近接戦闘型 ブンクラン 無武装型 ハカー、香きまめ型 ハミルトン・キャロト
主な搭乗機	MS-08TX イフリート MS-06 ザクII
戦歴判定	戦死

## PILOT FILE NO.065 ウルフ・ガー隊

### 熱砂に散った明日無き魂たち

マ・クベ大佐の提案で設立された、偵察と後方擾乱を主任務とする第17特殊任務隊。隊員のほとんどが軍事法廷で有罪判決を受けた「囚人部隊」である。地球連邦軍のシルクロード反攻作戦「デザート・ドラゴン」に備えて中央アジア方面迎撃部隊に配置されたが、圧倒的物量でまともに部隊は敗北。その混乱で本隊とはぐれ、孤立無援でゴビ砂

漠を彷徨う羽目になった。その途次で、地球連邦軍アルバトロス輸送中隊の基地を発見し、食料と弾薬を求めて攻撃。だが全ては、この基地に運び込まれたRX-78XX ビクシー破壊の密命を帯びたブーン隊長が、通牒を送って部隊を誘導した結果であった。この戦いで、実戦投入されたビクシーのまえに部隊は壊滅。全員未帰還となっている。



**ヘンリー・ブーン**

ウルフ・ガー隊の隊長。元キシリア親衛隊員だったが、ルウム親衛隊の反逆で軍用機で乗っ取られ、機体の損傷と乗客の死で、兵隊の忠告を取り付けられ、兵隊の大きさに部下の心が折れるのをまぎすべく、戦いを回避。しかしかわらず次々と部下を失い、強敵との戦いだけに、魂の居場所を見出す。



**マーチン・ハガー**

ノー同様クレータ 未帰還に訪れ、さらには空軍部隊の教官として新兵の名を授けられた。ウルフ・カーンに配属。ちやちや戦いから中絶し、敵の高橋の「食料より弾薬を奪え」と命ずるほどの戦況に悩む。



**サキ・クラハム**

唯一の重傷を負った兵士。ルウム親衛隊で戦死した兄の復讐のため、1人でも多くの敵を倒す目標に燃焼した。その「敵の弱み」を戦う理由は自らそれと認められ、ブーンを信頼し、最後まで共に戦う。

**レイ・ハミルトン**

組織学校時代、中性的な顔立ちから同性愛者の噂を流され、同僚2名を殺害。ウルフ・ガー隊に配属後はメカニックとしても重宝されたが、クレータの強さに対する恐怖を拭きぬきません

**レスタ・キャロト**

家族を離れさせるために強盗殺人を犯して投獄された。組織学校で見たMS操縦士を賞賛されてウルフ・ガー隊に拾われる。冷静な球技判断から敵軍を捕縛するが、直後の戦いで死亡。

### 出典とリメイク

初出は95年のスーパーファミコン用シミュレーションRPG『機動戦士ガンダム CROSS DIMENSION 0079』に収録された。初のオリジナルストーリー「死にゆく者たちの祭り」。ゲームオリジナルMSもビクシーとイフリートが史上初で、後者はのちに多くのゲームで派生機を生んでいる。『サイドストーリーズ』収録のリメイク・シナリオでは、プレイヤーの操作陣営がアルバトロス輸送中隊からウルフ・ガー隊へと変更。レイとレスタは名前だけ、ダバとサナは乗機のみが登場となっている。物語に関しては、原作はボルクとサキが生き残るか、ヘンリーだけが生き残るか、マルチエンディングだったが、『サイドストーリーズ』ではさらに悲劇的な結末が新たに描かれた。

### PILOT FILE NO.067

## アルバトロス輸送中隊護衛小隊

### 上官の無能に命を奪われた捨て石部隊

U.C.0079・10・9時点で、オデッサ作戦への参加とホワイテス隊へのRX-78XX ビクシー輸送を任務としていたアルバトロス輸送中隊所属のMS隊。しかし、中隊は敵の攻撃でゴビ砂漠の基地に釘付けにされ、移動MSはRX-77 1 ガンキャノン2機のみという窮地に陥る。非エリート階級のパイロットがビクシーに搭乗することを拒む司令官ノクト・ガディンシュ少佐をなんとか説得し、クワイ大尉とダバ・ソイ軍曹、サナ・ニマ伍長の3名が出撃。この戦戦でソイ軍曹、ニマ伍長の両名は戦死。クワイ大尉もビクシーを残したまま消息不明となっている。



**ボルク・クワイ**

経験豊かな機体も持ったMSパイロット。徹底的な現場主義が上層部の反感を買い方達した。平直、柔軟な発想と鋭い洞察力、責任感、忍耐を備え、部下からの信頼は厚い。

登場作品	機動戦士ガンダム CROSS DIMENSION 0079
所属	地球連邦軍
機長	大尉 クワイ、軍曹 ソイ 伍長 ニマ
機体タイプ	近接戦闘型 クワイ、香きまめ型 ソイ、ニマ
主な搭乗機	RX-78XX ビクシー、RX-77 1 ガンキャノン
戦歴判定	行方不明 クワイ、戦死 ソイ、ニマ

**RX-78XX  
ビクシー**

重火力白兵特化型のガンダム系MS。地上なら一戦を制するの、最も高くビームガン。による格闘戦が持ち味。ビームスラスターにより高い運動性をもつとされる。アルバトロス輸送中隊は2号機の輸送を担当



## PLOT FILE NO 088

## モルモット隊

狂気のシステム「EXAM」を追った精鋭

地球連邦軍本部ジャブロー直属の実験部隊で、正式名称は「第11独立機械化兵器部隊」。運用の種初期段階にあるMSで各地の戦戦区を転戦し、データを収集するのが主任務であった。だがその最なか、テスト中に暴走したRX-79DD-1 ブルーディ

スティニー1号機と交戦し、以降同機の運用を担当。恐るべき性能を発揮する謎のシステム「EXAM」の争奪をかけて、ジオン公国軍のニムバス・シューターゼンらと熾烈な戦いを繰り広げた。

RGM-79  
254

フィリップとサマナは主に通常のシムと、  
RGM-79G ジム・コマンドに所属。



モーリン・キタムラ

モルモノの紅一点。精進平足ながらも懸命にオペレーターをこなす。部屋のアイトルの存在。

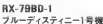


EXAMシステム

クルスト・モゼス博士が開発した、ニュータイプの新戦術能力を継承・再生する16制動機ハイス・メカ博士は研究の過程で、ニュータイプによるホトガイの過激な恐れ結核に「ニュータイプを制御する自動機」に発動・変容する「機軸付加体」さらには暴走を誘い惑惑体のニュータイプ、マリオン・ワッツルの精神を収束・込み込システムを完成させた。発動すれば凄まじい戦闘力を発揮するが、作業者の健康を無視して暴走すると多くの欠陥を生んできた。

RX-79BD-3  
ブルーディスティニー3号機

1号機と異なり、両袖から隠蔽型ガンダムをベースに開発されたEXAM搭載機。2号機と同じ仕様だが、予備機だったため青くペイントされておらず、アルファ・カムラ曰く「こっちが真正のカモメング」。

RX-79BD-1  
ブルーディスティニー1号機

モーズ博士が生命開発したEXAM搭載機  
機体はRX-79[G]陸戦型ジムをベースとし  
たが、のちにEXAMを組み込んだ機体以外  
RX-79[G]陸戦型ガンダムの改修機に変更  
を防止し、リミッターも設定された。



**RX-79BD-2**  
ブルーディスティニー2号機

ニムバスが強調した機体。1号機と同等以上の性能に加え、宇宙空間でも運用可能となっている。イフリート機と同じ機体カラーは、モーゼスガマノオンの好みが青を ユニタイプ狂狼の証に地付たもの。ただし高質の赤も、ニムバス自身のパーソナル・カラー

MS-08TX[EXAM]  
イフリート改

MS-DOSX イフリーストにEXAMシステムを組み込んだ実験機。コンピュータの命令スペースが重要となったため、部材が大型化している。機体性能も、層強化されていたが、モータースは満足せず、さらなる高性能機へのEXAM搭載だけを求めて連絡した。



## ニムバス・シュターゼン

寡黙と優しさを秘めた苛烈なる「ジオンの騎士」

「ジャンの士」を自認するMSパイロット。プライドが高く、敵を蔑み、推進を命じた上官より殺害した恐るべき人物だが、その強さと潔さには心酔する部下も多い。クルスト・モース博士が選抜へ亡命すると、機密保持と報復のため追跡。博士の疾苦とブーディースティン2号機の強奪に成功するが、その後ルウム領域でユウ・カジマの3号機と相打ちになって爆死した。博士によって不遇な人生を受けたマリオン・ウェルシュの身を案じており、奇蹟状態に陥った彼女の肉体をサイド6の病院へ移送させたのも彼である。しかし、EXAMの地に転入したマリオンの顔を見て死にたいと安らぎを得たのか、



登場作品	機動戦士ガンダム外伝 THE BLUE DESTINY
所属	ジオン公国軍
原案	大尉
エースタイプ	無機型
主な搭乗員	MS-62X[EXAM] イフリ ト改, RX-78D-2 バーナースティニー2号機
開発会社	劇団



作はサウザン・の同名アパ  
ツァンゲム。96〜97年「  
戦慄のブルー」。「音を受け継ぐ者」  
と題し、その、の、3部作  
としてリリースされた。一人称  
視点から主人公ユウにシリアブ  
ない（あまで主人公ユウがプレイ  
ヤである）のが特徴。本演記  
載のイロハでも、のちの小説版と  
ながら「サイドストories」に  
は強調した部分部分があった。た  
だし戦線の姿は、原作のマルチ  
エンディングから真義と誤解バ  
レンジを継承している。また「サ  
イドストories」では、ニム  
バ視点のシナリオも追加。諸  
般あったその内容が掘り下げら  
れた。さらに余談ながら、フィ  
リピンはPS2版「戦慄戦士サウ  
ザンゲムめぐりあふ南」にゲスト  
出演しており、あのジョニー・  
フィレンと似ている。



RGM-79  
シム

一年戦争で最も活躍した地球連邦軍主力MS。ホワイト・デインジ隊使用機は通常の発動仕様だが、熟練整備兵ボブ・ロック曹長の手でファインチューンが施されている。



エンブレム

臺灣に生息するタイリクオオカミの1種「ティンリ」がモチーフ。オーストラリア方面画の各部隊名は色+オーストラリアの原生動物名で構成されている。



**RX-77D**  
**量産型ガンキャノン**  
陸軍生産型ジムのパーツを流用し、少数のみ量産された中距離支援機。アテレードにおいて配備され、マイクが使用。

RGC-80  
ジム・キャノン

ンムとバノの6割を共有する。RX77 ガンキャノンの特製品生産機。装甲は厚いが機動力に劣る。主にマイクが使用。



**RGM-79SP**  
**ジム・スナイパーII**  
反乱作戦の最終局面で3機が配備されたジム系最高峰MS。2機が機動性重視の汎用カスタム機で、マイク機のみに長距離狙撃能力を残っていた。



マスター・ピース・レイヤー

ホワイト・ディン「隊を率いる元戦闘機乗り。パイロットとしての技量に加え鋭い洞察力と判断力。臨機応変な作戦立案能力を備えた天性のリーダーである。いかなる時もベストを尽くす」というボスリーダーを率領していく。



レオン・リーフエイ

協同戦を得意とする生真面目な元戦車兵  
寅はトリントン基地の防衛を監視するジャ  
ブロ 直属の諜報員と、ミカ のち、目  
つ仲間、正体を明かし機密情報すら 喝  
と総して、ク、仲間との絆を深め、一  
歩と、アスタロトの外分に陥んだ。



マクシミリアン・バーガー

通称「マイク」。元軍楽隊員という変り種で、プロバガンダ・ラジオのDJ、ノックリーンの大ファン。陽気で軽口を好むム、トメ、カーだが、戦争や任務に対する強い信念もあり、戦闘では遠距離射撃を得意とする。



アニタ・ジュリアン

ホバートラック オアシスのオペレータ  
兼ソナー手 倉坂幸助が部隊連携の要  
となるのはもちろん 単身ソナースタンス  
と協働する行動力も持つ。ただしレオン  
以上に堅物なため お調子者のマイクと  
は口喧嘩が絶えない。

登場作品	機動戦士ガンダム外伝 コロニ の落ちた地で
所属	地球連邦宇宙 ストラナダ財団
階級	中尉 レイバ 少尉 ノイバ カ、軍曹 ノエリアン
モースタイプ	指揮官型 レイバ、諜探型 ノエリ、ジュリアン 赤き足なれ型 パーガール RGX 79 ノム RGC 80 シュル・キャンパン、RX 77D 量産型ガンキャノン
主な機体機体	RGX 79V パルスライスターⅡ
戦後行方	生存

## 出典とリメイク

出典は99年のドリームキャスト用アクションゲーム。一人称視点で主人公が壇場なのと、のちのレザード像がITHE BLUE DESTINY<sup>1</sup>と同様だ。ただし、そのミラリックな雰囲気は異例中の異例で、ここにキャラクターデザイナーが戦場劇の巨匠・小林孝次氏だったのは特筆事である。本項掲載の『サイドストーリー』版にはない特撮の写実スタイルは、やはりDC版ならではだ。同様に、機体が細長い『サイドストーリー』版と違ってガンキャノン3機で出撃できたり、ガンダガン3機中得意な機体は機体設計が行える自由で機体も、そしてできごとと連携指示が得意な点とあっていづれに数社によるシビアさも、いまだ無味ではない。

## PILOT FILE NO.087

ヴィツシュ・ドナヒュー

## 大義なき戦争の仇花と散った軍人

「荒野の追追」のふたつ名で知られた秦州戦線のエース。敵軍を好んで務め、2倍の時間戦い、3倍の戦果と自らに誇誇る。と評されたように、ジョーンにあげがなは「武人」であるが「軍人」として戦える、貴重な人材である。連邦軍による反攻作戦でも、民間人への被害を理由にレイヤーへ休戦を申し入れるなど、柔軟な対応で味方の撤退を支援した。だが自らは、豪快な対空・対地力の撤退を支援した。だが自らは、豪快な対空・対地力の撤退を支援した。だが自らは、豪快な対空・対地力の撤退を支援した。



**MS-07B**  
**グフ**  
生産数が少ないMS-07B 3  
アカスタムに代わり  
常のグフの品用性を回復  
せた現地改修機。フィン  
パルカンを通常のマニ  
ュレタに換装、3連  
35mmバトリング砲を装



### MS-14G 陸戦型ゲルググ



**パーソナル・マーク**  
自身を模した珍しいマークで、観客へのアピールも本人。画才のある彼は「ア・ス・ス・ブ・リングス」の子供達に絵を描いてやることも多く「アングル・ド・ナヒュー」と呼ばれて親しまれたとい



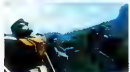






**RX-79 [G]**  
陸戦型ガンダム

RX-79 ガンダムの余剰パーツから少数が生産された陸戦用MS。デルタチームではノットが愛機とし、その運動性による高い機動性を発揮した。



## PILOT FILE NO.086

## デルタチーム

### 高潔な理想を貫いた戦場の志士

ジョン・コーウェン准将によって設立された実験部隊のひとつで、正式名称は「第3独立機械化団成部隊」。完成間もない連邦軍製MSでの実験データ収集が主任務とされ、それを方便に様々な戦場

へと投入された。その過程で、友軍すら食い物にするグール隊や、心を通じたレドチームなど、多くの敵と遭遇。無用の流血を嫌うマッド隊長のもと、自分たちの信じる戦い方を貫いた。



**マッド・ヒーリー**

元海兵隊でMSパイロット養成過程で主眼で卒業したメーサー。部隊の安全を第一に「友をすべし」という信念の強いリーダー。主戦の兵器は質量と経路能力を持つフリーダー。



**ラリー・ラドリー**

ジム・スナイプ II を愛する元戦術家。部隊の安全を第一に「友をすべし」という信念の強いリーダー。主戦の兵器は質量と経路能力を持つフリーダー。



**ノエル・アンダーソン**

生地の軍医家庭に生まれ、17歳で戦死すべきMS戦術家を修得した。ハム戦役で失くした。戦争と向き合うために、前線への配属を希望した。



**アニッシュ・ロフマン**

キャリフォルニアベ ス防衛隊を卒業した。元戦術家の陸戦型MSを愛する。MSの機体重量と状況判断能力も一級品。

登場作品	機動戦士ガンダム戦記 Lost War Chronicles
所属	地球連邦軍
階級	中尉 マッド、少佐(ラドリー)、曹長 アンジュー、佐長(ノエル)
機体タイプ	指揮官型 マッド、試行型 フォ、アニッシュ、指揮型(ノエル)
主な機体機体	RX-79[G] 陸戦型ガンダム、RGM-79SP シムス、スナイプ II、RGM-79[G] 陸戦型ジム
機体判定	生存

## PILOT FILE NO.086

## レドチーム

### 過酷な最前線を支えた義勇兵

ジョン公軍特別義勇兵部隊のMS特務遊撃隊。「外人部隊」である同隊は、作戦において「使い捨て」にされることも日常茶飯事であった。幸いには敵のみならず、極悪非道の味方部隊「グール

隊」とも刃を交える羽目に陥るが、司令官ダグラス・ローレン大佐を信じて奮戦。最終の報が聞かれるその瞬間まで戦い続け、直後にマッド・ヒーリーの提案を受け入れて投降した。



**ケン・ビーター・シャット**

コロニー建造用作業ボットの操作技術を買われ、外人部隊へ入隊させられたチームの隊長。この際人質に取られた妻と再会するため、ノン軍人と共に戦い続ける。



**ガースキー・シノビエフ**

一年戦争の開始当初から外人部隊に所属し、第2次地球降下作戦では先鋒を勤めたベナン兵士。妻子との再会を期しながらMS-06 サク1を愛機として参戦を遂げる。



**ジェイク・ガンス**

物事の本质を見抜くのが上手で、エリート軍人に憧れる余り外人部隊に志願。地球環境を壊すマルス・ンを脱がないなど、何かと癖のある人物だが腕は確か。



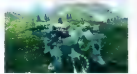
**ユウキ・ナカサト**

コードネーム「レッドゼロ」のオペレーター。サイド3への旅行中に戦争がはじまり、行き場を無くして放浪サイド2を漂流させたジョン軍に身を置くことになる。ローレン大佐と仲間の思いやりだけが、彼女に降されたすべてとなった。



**MS-146**  
陸戦型ゲルグ

配備時期の問題で極めて珍しい陸戦型ゲルグの機体。高火力の試作モーター・ノイフルと機力を強化したランドセル。現地製作のクルードを備える。戦術空間にケンが降参した。



登場作品	機動戦士ガンダム戦記 Lost War Chronicles
所属	ノン公軍特別義勇兵部隊
階級	少佐 ケン、曹長 ガースキー、曹長 ジェイク、佐長 ユウキ
機体タイプ	指揮官型 ケン、一戦用型 ガースキー、ジェイク、爆走型(ユウキ)
主な機体機体	MS-065 サク1、MS-06、ザク1、MS-07B グフ、MS-09F、MS-146 ゲルグ
機体判定	生存

### 出典とリメイク

出典は02年のプレイステーション2ソフト『機動戦士ガンダム戦記 Lost War Chronicles』。連邦がジョンのMSを敵機として、好きな機体と編成で作戦に臨むアクションゲームである。ただし一話完結のミッションクリア型であるため、全編を貫く強固なストーリーは存在していない。両軍の主人公もビジュアルどころか、実は名前すら未登場。これらはのちにコミックや

小説で補完され、『サイドストーリー』版にもフィードバックされている。また、両軍にオペレーターを含む3名ずつのヒロインが存在し、戦いのなかで機密になっていくのも原作の大々的な特徴。しかも彼女たちは「主人公キャラクター」ではなく、画面のこちら側に向かって話しかけてくるという、尖がった演出がなされていた。

PICT FILE NO.088

## サラブレッド隊

## 戦争を終結へ導いた神出鬼没の独立艦隊

正式名称「第16独立艦隊」。ホワイトベース級超小型強襲遠征艦サラブレッドと2隻のササミ級から成り、チェンバロ作戦に先立ってグフダからソロモンへの補給を断つことを主任務とした。

そのための補給が、月とソロモンの境界にある暗黒宙域に潜み、一定時間の通信を完全遮断する「ジャミングフィールド」を形成して敵を討つという独自戦法から「亡霊船団」の名で恐れられた。



フォルド・ロムフェロー

士官学校卒業後、優れた成績により、短期間されたガンダム5号機のパイロット。ガンダムと同等の力を誇り、このガンダムを自覚で戦争を起す。その結果であった。たが第一歩でいて戦艦ルースの死で、人間に成り果てる



ルース・カッセル

元戦艦ルースのガンダム4号機のパイロット。戦艦の地味な戦い方をもつて知られており、オカム時代からフォルドのふき込みを受けて、グラナダからパイロットワークを助けて艦隊攻撃の際、武器の暴走により爆死。



ミウ・タキガワ

ガンダム4号機、5号機の乗組員オペレーター。戦艦の司令官。持ち回り。その実動配備係としてソラノ、トラン、配備される。当初は味方を奮みだすフォルドの手を助けて、その後の死後は戦争終結、向いて共に力を尽くす。

RX-78-5  
ガンダム5号機

RX-78 ガンダムを宇宙空間戦闘に特化した改造計画で、コードネームは「G05」。コア・ブロックと陸軍用装備を使い、機動性と遠征能力を高めた。機体全長は4号機とはほぼ同じだが、メカ・ヒーム・コンターを装備する4号機の運用。両腕は腕のジョイント・カントリガンダムから取られている。

RX-78-5  
ガンダム4号機

コトネ・ム G04 5号機に搭載用メカ・ヒーム・コンターの運用能力を強化して、型式番号とは異なり、開発段階では開発となっていた。このガンダムは強化されたメカ・ヒーム・コンターの運用。これは、不安定な外部環境での運用の準備が必須となっていた。

登場作品	機動戦士ガンダム外伝「宇宙 闘いの果て」
所属	地球連邦軍
開発	中20 フォル・ルース 著者 ミウ
機体タイプ	無定型 ユー・ランダム・メカ 試作機
主な搭乗者	RX-78-4 ガンダム4号機 RX-78-5 ガンダム5号機
戦後判定	生存 フォル・ルース、戦死 ルース

PICT FILE NO.089

## グラナダ特戦隊

## 敗北を認めぬ月の戦神

月面グラナダ基地のテストパイロットで構成されたMS小隊。グラナダ艦隊司令である名将ノルド・ランゲルグの麾下にある。マレット・サンギース隊長の知略で「亡霊船団」をおび出し、数

度に渡って交戦。グラナダでの最終決戦ではランゲル少将の傳戦命令をも無視して戦い続けたが、隊長の戦死後に投降した。



マレット・サンギース

グラナダ特戦隊の隊長で、将軍を見下す態度を、エリヤ・カウの強い男。自らとメンバーの能力を高く見て、G05にアクター・ザクで戦い、勝利した。 権威を恐れたる戦死した



ユイマン・カーライル

上官や戦士の教育を得意とする。戦艦の乗組員として、ランゲル少将の部下として、その死後には、ノルダに投降した。



リリア・フローヘル

生来は気風も性格だったが戦艦でマレットに惚れて以来、その無類な強さに惹かれて、死すまで、ようとして、ユイマン、戦死した。

MS-11  
アクト・ザク

一年戦争末期、ノルダ軍によって製作されたMS。部の開発段階に、連戦機MSと異なり、メカ・ヒーム・コンターを用い、アクター・ザクで戦う。運動性を高めて、たとえ、戦死した。

登場作品	機動戦士ガンダム外伝「宇宙 闘いの果て」
所属	ガンダム軍
開発	大尉 マレット 中尉 ユイマン、リリア
機体タイプ	試作機
主な搭乗者	MS-11 アクト・ザク MS-09R-2 クロム
戦後判定	生存 ユイマン、リリア、戦死 マレット



## 出典とリメイク

直接の原作は03年のアニメーション2期ソフト「機動戦士ガンダム めぐりあい宇宙」に収録されたオリジナルストーリーで、スロアによって分岐する「1編」ではルースが死亡しない。グラナダ特戦隊は未登場だが、オリジナルキャラクターを育成する「ミッションモード」において、5号機で選べる3機の機体とそのデフォルト名が、「ユイマン・カーライル」、「リリア・フローヘル」そして「ギュスター・パイパー」の3つのコミック版と小説版で、彼らと独自キャラクターのマレットがグラナダ特戦隊として登場し、これが「サイドストーリー」に追加されている。ただし3機編成の小隊を操作する際、上、ギュスター・パイパーだけが登場しない。

「サイドストーリー」は登場機「ギュスター・パイパー」コミック版と小説版では、両内蔵だが思いやりのある人物として描かれた。

Illustrated by HIROSHI OUSAKA



トラヴィス・カークランド

スレイヴ・レイスの隊長で、コードネームは「リック」。一見とぼけた37歳だが、その実は部下達の切り替える。若くして、我々に多くの教訓と意思の伝達を求め、スパイ容疑に問われている。

RX-79[G] SW  
スレイヴ・レイス

トラヴィスが隊長を務める超戦艦ガンダムの改修機。センサーと通信機器を強化し、高出力ファンネルや腕部ウェーブ・アーマーなどの試作機も搭載。

RGM-79[G]  
陸戦型ジム

スレイヴ・レイスの初級整備機。のちの戦役ではドリスとエドワーズも使用。

## 陰謀の魔の手をすり抜けた亡霊ども

地球連邦軍の第20独立機械化混成部隊。表面は無敵部隊らしい実験部隊だが、その実態はレビル兵の軍高官「クレイヴ」の私兵部隊である。隊員は軍事法廷で極刑となり、命を引き換えに入隊したスペシャリストたちで、その任務も厳切者の調査や政敵の暗殺など、表沙汰に出来ないものばかり。だがクレイヴとレビル兵が磐石の体制を築くと、「知りすぎた」彼らに謀殺の魔の手が迫る。結果として連邦軍すら敵に回した彼らは、生き残るため、そしてクレイヴに復讐するために、独自の行動を開始するのだった。



フレッド・リーパー

コードネーム「リッパー」。20歳にして上流階級の血統を誇り、死と隣り合わせの過激な義勇兵。だがその奥に、よく似た戦いもまたある。虚無感を抱えている。

RX-78XX  
ビグサー

地上下の情報網に特化したガンダム。フレッドは「リッパー」から回収した2号機とすると、ペルフェクト。配備予定だった1号機がある。



エドワーズ・リー

コードネーム「バイマ」。あつちあるものの持主と整備を担当とする。隊員指揮の責任を押し付けられて「バイマ」となる。常識人だが、この一着の度胸は本物。23歳。

マーヴィン・ヘリオット

狙撃と爆破の達人。コードネームは「ボマー」。撤退中の隊員ごとと敵を爆破し、心を病んでいるところをクレイヴにつけこまれ、隊の監視対象にされている35歳。



ドリス・ブランド

ダイハラのコードネームを持つ24歳の美女。連戦の「ハナ」にあっては、訓練活動のエキスパート。既に配備される悪性MSも、彼女が文書を偽造して入手したものである。



エンブレム

連戦色の意味は「謀殺する亡霊」。つまり「何者にも使役される、過去を抹消される者達」を意味する。

ガンキャンノン重装型  
(タイプD)

カンキャンノンの機動性を強化し、より汎用性を高めた改修機。マーヴィンが隊長。

## 出典と終章

「サイドストーリー」の新作パート連戦軍編。ストーリーは同ジオン軍編と密接にリンクしている。さらに、クレイヴが放った謎のMS、バイルライダーの秘密を追う過程では、「THE BLUE DESTINY」のモルモット隊との共闘も描かれた。また、全シナリオのクリア後には「終章」と名づけられた後日談もプレイ可能。本編の16年後を舞台にフレッド・リーパーの戦いが描かれるのだが、彼の乗機は「機動戦士ガンダムUC」ep4にも登場したイフリート・シュナイドである！アニメの枠を超え、初めて語られるそのドラマは必見。



23歳になったフレッド。驚くべきことに、ジオン残党軍に所属している。



モルモット隊との共闘。こつた場面は双方のシナリオでプレイする側の視点から描かれ、第1回と合わせて初めてわかることも多い。

MS-08TX/S  
イフリート・シュナイド

マルコシアス隊のダグ・シュナイドが開発した機体の、「C」0000時点での型。グアットの格闘・近接戦闘に特化した機体で、近接化改修が施されている。







ユーグ・クエロ

32歳のファントムススイープ隊長。一年戦争当時、キャリフォルニアへメキシコを目的とした11回作戦。一隊を率えた。だが、部下がすべて戦死したため、部下を救済と称してその野望から、「これ以上命を失わせない」と、戦いを止めた。と語っている。



エンブレム

亡霊の烙印、という部隊名に相応しく、戦艦と人魂がモチーフ。

PROJECT MOBILE

## ファントムススイープ隊

## 偽りの平和の影で死闘を演じた掃除屋

年戦争終結後のUC0080に、ゴドウィン・ダレル准将の手で創設された特務部隊。戦後の急激な軍縮で対応が後手に回った、ジオン残党軍の掃討を主任務とする。どの方面軍にも所属しない遊撃隊として世界各地を転戦し、ほどなく味方から亡霊狩り部隊、敵からは「ハイエナ部隊」の名

で知られるようになった。その過程で、オデッサ基地を強襲したインビジブル・ナイツと交戦。以降彼らによる「水天の涙」作戦を阻止するため何度も激戦を繰り、最後は月面マストライバー基地からの質量弾を止める大役を担った。



シェリー・アリスン

ネオ・ガス基地のテストパイロットだが、その正体はジオン残党軍のスパイ。タチアナ・デーアだが機嫌よく、固執しないユーグに敬愛の念を抱きつつの仲間で活動。真実のジオンの秘宝からユーグを救うべく死んでいく。



ヒュー・カーター

無類な冒険者。一隊、先遣された民間人。当初はユーグの過去に不信感を抱いていたが、身を置いた「家」に救われて以来、彼等を守ろうとする。その想いはユーグの意思を知らず、故郷・ニューヤークの地でユーグを救うべく戦死。



マオ・リャン

ファントムススイープ隊の指揮官オベレーター。27歳。優秀なキャピタシオンで部下には厳しいが、幾多の戦いを終えてユーグを認めるようになる。月面での最終戦では「生きた」ニューヤークを前にして涙を流していた。



ロブ・ハートレイ

掃除兵として加入した40歳の元中尉。とは言え、長年昇進していないのは戦時中ではなく、出世欲がない現場主義者だからである。ユーグに対しては心もたけなく認める。事故現場で死ぬ。



カマル・カメル

23歳の補充要員。インテンパ島でファントムススイープ隊に助けられ、部隊解散後に加入した。自分たちを助けたユーグの去勢に深い感謝を受けており、その指揮に服するよう懇願し、任務に臨む。



ハイン・カルモ

補充要員として合流した25歳の中尉。多額の借金を抱えており、危険手当のある興味深い任務がある、というイオンズの買収で入隊した。のちにユーグに感謝し、指揮官代理の重役を見守る。

登場作品

機動戦士ガンダム戦記

向風

地球連邦軍

所属

少佐 マオ、大尉 ユーグ、中尉シェリー・ヒュー、ロブ・ハートレイ、少尉 カマル

ユニタリイ

機動要員 マオ、機動要員 ユーグ、機動要員 ヒュー、機動要員 カマル、機動要員 シェリー、機動要員 ロブ

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

機動要員

RX-78-7  
ガンダム7号機

RX-78 ガンダムの第7号機。オプション装備による柔軟な運用を日独2タイプでF5WS計画による大規模化と増設機甲の開発が、当初から計画されている。これによりフルアーマーガンダム7号機、及び高機動フルアーマーガンダム7号機と呼ばれる形態に、機体可能とされたが、一年戦争中は機体フレームのみの開発に留まり、戦後にフルアーマー用パーツなども完成を見



## さらなる高みを目指す「外伝」シリーズ

出典となる『機動戦士ガンダム戦記』は、09年に発売されたプレイステーション3用アクションゲーム。過去の「外伝」シリーズを継承する完全オリジナルストーリー。そして同じ「戦記」名の冠する『Lost War Chronicles』を基に上回る3Dグラフィックによって、ガンダムゲームの新時代を拓いた一作である。物語は『Lost War Chronicles』同様、連邦とジオンのどちらでもプレイ可能だが、双方が仇敵同士となる展開は初の実験。互いに多くの犠牲者を出すハードな展開も、他に類を見ない。こった豪華なドットとそれに対するエースたちの心情を、ふんだん投入される美麗な2Dアニメーションが豊かに描き出しているのも見どころだ。

## 大義と意地で月へ上った騎士たち

一年戦争で不死に終わった「水天の涙」作戦の再決行を目指す、ジオン残党軍の精鋭部隊。月のマストライバーを使った地球への質量弾攻撃で連邦政府を恫喝し、スペースノイドの独立を認めさせるのが、その目的である。だが魯しの意味でオーガスタ基地を陥った最初の質量弾は、月面の友軍

が破壊して発射に失敗。彼らの手元には同基地を狙った軌道プログラムしか残されず、たとえ次弾を発射しても連邦との交渉は不可能となった。それでも意地を返すために月面へ上がった彼らは、困難の敵ファントムスイーパー隊と最後の戦いを展開。激戦を制し、遂に悲願を達成した。



## エリック・プランケ

ジオン名残の子息をがら一年戦争で失った悲願。のちに隊の警備士となるクリスト・テアアや、その姉とも慕うタチアナらと暮る隊員となった。戦後は「水天の涙」作戦にすべてを賭け、これを完遂。月面で無敵の敵に囲まれるが、質量弾を見逃して不敵に笑った。



## アイロス・パーデ

エルクの幼馴染で制空的存在。度胸が多いのとは裏打ちが、常に冷静で臨み切る。隊の要であるエルクを守るためなら、命を賭せる覚悟も無い。



## フリッツ・パウアー

おぼろげなエルクの幼馴染。見聞博識だが今は戦っている。インテンパ軍島の基地防衛戦で、かつての友であるタチアナに撃たれ戦死



## フィリー・ネイステル

新戦後に残党軍へ合流した 12歳イェンター。経験不足でアイロスにジョロされくばらだったが、経験を積んで 人前に立派。



## ヒルデ・ニーチェ

負けず嫌いで、素直に攻撃せぬタイプイロア。イフリート・オハト軍道作戦に先立ちオースティン基地へ潜入し、作戦成功後に合流した。



## グスタ・エーベル

インテンパ軍島防衛戦。闘し、陣亡。合流した19歳の精鋭兵。エルクの軍学校時代の後輩で、量産型に似合ふふかり者



## ロルフ・アーレンス

補充兵として隊に招かれたエルクの先輩。謙遜な性格だったがエルクの影響で逞しさを身につけ、任務のためなら自己犠牲も厭わない。



## エングラム

部隊名は「透明な騎士」の意。いかにも神出鬼没のゲリラ部隊らしい。

## 進化するMSGグラフィック | 「解釈」というステージに進んだCGの現在

PS3のハードパワーを得て、それまでとは別次元のグラフィックで描かれた『機動戦士ガンダム 戦記』のMS。だがゲームにおけるMS像は、ここで進化を止めたわけではない。むしろディテールが充実描画できるようになった。その機軸となる「解釈」が問われるまでになっているのだ。

『機動戦士ガンダム サイドストーリーズ』は特にその傾向が強く、もはや「どれだけ細密なCGが作れるか」というレベルではないことが解るだろう。推こむとしているMSの細部が「どんな形なら数値力を持ち得るのか?」まで踏み込んだ、ガンブラなどと同じ次元で、現在のMSGは作られているのである。



ザクキャノンの変異。太腿、足首は、MSVの設定画ではザクと別物。とは言え、キャノンの使用に必要な形状でもなさそうなので「ザクと同じもの」に交換していても不思議はない」という解釈の、生産性や稼働性の面からも、拡張力がある。



『サイドストーリーズ』及び、CDモデルの多くを共有するPS3版『機動戦士ガンダム バトルオペレーション』のジム・スナイパーカスタム。ご覧のとおりジムからの改修ではなく、近衛のトイにも見られるジム改へ、スである。MSVが持つならいにも見られる機軸も機軸ジムの設定も存在する今日において既知視するならば、エース同様の立場にこそ「こいつはバリエーションもあったのでは?」という発想だ。

ジムの胴体(左)には、「鋼骨」材質に「骨格」の折れ角がある。ここはジム(右)などではダクトが隠れていて、その部分で、ダクトがある。バリエーションの両側にも折れ角が存在した。それがジムにもあることから「バリエーションはバリエーションでいい」という解釈が読み取れるのだ。固めにガンダムの胴体も同形式。

プラットフォーム/価格  
PlayStation®3 7600円+税  
PlayStation®Vita 6640円+税  
ジャンル 劇場共同アクション  
プレイ人数 1~4人  
発売元 バンダイナムコゲームス





Pilot File 004

## カミーユ・ビダン

## 「アムロの再来」と称されたニュータイプ

グリプス戦役で活躍したエウ・ゴの若きエースパイロット。ハイスクールの学生だったが、エウ・ゴのガンダムMk-IIを強奪作戦に加担したことで同組織へ参加することに。民間人ながら初めて搭乗したガンダムMk-IIを操縦したことやエウ・ゴの正規パイロットとなった後、瞬く間にMS操縦技術を高め次々と戦果を上げていく様は一年戦争の英雄アムロ・レイを彷彿とさせた。

エウ・ゴ参加当初よりアーカマのクルーからも「アムロの再来」と称されたカミーユだが、一部の者は彼から「ニュータイプ」の素質を感じており、その意も込めていた。事実、彼は激戦の中で強力なニュータイプへと覚醒を遂げていった。最終決戦では過去の戦いで失った人々の魂を己の中に宿して戦うという超常的な様子を発揮するまでに至っており、その力を以てシロッコを倒している。



Mk-IIの機体を操縦し、同年の戦いをひとしきり押し付けようとするカミーユの機を見たゾア・バグは彼を「アムロの再来」と確信する。



Mk-IIの開発者である父の「ガンダム」のイメージを形にしようとしたカミーユは、彼が持つ力と、おぼろげに記憶する父のイメージを



互いに強く惹かれあふ。ふたりは敵対者であるが、1と2のノックアウトの関係はアムロとラッパの形を想起させるものだった。



ム・バグは「ニュータイプ」を証明したカミーユの戦域を広く、従来の戦域を持つMSより格闘戦のアドバンテージを誇る。

RX-178  
ガンダムMk-II

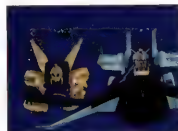
名機RX-78-2ガンダムの名と設計を継承する機体。タイラントを凌駕するMSであるため、連射性能のみで開発された。重く汎用性を持ち、様々な戦況で優れた戦闘力を発揮する。製造された3機全てがエウ・ゴに渡り、グリプス戦役では開戦〜終戦まで運用された。



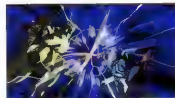
登場作品	機動戦士Zガンダム
所属	エウ・ゴ
階級	中尉候補
ニュータイプ	香き込まれ型 輸出型 ニュータイプ
主な搭乗機体	ガンダムMk-II Zガンダム
戦歴判定	生存

MSZ-006  
Zガンダム

エウ・ゴの「ジオン」TMS 可変MSとして開発された機体。単機での大気圏外入脱力を有するウェーブ・ライダー形態への変形が可能。MS形態でも従来の機体より優れた戦闘能力を誇る高機動機体である。



「ウェーブライダー」スパイロットであるシャアと作戦行動を共にすることは、カミーユが成長していく上での糧となった。



Zガンダムすらもパワーで勝る性能を誇るジ・Oに対し、カミーユは打倒シロッコの念から一対一の決戦を挑んだ。



片刃の直剣カミーユ・ゴ・Zガンダムの「ハイパー」が起動。シロッコが語るジ・Oの機体制御を奪い、撃退した。

## 卑劣なティターンズを離れエウゴに参加

元々はティターンズに所属していた士官だが、Mk-II奪還のためカミーユの母親を人質に取るとして卑劣な手段を用いた上官バスクに不信感を抱き、組織を離れエウゴへの参加を決意する。

ティターンズ所属時はガンダムMk-IIのテストパイロットを任されており、即戦力を目指した訓

練を受けていた。彼女のMS操縦の腕前は確かなものであり、エウゴ正式所属後はアーガマやラディッシュの正規パイロットとして活躍した。カミーユやファ、カツに対して熱的な後援を受け持つほか、時にはMS隊の指揮を行ったりエウゴにとって彼女の存在は大きなものであった。



出陣はバック・ディアスに誘われていたが、後に敵に裏切られる。Gディフェンサーを駆るカノは必死に戦う。



ローレン・シュレはMS隊の隊長だが、マシンを捨ててお、即戦力のパイロットに指示を受ける姿が見られた。



連戦軍のエリート集団。高、くも強いに戦えること無く、己のいしに上座であらうとするエマはティターンズ離脱を決意。



大戦末期まで前線に戦い、エマの實力は相応しいものとわ。MSを離れた際にヤザンの攻撃で致命傷を負ってしまう。



RX-178  
ガンダムMk-II

大戦中奪より次に前線投入されるティターンズの最新鋭MS群との性能差を埋めるべく採用されたガンダムMk-IIのパワーアップ形態。Me IIがGディフェンサーと合体することで武装や機動性が強化された。

登場作品	機動戦士Zガンダム
所属	エウゴ
機体タイプ	中戦
機体タイプ	機体タイプ
主な搭乗機体	ガンダムMk-II スバカ
機体判定	戦死

## ファ・ユイリィ

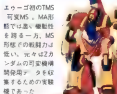
## アーガマでカミーユとの再会後訓練を経てMSパイロットに

カミーユの幼馴染みでハイスカールの同級生。Mk-IIを奪還したカミーユの知り合いという理由でティターンズに捕らわれるところをブライトに助けられ、救出されたアーガマでカミーユと再会。その後、訓練を受けアーガマの補欠パイロットとなった。元々はごく普通の少女であるためMS操縦技術も未熟だったが、戦いの中で成長を遂げ、大戦末期には力強いエウゴの戦力に数えられるまでの存在となった。



MSA-005  
メタス

コンコアディタに登場した後は、ファがメタスの乗員パイロットとなる。生い前線に戦う機体の主要機体を担当。



エウゴ前線のTMS可変MS。MA形態では高い機動性を誇る一方、MS形態での機動性が低い。元々はZガンダムの可変機開発段階でデータを収集するための実験機であった。

登場作品	機動戦士Zガンダム
所属	エウゴ
主な搭乗機体	Gディフェンサー
機体判定	戦死

## カツ・コバヤシ

## かつての幼きWBクルーが成長、Gディフェンサーを駆り戦場へ

一年戦争では8歳という幼きながら終戦までホワイトベースに搭乗していた経験を持つ。戦時状態だったアムロと共にカラバへ参加。その後、エウゴの一員となる。戦争博物館所蔵の旧式MSの操縦経験を持つパイロット志願者であり、宇宙へ上った後しばらくしてその願望は果たされることに。ネモでの出撃経験を経て、Gディフェンサーの専属パイロットとなった。



ゾアと戦った事からアムロから守りとして進めるカノ。だが、連日の訓練でカノを守り切ることはできなかった。

登場作品	機動戦士Zガンダム
所属	エウゴ
主な搭乗機体	Gディフェンサー
機体判定	戦死

FXA-050  
Gディフェンサー

ガンダムMk-II用のパワーアップノリとして開発された機体。単体でも戦闘機として運用可能である。ロングライフなど多数の武器を搭載。Mk-IIとの合体時にはコクピット部がコア・ファイターとして分離する。





登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ティターンズ
階級	中尉
ユニフォーム	無機型
主な搭乗機体	ハイザック、マラサイなど
戦歴判定	戦死

## PILOT FILE NO.08

## ジェリド・メサ

## 打倒カミーユに固執する若きティターンズ

ティターンズの若き士官であり、MSパイロット。ティターンズに所属していることから己がエリートであることを意識しており、野心家でプライドが高い。カミーユの母親やノウの命を奪ってしまおう。彼にファイブやカクノコンなどを殺させてしまう。そのためカミーユとは因縁からめぐる

係となり、彼を倒すことに躍起になっていた。

MSパイロットとしての腕前は中の上といった印象で、クワトロを始めとするアーガマのエースパイロットには遠く及ばない。ハイザック、マラサイ、ガブスレイ、バイアラン、バウンド・ドックなど多くの種類のMSに搭乗、戦闘に参加した。



エマと同様、カクラー・Mk.IIのテストパイロットを担当している。



マラサイを駆り、エレクトロニクス社が提供するMSは最新機種が与えられている。



宿敵であるカミーユとは何度も対戦した。時には追い詰める一歩もあった。



カミーユとの戦闘中、その隙、入って彼を倒した。ノウを殺した。



RMS-106  
ハイザック

ジオン公軍の主力MSであるザクをベースとして一年戦争後に地球連邦軍や新設計を行い開発したMS。ザクの素性の良さを受け継いだMSで、ジェリドにとってはガンダムMk.IIよりも操作性が良かったようだ。

## PILOT FILE NO.09

## マウアー・ファラオ

## 戦いの中で互いに惹かれ合ったジェリドの大切なパートナー

冷静沈着な性格をしているティターンズの女性パイロット。ジャブロー脱出時よりジェリドのパートナーとなり、実戦では彼のフォロワー役として活躍した。ジェリドとコンビを組んだ出撃ではカミーユが駆るZガンダムを幾度も窮地に陥れた。ガブスレイの運用試験を兼ねたシロコとの模擬戦では彼が駆るメッサラの後ろを取るなど、高いMS操縦技術を有していたとみられる。

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ティターンズ
階級	中尉
主な搭乗機体	ガブスレイ
戦歴判定	戦死



ジェリド、そして彼女を倒すために、その想いから敵身的に彼を倒した。



RX-110  
ガブスレイ

シロコフの設計案を元に連邦軍が開発したMS。可変MS、MS、MA四形態で高い戦闘力を誇る。高火力を有するジェッターインラインを備えている。

## PILOT FILE NO.10

## カクリコン・カクラー

## 同期のジェリドの相棒として戦ったティターンズパイロット

ジェリドと同期のMSパイロット。ジェリドとは仲が良く、MS戦出撃時にもよくコンビを組んでいた。月面でエマが駆るリック・ディアスを撃墜手前まで追い込んでおり、ティターンズの若手の中ではMS操縦技術は高かったとみられる。エウゴのジャブロー降下作戦を追撃する際、カミーユによって倒されている。



エウゴのジャブロー降下作戦のため、ジェリドとともにマラサイで出撃した。



RMS-108  
マラサイ

アトハイム・エレクトロニクス社が開発した高性能機。ガブスレイ搭載に劣らず、先手を打たれた機体がティターンズに納入された。その後、正式に量産された。

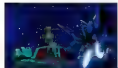
登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ティターンズ
階級	中尉
主な搭乗機体	マラサイ
戦歴判定	戦死

Pilot File No.11

## ヤザン・ゲブル

好戦的かつ野獣のような荒々しさを持つ男

ティターンズに所属しているながらその理念には興味を持たず、戦闘そのものを好むパイロット。荒々しい野獣のような性格をしており、それが戦闘スタイルにも反映されている。その一方で、戦況を正確に判断する冷静さも持ち合わせており、MS部隊の隊長として部下への確かな指揮を行っている。



最終決戦でエマを倒すべくティターンズに協力を申し掛けたラウ・バウに、彼は戦場で戦いを挑んだ。



レコアが戦死したことを知ったヤザンは悲しむ。レコアに似た顔をしたヤザンは彼女を慕い、母国へ帰る。



アレキサンデリア配属時は同僚のMSで戦いを挑み、戦況に有利に展開された。ヤザンは戦況を見守っている。



アレキサンデリアを倒した後、ヤザンはレコアに似た顔をしたヤザンに、レコアの死を告げる。ヤザンはレコアと互いに戦いを挑む。

Pilot File No.12

## ダンケル&amp;ラムサス・ハサ

ヤザンと旧知の間柄のハンブラビ隊メンバー



ヤザンがハンブラビ隊のメンバーとしてダブスより召集したティターンズのMSパイロット。2人もヤザンとは旧知の間柄で、彼に対する信頼は極めて厚い。また、彼等もエースパイロットであるヤザンが真々に指名するほどの優れたMS操縦技術を持つパイロットである。ヤザンと2人のコンビネーションは抜群で、ハンブラビによる三位一体の立体攻撃はエウゴのパイロットたちを苦しめた。なお、2人も最終決戦でエマのMk-IIにより撃墜されている。

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ティターンズ
敵対	中尉 ラムサス・ダンケル
主な搭乗機体	ハンブラビ
戦後判定	戦死



3機で使用する。戦況の悪化をハンブラビに運用において小隊を組むことは重要。



海へは単独で運用しても強力な武器が3機で動く動きも可能。

MSパイロットとしてはオールドタイプの中では最上級クラスの操縦技術を有しており、シャアやエマ、カミーユを圧倒する戦いぶりを見せている。最終決戦ではエマに致命傷を負わせたことでカミーユに撃墜されるも脱出。グリプス戦役を生き延びるという運の良さも備えていた。

RX-139  
ハンブラビ

エイ型のフォルムが特徴的なティターンズのTMS。司令MS。電撃と熱パイロットや電子機器にダメージを与える専用兵器。海へは、ヤザンの機を破壊する。また、グリプス戦役でも優れた機動性を誇る。



ヤザン戦役

GUNDAM WARS: THE MOVIES

機動戦士ガンダム

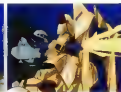
Pilot File No.13

## ソラマ&amp;カラ

サイド2のコロニーでエウゴのMSを9機撃墜



サイド2の13バッチコロニー「モルガルドン」宙域に潜伏していたティターンズのMSパイロット。不意打ちの攻撃ながらエウゴのMSを9機撃墜していた。モルガルドン宙域を偵察していたシャアから攻撃を受け、カラは撃墜される。ソラマもまた百式によって動きを封じられた後、ガザCによって撃破された。戦況はともかく、戦闘中にコロニーを破壊・爆発させてしまう配慮と腕の無さからパイロットとしての技量は推して知るべしといったところだろう。



登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ティターンズ
敵対	少尉 ソラマ、カラ共に
主な搭乗機体	ハイザック・カスタム
戦後判定	戦死



ハイザックを基盤型に改造した機体。ノーマル時よりジェネラル出力が向上しており、最近戦闘機のヒール・ランチャーを装備している。

RMS-106CS  
ハイザック・カスタム



PILOT FILE NO.114

## パパテマス・シロッコ

### 優れたNT能力とカリスマを備えた「木星帰りの男」

地球連邦軍の木星資源探検船ジュピトリスのキャプテン。一年戦争時のジオン公国軍のニュータイプ、シャリア・ブル同様、長い年月に渡る木星圏での生活によってニュータイプの資質が芽生え、開花した人物である。強化人間とは異なり、純粋なニュータイプであるため感情が凝縮するなどのリスクは持たない。強いカリスマ性を備えた指揮

官かつ優れたMS開発者であり、MSパイロットとしても極めて優れているという完全無欠な天才型の人間である。彼同様、強力なニュータイプであるハマーンとは互角の戦いを繰り広げた上、キュベレイのファンネルを完全に封じ込めるという難れ業もみせた。最終決戦では己の命と引き換えにカミーコの精神を崩壊へと追い込んだ。



最終決戦でシロッコはホワイトロッドも「ニュータイプの成り損ない」と言い捨てている



ジ・Oはその専用設計からシロッコ以外のパイロットは操縦不可能と書かれている。



**PMX-003  
ジ・O**

シロッコが己の専用機として開発したMS。彼のニュータイプ能力を極限的に発揮させるサイコミュを搭載したことにより、自機が運動性能や機動性は極めて高い。



**PMX-000  
メッサー**

シロッコが開発したTMS 可変MS。エーブラとの初戦でシロッコが搭乗した。木星圏での運用を前提に開発されたため、大出力の大型スラスターを搭載している。

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	地球連邦軍・マイターンズ
階級	大尉 (劇場版では大佐)
ニュータイプ	理論型、指揮官型、 「ニュータイプ」
主な搭乗機体	メッサー、ジ・O
戦後判定	戦死

PILOT FILE NO.115

## レコア・ランド

### 己を女性として受け止めてくれる先を求めシロッコの下へ

エウゴの護衛員やMSパイロットとして活動していたが、女性としての自分を深く受け止めてくれる存在を求めていた彼女はシロッコに惹かれたことでマイターンズへと身を投じる。MSパイロットとしての経歴が浅くその資質も特別高くはないが、シロッコから直々に与えられたパラス・アテネの性能から実力以上の戦力となった。主にシロッコの支援任務を担当する。



自分とは逆にマイターンズからエーブラへと転向したエウゴが駆るガンダムMS-IIによってレコアは撃墜されてしまった。



**PMX-001  
パラス・アテネ**

シロッコが開発した遠距離支援型MSで、オプションとして対艦攻撃用の大型ミサイルを搭載することが可能。標準で七兵兵器も多数内蔵している。

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	エーブラ・マイターンズ
階級	少尉
主な搭乗機体	パラス・アテネ
戦後判定	戦死

PILOT FILE NO.116

## サラ・ザビアロフ

### 心から慕うシロッコのために戦うニュータイプの少女

強力なニュータイプ能力を持つマイターンズのパイロット。強化人間では無く、純粋なニュータイプの資質を持っており、パイロットとしての能力もかなり高い。シロッコの命令でジェリドの部下となった後、シロッコ直属となったハイザック、マラサイ、メッサーを乗り継いだ後、シロッコよりポリノーク・サマーンを託されレコアと共に彼の支援を担当した。



シロッコに心酔しており、彼のためなら命を落とすことも厭わない。事実、彼はシロッコを不意の攻撃から守り助けている。



**PRX-002  
ポリノーク・サマーン**

シロッコが偵察・奇襲用に開発したMS。遠征に搭載したレドームが特徴的である。右腕のシールドに内蔵したシザー・スクローを用い、結核戦でも威力を発揮する。

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	マイターンズ
階級	曹長
主な搭乗機体	ポリノーク・サマーン
戦後判定	戦死

## エース級の操縦技術を持つガルバルティ隊を率いる女傑

地球連邦軍の巡洋艦ボスニア所属のMSパイロット。女性ながら同艦所属のガルバルティ隊隊長を務める。一年戦争にも参加していたと言われており、パイロットの腕はベテランの域に達している。特に宇宙での戦闘経験が豊富で、これまでも様々な環境に対応して戦場を生き抜いてきた。シャアとの初戦時で彼が駆るリック・ティース

の射撃を交わっており、彼女のパイロットとしての技量の高さをみせつけた。その実力はシャアをして彼女を含むガルバルティ隊を「実戦駆使した部隊」と認めるほどであった。オールドタイプのエースパイロットを代表する一人であるが、戦闘経験が少ないカミーユに撃墜されてしまい、ニュータイプの可能性を身を持って知るのだった。



ライラは、自分より実力が劣るジュドーが戦闘隊員に命じられたことが許せなかった。



Ms.1に落ちたジュドーの面影を捨て散えを叫ぶジュドーに、ライラは戦場を脱走する。



ハイザックと対戦して機動性が悪いカルバルディとライラの相性は最悪であった。



己の実力に対する自信のなさ、と面を対峙しても常に攻撃せぬ姿勢が目につく



RMS-117  
ガルバルティβ

一年戦争終結後、ジオン公国軍から捕獲したMS「カルバルティ」をベースに開発した機体。ベース機よりも装甲を軽量化して機動性を向上させたほか、全方向固定ミサイルやニアシートを採用している。



登場作品	機動戦士Ζガンダム
所属	地球連邦軍
階級	大尉
エースタイプ	理論型 指揮官型
主な搭乗機体	カルバルティβ
機体判定	戦死

## PILOT FILE NO.8 | ブラン・ブルターク

## アッシマーによる空中戦でカラバを苦しめた連邦軍士官

地球連邦軍に所属する士官。大型輸送機カルダ級ステッドの指揮官としてカンバがシャプロードで奪取した同型機であるアウドムラを追撃する傍ら、MSパイロットとしても戦闘に身を投じる。

MSパイロットとしての腕は一流であり、大気圏内を自在に飛行可能な新型試作TMS 可変MSアッシマーの特性を上手く引き出した戦いでシャ

アやカミーユを倒した。また、アーガマへ帰還するため発射準備中のシャトルを守っていたロベルトのリック・ディアスを撃墜。クワトロの右胸というべきパイロットを倒したことで、エウゴに多大なダメージを与えた。その後、カミーユ機を撃墜寸前まで追い込んだ失礼。アムロが駆るリック・ティースに止めを刺され戦死。



MA形態のバリエーションへの変更は機体周辺のパワーを分割 制御および駆動となり 駆動も簡略することで行われる この変形が戦時に実用する”と利用して ブランはMA形態で敵へ接近 離脱を行い MSで格闘戦を行う戦法を多用していた。



自分の指揮下に入ったロゼミアの駆動力は規格外のもの。記憶を操作され機体が不安定な強化人間の活動には馴れずいた。



SFSに準ずる自由落下状態でクワトロといえどアッシマーの利点は圧倒的に不利であり、同時に格点した打撃を受けてしまう。



NRX-044  
アッシマー

地球連邦軍オークフロント研究所にて開発されたTMS 可変MS。SFSサブ・フォートンシステム 無しで大気圏内を飛行可能なMA形態への変形が可能とする。



登場作品	機動戦士Ζガンダム
所属	アイトーンズ
階級	中佐
エースタイプ	理論型
主な搭乗機体	アッシマー
機体判定	戦死



## 失われた己の名前と記憶を取り戻すために戦う悲しき少女



地球連邦軍のムラサメ研究所で人型ユニットである強化人間に改造された少女。失った昔の記憶と本当の名前を戻してもらう条件の下、ティターンズのために戦う。アッシュマーと、およびギャプランを失ったスードリへの憎恨としてサイコ・ガンダムと共に配属された。単機でホシコン・シティを火の海と化すほどの戦闘能力を有するサイコ・ガンダムを自在に操ることが可能。だが、敵であるカミーユと共感し互いに惹かれ合ったことから彼を宇宙へ帰す手助けをしてしまい、結果として友軍を裏切ることになった。その後、再調整され敵として再びカミーユの前に現われるも正気を取り戻し、ジェリットの攻撃から彼を庇って死亡する。



MRX-009  
サイコ・ガンダム

地球連邦軍の強化人間専用機 TMA 可変 MA。サイコによって機体制御を行う移動装置であるモビルフォートレス形態から MS 形態へ変換可能。遠距離から敵機を撃ち落とすはじめ大出力火器を多数搭載している。



サイコガンダムは自らを制御することで近距離戦でも高い戦力を発揮。カミーユが撃つ MS も彼女との戦いでは苦戦した。



フォウが戦艦を感知するとサイコ・ガンダムのサイコミュで作動。遠距離により彼女の機体は壊れ、戦艦への参加を拒否。

登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ティターンズ
階級	少尉

ユースタイプ	ニュータイプ
主な搭乗機体	サイコガンダム
戦歴判定	戦死

PILOT FILE NO.120

## ロザミア・バダム

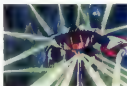
## 情緒不安定だが優れた能力を持つ強化人間

地球連邦軍オーガスタ研究所の強化人間。強化人間として非常に高い能力を持つが、調整の代償として彼女の精神は極めて不安定な状態となっており様々な記憶を崩れ込むことで安定させていた。また肉体も強化されており、ギャプランの高速機動時に掛かる強烈なGにも耐え無く対応していた。

スードリに配属されたロザミアは、ギャプランの性能を十分に引き出しシヤアやカミーユを倒した。その後、宇宙へ上がった彼女は「カミーユの妹」という偽りの記憶とティターンズの兵士としての自覚が往來する精神状態の中で戦場に身を置くことになった。



地球でよく見られるような「ニュータイプ」で調整されると戦死を繰り返す。



精神の不安定な状態が「MAX」となり、ロザミアはカミーユの機体を暴走させてしまった。



登場作品	機動戦士ガンダム
所属	地球連邦軍 - ティターンズ
階級	中尉

ユースタイプ	ニュータイプ
主な搭乗機体	ギャプラン バウン・ドッグ サイコ・ガンダム Mk-II
戦歴判定	戦死

ORX-005  
ギャプラン

地球連邦軍が開発した TMS 可変 MS。MA 形態に変わることにより大気圏内での機体飛行が可能となる。また宇宙や地上でも運用可能。実質的な強化人間専用機だったが、後に敵のバトロフでも操縦できるよう改造された。



NRX-005  
バウンド・ドッグ

地球連邦軍の強化人間専用 TMS、MS 形態の上昇機がスカー・内に収まり、両腕がアームとすることで MA 形態へと変化する。赤色の1号機にロザミアが、2号機にゲイツと機体両方ともロザミアが運用した。

PILOT FILE NO.121

## ゲイツ・キャパ

## 運命を共にしたロザミアのお目付け役

バスク傘下の強化人間部隊の一員。宇宙へ上ったロザミアの監視、指揮、精神制御を担当している。サイコ・ガンダム Mk-II にロザミアが搭乗した際は、一層の精神安定を図るためゲイツを彼女の兄と誤認させていた。ロザミアとゲイツの精神はサイコミュで同調させていたため、彼女がカミーユに撃たれた余波を受け、彼は錯乱状態に陥ってしまった。



登場作品	機動戦士ガンダム
所属	ティターンズ
階級	大尉

ユースタイプ	ニュータイプ
主な搭乗機体	サイコガンダム
戦歴判定	生死不明

MRX-009  
サイコ・ガンダム Mk-II

サイコ・ガンダムの後継機として開発された巨大 TMA。強化人間専用機。モビルフォートレス形態への変換が可能となっており、大出力を誇るレフレクター・ビットや有線式サイコミュ・ハンドを装備するガブリウス機後継機として使用された。





PG.01 4.16 2012

## ハマーン・カーン

## アクシズの指導者を務める強力なニュータイプパイロット

ジオン公国残党「アクシズ」の総帥ミネバの摂政を務めており、アクシズの実質的な指導者である女性。若い身ながら圧倒的なカリスマ性を持っており、配下の者たちからの信頼も厚い。

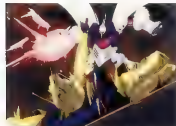
優秀な指導者であることに加え、非常に高いニュータイプ能力を有しており、MSパイロットとしても優れた技量を持っている。ニュータイプパイロットとしての実力はシャアやシロココ、カミ

ーユに匹敵し、ほぼ互角の戦いぶりを見せた。

グブス戦終結後はアクシズをネオ・ジオンと改め、地球圏を掌握すべく活動を開始。自分と同じニュータイプであるシュトーに惹かれ合うものを感じたハマーンは、幾度も彼を己のものにするため説得を試みる。だが結局分かれ合えないことを悟ったハマーンは、最終決戦で彼と決着を付けるべく出撃するも敗北、その後自決してしまふ。



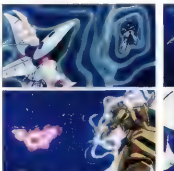
フルボディ戦装



四肢を失い機動不能状態。陥った自決の瞬間、ハマーンは必死の奮闘を繰り返すも、シロココの機動によって取り返さずじまつた。



ニュータイプ能力を発動し、シロココの機動を破壊されたハマーンは強力な精神感應波を直接相手に向け放ちダメージを与えた。その時、悪逆道は彼女の姿となって現れた。



戦況中、ハマーンはカミーユの機動通りで、同じようにシロココを倒したことがあった。また、シロココは戦場で戦った経験から、ハマーンは戦況中、カミーユの機動通りで、同じようにシロココを倒したことがあった。



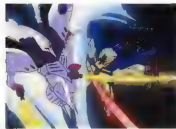
大戦末期、ハマーンはニュータイプ能力をフルに発揮し、カミーユを倒した。カミーユは戦況中、ハマーンは戦況中、カミーユを倒した。カミーユは戦況中、ハマーンは戦況中、カミーユを倒した。

AMX-004  
キューレイ

アクシズが開発したハマーン専用MS。サイコミュを搭載しており、遠隔攻撃能力。サイコミュを用いて、アクシズの攻撃をやり、敵のハイパー・ビーム・アームで破壊されており、高度機動を可能とする。



最終決戦でシュトーと初めて出会ったアクシズの総帥ハマーンは、シロココの機動によって倒された。



シュトーはハマーンが攻撃時に巧みにメカニクスを使用する気になったと油断として絡めた相手だった。

AMX-003  
ガザC

アクシズが開発した主力TMS。火力と機動性に優れたMA形態への変形が可能とする。アクシズ先遣艦隊のガザC部隊がアム・バグ救出のため出撃した際は、ハマーンも参加して、大活躍の機体色はピンクだが艦隊ではハマーンは白いカラーリングのガザCに搭乗していた。

機動戦士ガンダム





# 第一次 ネオ・ジオン戦争

NEO-ZEON WAR U.C.0088-0089

昭和008年2月29日～0089年1月17日までの期間、エッゴとカッパを中  
心とした、お笑い番組、『エッゴとカッパのオモい劇場』が、毎週一  
回、放送された。

[illegible]

トナに対して「エウゴ・カラバの魂の故郷に報復」を期し、その  
 サイドで「エウゴ・カラバの魂の故郷に報復」を期し、その  
 中核とした「ガンダム・チーム」として解散。各地を転戦しながら地  
 球の平和を築くこととなった。

[illegible]

電話(03)571-0121

[illegible]

『機動戦艦ガンダム』の歴史的意義として制作された『機動戦艦ガンダム 外伝』の第1巻『機動戦艦ガンダム 外伝 機動戦艦ガンダム 外伝 機動戦艦ガンダム 外伝』は、ガンダムシリーズの歴史を振り返る作品として制作された。本作は、ガンダムシリーズの歴史を振り返る作品として制作された。本作は、ガンダムシリーズの歴史を振り返る作品として制作された。本作は、ガンダムシリーズの歴史を振り返る作品として制作された。

シリウスはストーリーになんて行かないが……

[illegible]

# ACE IN THE GUNDAM

## F. L. O. F. L. E. M. 23

ジュドー・アーシタ

**Z**ガンダムを盗みに入ったことがきっかけでエースパイロットに

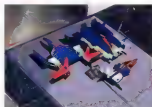
サイド1のメスペースローリー「ジャングリア」に  
 暮らそう年だったか、妹を山の手で学校に入学  
 する資金を得たため、ア・ガマでウガンダを盗  
 みに入ったことがきっかけでエウゴのバイロ  
 ットになる。当初は任務に消極的だったが、妹をグ  
 レミーに推し進められてからは積極的になりバイロ  
 ットとして戦う。人間性的にも成長して行く  
 ことになる。また、NTとしての素質は極めて高く

死亡したと思われた妹の存在を感じたり、戦闘中に敵と心を通わせたりした。

第1次ネオ・ジオン抗争では序盤でZガンダムに、以降はZZガンダムに主に搭乗。遅れるパイロットと高い身体能力により初陣からスコアを重ねた。正規のパイロット教育を受けていないだけにその行動は時に突拍子もなく、先の読めない動きで敵をしばしば混乱させた。



製造国	機軸製作カンパニー
所属	エフ・J
階級	なし
ユーザータイプ	巻き込まれ型 - 騎乗型 - 2 タイプ
主な 搭乗機体	Zガンダム Zガンダム
経路決定	式 スラック
	生体

MSZ-010  
ZZガンダム

アナハイム エレクトロニクス社による、231画の群像に開発された機体で、3機の航空機が合体・変型するTMSとして誕生した「開発コンセプト」は高機動・大推力を極限まで追求することにある。それを象徴する設備が頭部のハイメガキャノンで、M5としては極限とも言える破壊力を見せつけた。

MSZ-006  
Zガンダム

戦争序盤では精神疾患によって戦線離脱を余儀なくされたカミーユの代わりにZガンダムに搭乗したゲドロー。実戦経験が乏しかったもののロウタとなったにも関わらず、エンドラ艦との戦闘ではマッシュマーを返け、ガザC/Dを撃破するなどの活躍を見せた。



もともとシェドーは2カラムを盗む目的でアーガマに潜入し、成り行きからネオ・ジオン軍と戦うことに



MSN-00100  
頁式

オウギユス+キダンのトライセンと対決した際にゾドが使用。カンダムチームのメンバーには一応の専用機が与えられていたが、戦況に応じて他の機体を使用することも度々あった。

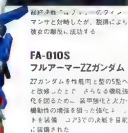
MSM-07  
ズゴック

タイカ・パウ  
ム。コローにキ  
エル・アーカマ  
が寄港した際に、  
ノードーがスタン  
バ・ハロイのコレ  
クシーンを拝借し  
て使用。もともと  
ジャンク屋だけに  
日式MSの扱いも  
手慣れたもの。



**FA-010S**  
フルアーマーZZガンダム

27ガンダムを性能向上と型の5型へと改修したことで、さらなる機体強化を図るための「装甲強化と火力・機動性の増強を狙った強化ユニットを装備」コア3での決戦を目前に臨まれた。



## 第一次ネオジオン抗争を 勝利に導いたガンダムチーム

ガンダムタイプのMSに搭乗した少年・少女たち

PILOT FILE NO.124

### ビーチャ・オーレグ

仲間内ではリーダー格  
艦長代理も兼任

ジャンク屋時代からのリーダー格で  
エゥーゴに参加後は百式を使用。パイ  
ロットとして活躍する一方で、抗争中  
艦以降はネェル・アーガマの艦長代理  
を務めるなど勝利に貢献した。



ネェルとは度々衝突。だが、戦時中は息の合ったコンビプレイを見せることもしばしば。

登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	エゥーゴ
機体	なし
機体タイプ	格闘型
主な搭乗機体	百式
機体判定	生存



### MSN-00100 百式

フリゲート戦艦のクワッドロッドが  
破壊されたことにより、ア・バガマに  
再配備された機体。ビーチャが  
メインパイロットを務め、抗争  
終結まで運用されていた。

PILOT FILE NO.125

### エル・ビアンノ

ガンダムMK-IIを愛機とする  
ジュードのケンカ友達

ガンダムMK-IIを愛機とした少女。  
ジュードとはケンカ友達の間柄で、ル  
ーに対してライバル意識を持っていた  
が、関係を前進させられないうちに次  
第にビーチャに惹かれて行く。



登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	エゥーゴ
機体	なし
機体タイプ	格闘型
主な搭乗機体	ガンダムMK-II
機体判定	生存



### RX-178 ガンダムMK-II

グランス戦後に回収されたモビル  
を修復し、ア・バガマに再配備さ  
れた機体。抗争終結まで運用さ  
れたが、最終決戦でヴァン・マン  
ンによって破壊された。

PILOT FILE NO.126

### モンド・アガケ

メカニックとして活躍する一方  
パイロットとしても活躍

イロー・アップバートとともにメカニ  
ックとしてガンダムチームを支える。  
パイロットとしての印象は薄い。メ  
カワイダーでチームを支援するなど  
マルチな活躍を見た。



### FXA-08R メガライダー

メ・メンバールとメカ・モンチャー  
の利点を併せ持ったロボットメカで、  
大気圏内外で運用が可能。通常は2機、  
非常時には4機のMSを運用する。



### RX-178 ガンダムMK-II

タイカーハウムでキ  
ンズの若い人であった  
カサリを救ったため  
に使用。スタンパのズ  
ボットを撃破した。

登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	エゥーゴ
機体	なし
機体タイプ	格闘型
主な搭乗機体	メガライダー
機体判定	生存

PILOT FILE NO.127

### ルー・ルカ

ガンダムチーム唯一の正規兵  
ジュードを巡ってエルと対立

エゥーゴの志願兵でメンバー唯一の  
正規パイロット教育を受けた女性士官。  
Zガンダムを乗りこなすだけの技量  
を持ち、ガンダムチームの中ではジ  
ュードに次ぐスコアを誇る。



登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	エゥーゴ
機体	なし
機体タイプ	格闘型
主な搭乗機体	Zガンダム
機体判定	生存



### MSZ-006 Zガンダム

ジュードが主にZZに搭乗する  
ことになったことから、の  
両機となった。最終決戦でフ  
ァン・マンソンの攻撃を受けて中  
断する。



登場作品 機動戦士ガンダムZZ  
所属 ネオジオン  
階級 不明 騎士  
モータータイプ 無機型  
主な搭乗機体 ガルム、メスラ、ハンマハンマ、マサウジ  
戦後判定 戦死

P.017 4.6.10.20

## マシュマー・セロ

## 抗争終盤では強化人間となったネオ・ジオンの騎士

ネオ・ジオンの若き指揮官。若干18歳で新鋭派洋艦「エンドラ」の艦長に任されたことから優秀さが分かる。騎士道精神を重んじており、ハマンを心から崇拝し、下屬されたバラを何よりも大切にしている。

MSパイロットとしての技量も高く、アーガマを追ってガルムJやズサ、ハンマ・ハンマで攻撃

するが、ジュードの型にはまらない戦法に今一步のところで撃退される。失敗続きのために一時更迭されるが、抗争終盤で強化人間として再登場する。グレミー軍のウィン・マンサにザク自改で一太刀をあげせるなど鬼神のごとき戦いぶりを見せたほか、最終局面ではドーベン・ウルP5機を相手に互角に渡り合うなど奮戦した。



マシュマーはハマーン、藍神と忠告の入り交じった感情を味わった



スベ、スベと誤った合戦を繰り返したマシュマーは戦いを通じて成長する



AMX-101  
ガルムJ

ゾノの流れを汲んだ陸戦重視型のMS。マシュマーは整備が不十分な状態でZガンダムと戦ったが、2度目の戦闘では民間人の被害を最小限に抑えた作戦で勝利となり、戦艦は全壊も誘致する



AMX-102  
ズサ

カラスIとの共同運用を前提とした火力支援用MS。ミサイルポッドの増設や背板に大型ブースターを装備することで大気圏内飛行を可能とする。シュートとインの共同作戦の前に敗れる



AMX-011S  
ザク自改

強化人間となったマシュマーに与えられた指揮官専用機でザク自改の強化型。グレミー軍の艦隊の中心は、強力なウィン・マンサを逃がせ、スペースウルP5機と激しい戦いを繰り返した

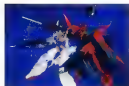
P.017 4.6.10.20

## キャラ・スーン

## MSに乗ると異常に興奮。強化後は「猫目のキャラ」に

マシュマー失脚後にエンドラ艦長に就任した女性士官。MSに乗ると興奮してトランス状態になる性格を持つため搭乗を嫌がる。しかも、MSに乗れば艦橋に抱きついていたり、銃やサーベルを振り回したりと奇行が目立つ。一時、アーガマ隊の捕虜となり、人手不足の艦内で雑用係をさせられていたこともあった。脱走後はアクシズに戻り、マ

シュマーと同様に強化人間に改造された。これ以降「猫目のキャラ」の異名で呼ばれるようになり、愛機となったゲーマルクで抗争終盤を戦う。強化後に奇行は影を潜めたものの、調子がやや不安定なため、ジュードに食うと強化前の記憶が戻り、お目付役のギーレン兄弟をしばしば困窮させた。最期はグレミー軍のNT部隊と相打ちとなる。



興奮したキャラはシュート機、格闘機、ドリ、無差別に攻撃したりと暴走する



強化後は露出の多い衣装を着て、群を惑わすなどの行動が目立つ奇行癖はあった



MSへの搭乗を嫌がったキャラは、エンドラをラビアンローに帰還させようとするなどの叛乱を繰り返した



強化人間となったキャラに与えられたNT専用機MS。高い火力でグレミー軍のヘン・ウルムを圧倒し、ウィン・マンサにも肉を食った。最後は複数の量産型キャラレイを相手に奮戦した

AMX-104  
R・ジャジャ

ギャンの流れを汲む白兵専用MS。量産型から外れた試作機で、士官用へカスタムされた機体。前部のキャットの強靱な性格により、ほとんど故障することはないと評価されている

AMX-015  
ゲーマルク

強化人間となったキャラに与えられたNT専用機MS。高い火力でグレミー軍のヘン・ウルムを圧倒し、ウィン・マンサにも肉を食った。最後は複数の量産型キャラレイを相手に奮戦した



登場作品 機動戦士ガンダムZZ  
所属 ネオジオン  
階級 本柄  
モータータイプ 無機型  
主な搭乗機体 R-ランチャー、ゲーマルク  
戦後判定 戦死







登場作品 機動戦士ガンダムZZ  
所属 コー・ンオン  
階級 中尉  
モビルスーツ 指揮官型 ニュータイプ  
主な搭乗機体 リゲルグ  
機体設定 不明

Pilot File 001

## イリア・パズム

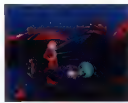
### リゲルグを愛機とする強化人間となったマシュマーの監視役

第一次ネオ・ジオン戦争後軍のマシュマーの副官だが、その正体はハマーンが強化手術によって精神が不安定になったマシュマーの監視役だった。パイロットとしての資質は高く、旧式MSのマイナーチューン機であるリゲルグ1機でネール・アーガマを襲撃し、ZZガンダムと互角以上に渡り合った。また、NTとしての資質もあるようで、

戦場中にジドーと共鳴現象を起こしている。

ジオン共和国軍からエンドラIIに合流したサトウを戦場中に隠蔽し、サトウの部下たちの隠れサビュンを取り込むなど、冷酷で手段を選ばない性格を持ち、謀略にも長けている。

グレイミーの無謀でマシュマーが戦死したあとは表舞台から消え、行方不明となった。



近衛隊に所属するイリアはハマーンの下にも多く、機密命令を受けることも多い。



旧式のゲルグを近代化改造したリゲルグは、イリアの卓越した操縦技術で本来の性能以上の活躍を見た。



またリゲルグも一時は民間にイリアのリゲルグがあつたことがあり、ジドーの命令により破壊を命じられた。

#### MS-14J リゲルグ

公団軍機がアクシズに持ち込んだゲルグを機密機として近代化改造した機体。新装備に匹敵する性能を持った一部は実戦に投入されたが、機体的にはZZガンダムより数段レベルが落ちる。



PILOT FILE 00133

## ランス・ギーレン&ニー・ギーレン

### ネオ・ジオン親衛隊「ロイヤルガード」に所属する双子のエース

ネオ・ジオン親衛隊「ロイヤルガード」に所属する双子の兄弟。ハマーンの密命を受け、強化人間手術により精神が不安定になったキャラの監視役兼護衛として行動する。

親衛隊専用にカババルディアから改造されたガスR（ニー・ギーレン機）とガスL（ランス・ギーレン機）を愛機とし、双子らしく息の合ったコンビネーション戦を得意とした。その任務は要人や高級上官の護衛で、第1次ネオ・ジオン抗争終盤では、キャラのケーマルクを最後まで守り抜いた。エリート部隊のエースパイロットだけに操縦技術は卓越したものを持っている。

ン機を愛機とし、双子らしく息の合ったコンビネーション戦を得意とした。その任務は要人や高級上官の護衛で、第1次ネオ・ジオン抗争終盤では、キャラのケーマルクを最後まで守り抜いた。エリート部隊のエースパイロットだけに操縦技術は卓越したものを持っている。



グレン、重の戦況を起こると、ガスRとエース・キャラの間に近接行動に移った。

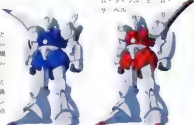
登場作品 機動戦士ガンダムZZ  
所属 ネオ・ジオン「ロイヤルガード」  
階級 中尉  
モビルスーツ チム、クロー  
主な搭乗機体 ガスR/Gas L  
機体設定 既記

#### AMX-117L ガスエル

ランス・ギーレンが愛機とするガスエル。ガスLとの相違点は左側に大きく張り出したシールド・アーモアと赤を基調としたカラーリングで性能的に劣る。改造はヒト・ランス・セル・ライフル・セル・サヘル。

#### AMX-117R ガスアル

ニー・ギーレンが愛機とするガスアル。ガスLとを改良・強化した機体で、連邦軍のカババルディアより、高機動性を重視し、大きく張り出したシールド・アーモアと青を基調としたカラーリングでガスLとの相違点は



ニーは量産型キルボットの機体で、ガスRはキャラを主とて命を落とした。





PLOT F, E MD.34

# ガザの嵐

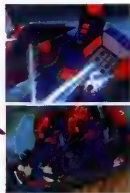
パンパリダ / ビアン / ワイム

ガザ・ストーム・フォーメーションによりZガンダムを苦しめる

エンドラ隊に所属する3機のガザDから成るエームパイロットチーム。メンバーはリーダーのバンバ、ワイルム、ピアンの3人。上官であるマシュマーの影響からか、出撃時には煙草でバラの花を描く派手なパフォーマンスを披露したり、アサシタと戦つたことにこだわったり、市民に向けて正々堂々演説をしたりした。アーガマ隊との戦跡で戦死

した仲間の仇を討つために出撃。彼らが「ガザストーム・フォーメーション」と呼ぶアクロバティックなマニューバ空間機動による攻撃を得意とし、ゾラの乗るZガンダムを追いつめた。

しかし、Zガンダムのパイロットがジェドローに交代すると、ルーの援護も合って形勢は逆転。返り討ちにされた。



Pilot File No. 35

## ジャムルのスリーD ダニー デル デュン

高機動を活かした連携攻撃でガンダムチームを翻弄

ネオ・ジオン軍の最新鋭可変MAジャムル・フィンによる三位一体の連携攻撃を得意とするエスバイロットチーム。メンバーはリーダーのダニー・デル、デューンの3人で、ジオ共和国軍の隠れザビ派からネオ・ジオン軍に合流したものと見られる。彼らは実戦経験が豊富なプロ集団であり、MAの運用にも長けていてこのことから、おそらくは一年戦争でもMAに搭乗していたチームを組

んていたのだろう。

抗争終盤のネオ・ジオン軍とジオン共和国軍との共同作戦で、ジャムルのスリーDはネル・アーガマ達と交戦。シュドのZZガンダムとビーチャの百式を善戦させた。三位一体の戦法は黒い二連星やヤザンのハンパルと際とも共通するが、彼らが使用するジャムル・フィンには、MAの特性を生かした超高速・高機動での襲撃に特徴がある。



## ラカン・ダカラン

非情に徹することも厭わない古武士を思わせるベテラン士官



登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	ネオ・ジオン
階級	大尉
モースタイプ	指揮官型 騎手型
主な搭乗機体	トリアス・ザウルス・ウルフ
戦術特長	戦死

AMX-014  
ドーベン・ウルフ

ティターンズ崩壊時に持ち込まれたガンダムMSを改良されたMS。NT能力の低い戦兵で構成されたコンビュータによる総動員システムを搭載。インフラ、およびガンダム攻撃能力を持つ。重戦力の機体として活躍した。



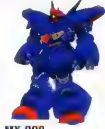
パイロットとしての経験ゆえに、実力と精神力を兼ね備えている。



古武士ラカンは、戦死したパイロットと、ヘン・ウルフで構成されたスベース・ウルフ隊を指揮した。



ラカンはガンダムへのコロニー落とし作戦、ザクIIで出撃。超難民を逮捕する戦争策を記した。

MX-009  
ドライセン

宇宙空間でのガンダムチームと戦った。ガンダム使用した機体、トムスの開発で地上戦を得意とする。炎力重視のMSとして完成した。トムの炎力を重視したトムに、対して、セム・ランサー、ヤマト・フレイトなど格闘戦を重視した機体を持つ。

AMX-011  
ザクII

ザクIIの正統な後継機としてアタラシで開発された汎用MS。ドーベン・ウルフと大規模な戦いを争った。超難民を逮捕する戦争策を記した。超難民を逮捕する戦争策を記した。

## サトウ

イリアに謀殺されたジオン共和国の旧公国派軍人

ジオン共和国軍の旧公国派軍将校。ネオ・ジオンがサイド3を統治した際に部隊とともに露返りエンドIIに合流した。指揮官として活躍した。サイド3はアタラシム・エレクトロニクス社との裏取引で譲渡されたMSで、ネオ・ジオン参加時に与えられたと思われる。経歴は不明だが、熟練した操縦技術でネール・ア・カマを撃沈し、前まで追いつめたことから考えて、歴戦のパイロットであることが伺える。指揮官としても優秀で、部下の人心を掌握も完璧だった。しかし、自尊心が仇となり、メッシュマーの謀略によって戦中に暗殺される。



サトウは、サトウとともにネオ・ジオン軍に参加した。部隊指揮官として戦死した。

## RMS-098B

## シュトルム・ティアス

リ、ク、ティアスから発生した巨大なパイロイド。特殊な機体。超難民を逮捕する戦争策を記した。超難民を逮捕する戦争策を記した。



登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	ジオン共和国 ネオ・ジオン
階級	不明
モースタイプ	指揮官型
主な搭乗機体	シュトルム・ティアス
戦術特長	戦死

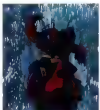
## PILOT FILE NO.138

## デザート・ロンメル

8年間アフリカに潜伏し続けた砂漠戦のエキスパート

旧ジオン公国の残党で「砂漠のロンメル」の異名を持つ指揮官。一年戦争中は砂漠戦を得意とする名將として勇名を馳せた。エースパイロットとしてはもちろん、MS指揮官としても卓越した能力を発揮した。一年戦争後はザビ家復興を信じてアフリカに潜伏。ケムラ戦を継続していた。第一次ネオ・ジオン戦争ではガンダムチームと交戦。旧式機でのドッジ改で善戦したが、可憐MSの上空からの攻撃に部隊は壊滅状態になり、最後に残ったロンメル機もZZのビーム・サーベルで撃破された。

登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	ネオン公国
階級	不明
エースタイプ	指揮官型
主な搭乗機体	トフン改
戦後帰定	戦死



ビート・ネオンを用いた格闘戦では目上な機体でも勝てた。

MS-09H  
ドワッジ改

トム・リースの強化型であるトフン改指揮官用。カスタマイズした機体。ロンメル機の機体はインテグレートではなく、戦術上、遠距離から攻撃したバスターや試製機隊員が搭乗され、アノートまで飛べるのが特徴。



## PILOT FILE NO.139

## ニキ

ロンメル隊所属の兵士

ロンメル隊に所属する士官で、現地民の事と子供がいる。本人も頭にターバンを巻いた北アフリカ系の青年で、現地雇用された軍人かもしれない。ロンメル隊の一員として厳しく鍛えられ、優れた操縦技術を持つ。ガンダム・チームとの砂漠の戦いではディザート・ザクを撃って斥候役を引き受ける。Zを逆襲地点に誘い込むことに成功するが、味方のバスターによる一斉砲撃に巻き込まれて戦死する。その間にロンメル機に味方であると呼びかけられたが、通信機が故障したため、その声がロンメルに届くことはなかった。



ロンメル隊は、最後戦中の戦いでシナヤル戦死者を増やした。

登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	ロンメル隊
階級	不明
エースタイプ	戦士型
主な搭乗機体	ジ・ワットザク
戦後帰定	戦死



副官のカラハン以下、ロンメル隊の隊員。ガンダム・チームとの戦いで全滅した。

MS-080  
ディザート・ザク

一年戦争中のザク・アサルトタイプ。バスター、遠距離移動も可能。ロンメル隊では副官のカラハン以下、増援の機体が稼働していた。



## PILOT FILE NO.140

## アマサ・ポーラ／アリアス・モマ

ネオ・ジオン&amp;ジオン残党軍の推定エース

第一次ネオ・ジオン抗争には一年戦争に従軍経験を持つベテランパイロットが多数参加していた。とくにネオ・ジオン軍と公国軍残党では、こうした歴戦の勇者の活躍が目立っており、その戦いぶりから見て撃破数が過半数を超えるエースと推定されるパイロットも多い。その代表格がアフリカで活動していた残党軍のアマサ・ポーラと、ネオ・ジオン軍のアリアス・モマである。フィルムを確認する限り、両者は目立ったスコアを残していないが、これは強力なガンダム・チームと対戦したためで、その卓越した操縦技術から考えて、カメラの回っていない場所での活躍の活躍を推定してはと推測される。



公国軍残党のアマサ・ポーラと推定されるドワッジ。



機体部隊の機体で、アリアス・モマが搭乗する機体タイプ。





## PILOT FILE NO.143 | エルピー・プル

## ジュードに惹かれアクシズを離れるニュータイプ少女

ネオ・ジオン軍のNTパイロット。出生については謎が多く、養成段階で強化処理を施されたようで、10歳という年齢も相まって精神面での不安定さを見ることがある。天真爛漫な明るい性格だが、ジュードに対する独占欲が強くわがままなところもあり、周囲と軋轢を生むこともあった。

当初、ティンバーパールの専用色で造られたキュベレイMk-IIを愛機としていた。しかし、地球降下作戦でグレイミーによる洗脳が解けてからはネオ・ジオン軍を離脱し、ガンダム・チームの一員となった。同部隊のMSを駆り、度々仲間の危機を救ってきたが、ダブルンでの戦闘でプルツと対峙した際にジュードを守って戦死している。



**RX-178  
ガンダムMk-II**

ガンダムチームの一員になるとキュベレイに乗る機会がなくなると、その時々の機体やメカを駆り、最終的にダブルンでの戦い、プルツと戦死している。



**AMX-004-2  
キュベレイMk-II**

ハマーンの1号機のマイナーチェンジ機。基本的な機体構造は変化はないが、プルツの登場を前にシミュレーションが施されている。

登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	ネオ・ジオン
機体	不明
パイロット	機動戦士 ニュータイプ
主な搭乗機体	キュベレイMk-II ガンダム Mk-II、ZZガンダム
機体製造	戦死



強化調整、ニュータイプ能力の増強が図られている。ネオ・ジオン軍の洗脳が解けた後、プルツの文へ手を添えて。



## PILOT FILE NO.144 | プルツ

## グレイミー率いるニュータイプ部隊の中心人物

ミッドラーに搭載されたゴールドスリーブ装置で6ヶ月間眠っていたエルピー・プルの同僚機となるネオ・ジオンのクロウンNT。NTとしての能力も高く、サイコ・ガンダムMk-II、キュベレイMk-II、クイン・マンサと強力な機体を乗り継ぎ、ガンダム・チームと戦った。戦争終結まではグレイミーの切り札として、クロウン師妹達とともに叛乱軍に参加。ハマーンの軍勢やジュードと力を交えた。

だが、最終的にプルの思念体に誘われてジュードに心を開き、グレイミーの元を去った。その際に愛機クイン・マンサの爆発に巻き込まれ、戦争終結直前にその怪我がもとで死亡している。



**MX-010  
サイコガンダムMk-II**

グリアス戦争で中絶。地球降下直前に放棄されていた機体をネオ・ジオン軍が回収。修理した機体。ダブルンでの戦闘でプルツのキュベレイMk-IIを撃破した直後に、プルツのZZに破壊された。



**NZ-000  
クイン・マンサ**

ネオ・ジオンのNT専用機。全身に多数のメカ粒子砲やレーザーを備える。同時に、メカ粒子兵器を搭載。敵のメカを無力化する。



**AMX-004-3  
キュベレイMk-II**

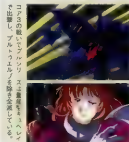
機体で塗装され、プルツのキュベレイMk-IIのハバロウ機。機体は、長く可動性、性能、2号機には、はるかに、改良により、過剰な改良が施されている。



登場作品	機動戦士ガンダムZZ
所属	アクシズ ニュートタイプガンダムチーム
機体	不明
パイロット	ニュータイプ ニュータイプ
主な搭乗機体	キュベレイMk-II ガンダム Mk-II、ZZガンダム
機体製造	戦死



コロニーを襲撃する際のダブルンで、プルツの機体はサイコガンダムMk-IIに破壊された。



## グレイミー軍のニュータイプ部隊

エルピー・プル、プルツらのプルシリーズは、ネオ・ジオン軍のクロウン技術によるNTパイロット育成計画によって生み出された少女兵隊である。出生については謎が多いが、NTの素養を持つ人間の種子や卵子を使い、遺伝子操作をしてNT能力を高めるデザインズベイビーと考えられている。さらに養成段階で強化処理が行われ、常人よりも身体能力が強化されている。しかし、プルシリーズは指示を与えるマスターの存在がないと精神の安定が保てないという問題もある。そのほとんどがコア3の戦いで戦死している。

## Eスパイロットの機体 ①

優秀なパイロットだからこそ  
与えられた優先性

戦場で高い戦果を挙げた結果、その活躍を評価されたEスパイロットへ与えられる榮譽のひとつ、Eススパイロット用の機体が存在する。かつての戦場でも、Eスパイロットは自分のパーソナルカラーに自分の機体色を塗り替えることや、パーソナルカラーリングを施すことが許されていた。時代が宇宙世紀に変わり、使用する兵器がMSになる。でも、Eススパイロットの栄誉と、その専用機が与えられていた。ここでは、そんなEススパイロット用の機体に関して、2つのパイロットに分けて紹介していく。

まずひとつめとなるのは、歴に位置について。宇宙世紀のEスパイロットは、その活躍が評価されると、特別機を受領することが多かった。段階的に分けると、専用カラーが施された機体が使用できる「専用カスタム」を施すことが許される「一新型機」を優先的に使用することがある……というのが基本パターンだ。その他、Eスス部隊には、その総隊用で改造された高性能な機体が配備されることもあり、その機が評価されれば、さらなる開発を促される、といった機体も与えられたのだ。



専用カスタム機

一般量産機と基本的な仕組は一様ながら、出力を向上させたり、特殊な武装を装備するなどのカスタム化された機体をEススパイロットは使用していた。そうした専用カスタム機の代名詞といえば、シャア専用の5号ザクだろう。

優先配備機

次期主力機という現用機よりも高性能な機体は、Eススパイロットのもとに優先的に配備されることが多かった。これは、まだ未知数の機体性能を引き出し、データ収集を行なったという面も大きいだろう。画の中では、ランバ・タルのグズ、カイア、メルテカ、マンシュのドム、シャアのゲルググなどが優先配備機にあたる。



オリジナルカラー機

Eススパイロットが、自分の専用機を自身のパーソナルカラーに塗装することは多い。基本性能は量産機と変わらないが、専用色に塗れるというのは評価の結果でシカないが、パイロットのモチベーションの向上につながっていると思われる。

Eススパイロット用カスタム機

一般的な仕組のMSを使っていないが、Eススパイロットとして評価が上がった人物の中には、略としてさらなる戦果を期待し、カスタム機を新たに配備することがある。ジム・スナイパーカスタムやジム・カスタムなどはEススパイロットに優先的に配備された機体なのだ。



## ネオ・ジオンのMS部隊を率いる歴戦のパイロット

シャアが率いる新生ネオ・ジオン軍のMS部隊の隊長。第二次ネオ・ジオン戦争以前の活躍は不明だが、MS部隊で目置かれる存在であり、実力でMS部隊を率いていることから、第一次ネオ・ジオン戦争にも参加していたのではないかと推測される。ダークブルーをパーソナルカラーとし、専用のギラ・ドーガに搭乗。戦場に出れば仲間との

連携などは気にせず、自分のやりたいように戦戦を行って、圧倒的な実力で仲間をまとめる技量を持つ。ケラの乗ったジェガンに圧倒する戦いぶりを見せこんどその能力が利するだろう。ニュータイプや強化人間に対しては敵対心を持っており、クエスやギュネイには厳しくあたる一面も持っていた。



攻撃の要さ。地球を任せられ、高機動のやりとりは少ないものの、シャアにもその実力を認められていたと思われる。



戦歴が知られる以前でヘルム・トを戦ったなど、自分なりのセオリーで戦戦の仕方を決めていた。



無敵の機動で暴走し、一気に近距離でトドメを食すなど、MSの機動性の高さを活かせる戦い方を試みる。

## AMS-119

## ギラ・ドーガ(指揮官仕様)

ネオ・ジオン軍の主力MS。強化されたMS開発の基盤から先鋒隊とする。アークの持つ汎用性を突き詰めた新機、完成された量産機。レズンの専用機はダークブルーで塗装されているが、性能は一般機と変わらない。



登場作品	機動戦士ガンダム 必殺のシャア
所属	ネオ・ジオン軍
階級	少尉
機体タイプ	指揮官型
主な搭乗機体	ギラ・ドーガ
戦歴判定	戦死

## ケーラ・スウ

## ロンド・ベルMS部隊のナンバー2パイロット

地球連邦軍の実働部隊であるロンド・ベルに所属する女性パイロット。アムロ・レイが率いるMS部隊においては先鋒を務めており、実質的なナンバー2的な存在だ。女性でありながら戦闘においては勇猛に前方に出て行き、アムロの指示に的確に応えて戦うため信頼も厚い。その信頼感は、アムロが乗機をガンダムに乗り換えた際に、そ

れまで使用していたリ・ガスを受け継いでいる様子からも判る。MSパイロットとして突出した能力を持っていたわけではなく、対MS戦ではジオン軍のレズンに圧倒されたりもしていたが、激突猛進し過ぎないバランス感覚で、アムロ不在時には部隊の要となってロンド・ベル艦隊の要として充分以上の活躍を見せた。



空戦は得意だが、リ・ガスのような、カスミに劣る。空戦する特殊な機体でもしっかりと呼びこき技量を見せた。

RGM-89  
ジェガン

ジムとクモという2系列で開発された量産機を統合して、地球連邦軍の量産型MS。その信頼性は高く、その後も改良型にわたって、運用され続けることになった。

RGM-91  
リ・ガジ

アムロの愛機として使用していた、ガンダムの量産化を目指した試作機。バック・ウェポン・システムによる可変機を持つ。後にケラに引き継がれた。



圧倒的な力もこきないが、MS部隊のナンバー2的なポジションとして仲間にも頼られる能力は充分に持っていた。

登場作品	機動戦士ガンダム 必殺のシャア
所属	地球連邦軍 ロンド・ベル部隊
階級	中尉
機体タイプ	チームワーク型
主な搭乗機体	ジェガン、リ・ガジ
戦歴判定	戦死



## PILOT FILE NO.141 | クェス・パラヤ

## ニュータイプ能力を持つ未熟なパイロット

地球連邦軍参事官アテナウアー・パラヤの娘。戦間に巻き込まれ、ラー・カイラムに保護され、その後シャアのもとに行き、ネオ・ジオン軍のパイロットとなる。ニュータイプ能力を備えており、それを見込まれてニュータイプ専用MSのヤクト・ドーガに搭乗。かつて交流したロンド・ベル隊と敵対することになる。MS操縦技術はさほど高く

内が、ニュータイプ能力の高さを活かしてサイコミュ兵器を扱うことに長け、ファンネルによるオールレンジ攻撃でロンド・ベル艦隊を苦しめた。最終は、自身を犠牲にしたハサウェイを守り、宇宙へと散っていった。



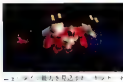
登場作品	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
所属	ネオジオン軍
機体	
機体タイプ	無類型
主な搭乗機体	ヤクト・ドーガ、ロ・アール
機体設定	戦死



シャアを自身の理解者と思ふ身もあるが、結果的に、1人向きだった。



MA・α・ジールに乗り、アムロと直接対決をするクェス。しかし、圧倒的な力の差を見せつけられること。



ニュータイプ能力を活かして、ヤクト・ドーガに搭乗。サイコミュ兵器を使いこなしMSパイロットとして腕を上げる



NZ-333  
α・ジール

これまでのサイコミュ搭載のMS、MAを参考に完成させたNT専用の大型MA。サイコミュ制御で攻撃可能な装備サイコミュ式メガラム、大型メガ粒子砲、ファンネルなどの武装を持つ。



MSN-03  
ヤクト・ドーガ

ヤクト・ドーガをベースに開発されたNT専用MS。赤いカラーリングのクェス機は、ファンネルの他にヒーム・カッターリングを装備。カッターリングと徹底的な攻撃力には大きな性能差はない。

## PILOT FILE NO.142 | ギュネイ・ガス

## ネオ・ジオン軍の先鋒をつとめた強化人間

ネオ・ジオン軍が作りだした強化人間。MSパイロット仲間からは、強化人間であるということから差別的に見られていたが、基本的なMSパイロットとしての才能に加えて、サイコミュ制御によるファンネルを使ったオールレンジ攻撃も可能であったため、自らMSに搭乗して危険任務に向かうシャアの右腕として共に行動し、ボディーガ

ード的な役割も担っていた。強化人間としては精神が安定していたものの、強化人間と言われるのを嫌い、功名心に走るうとするなど、人間らしさも垣間見せたりもした。自分と同じニュータイプ能力を持ち、年齢的にも近いクェスに興味を持ち、行動と共にするうちに恋かれるようになっていった。



強化人間であるため、MSの操縦技術は高く、その能力はやはりエースパイロットクラスだった。



ニュータイプ能力を持つということで、クェスのお目付け役を務めるがその実力は認めていた



クェスと戦い、アムロと会い、結果的に、宇宙戦に巻き込まれるが、最終的にその力によって救われる。

MSN-03  
ヤクト・ドーガ

ネオ・ジオン軍が開発したNT専用機で、同じ、ファンネルの機を装備。機動性とニュータイプ能力を駆使した攻撃を行うことができた。クェスの機体は頭部のアンテナとクェスとイェスで塗装され、機体の特徴はヒーム・カッターリングを装備していた。



登場作品	機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
所属	ネオジオン軍
機体	逆襲
機体タイプ	無類型
主な搭乗機体	ヤクト・ドーガ
機体設定	戦死

## エースパイロットの機体 ② 用いされる特別機

前項(P.86)では、エースパイロットに優先的に配備される機体や、エースパイロット専用のカスタマイズ機などについて紹介した。しかし、宇宙世紀においては、さらにハイペルメカ・エースパイロット用の機体が存在するので、それらを紹介していこう。

まず挙げられるのが特殊試作機、MS-15という兵器は、当初の人類機械兵器という枠組みで固められ、より進化した機能や仕様が発見されていった。例えば、ニュータイプ専用機などは、技術的研究する余地がなく、既存のMSの形での特殊な機体が開発された。そして、それらは戦時中という状況であれどエースパイロットの手によって戦線に投入されること珍しくはなかったのだ。さらには、健康を害しないというハイペルメカの試作機をフロンティアで作り上げようのをはじめ、特定のパイロットが搭乘すること限定した専用機の開発、特定の目的を達成するだけでなく、運生した機体にも存在し、それらの機体ほとんどは、エースパイロットによって運用されていたのだ。



### 特殊試作機

ニュータイプ専用MSや可変MSの量産化に向けた試作機など、特殊なMSの試作機は常態であるため、戦況に応じてエースパイロットに配備されることがあった。戦線に高い性能が求められても、エースパイロットならめえることが可能だった。

### ワンオフ機

グリス戦役時は、ムーハブル フレームの登場によってMSの開発技術が急激に進化した。その結果、量産化を前提にしないワンオフ機による、さまざまなMS開発のトイアルが行われた。もちろん、たった1機のみ生産されるワンオフ機はエースパイロットに高えられることが多かった。



### 特定エース専用機

特定のパイロットの操縦技術が高いため、通常のMSでは性能不足に陥るという状況に合わせ、特定エース専用の機体が開発されることもあった。メガンダムやサザビーはその典型と見入るだろう。

### 特殊目的機

ある特定の目的を達成するためにMSを開発するという、最上級の性能を持つ機体も誕生している。ニュータイプ専用機はニュータイプの感度と封印されたラプソスの毒を調べる機体という、他のMSにはない目的で開発されている。





PROJECT FILE NO.49

## バナージ・リンクス

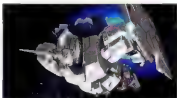
### 運命の機体を乗りこなす覚悟と勇気

インダストリアル7でアナハイム工業専門学校に通っていた民間人の少年。素性不明の少女、オードリー・パニングを救ったことからインダストリアル7で機体運用試験の行なわれていたユニコンガンダムと出会う。幼少期に父親のガイ・アース・ビストから特殊な訓練を受けていたため、インテンション・オートマチック・システムやNT-Dシステムなど特殊な機能を搭載したユニコンガンダムの操縦者としては適任であった。も

っとも、NT-Dシステムの発動時にはシナジーのファンネルをハックして無意識のうちに過剰な攻撃を加えてしまうなど、システムに翻弄されていた。やがて、機体の特性を意図的に制御し、ベースジャバーを駆使しての高空度空中戦からフルアーマー仕様での砲撃戦・接近戦まで戦況を選ばぬ機敏さを発揮。対ネオ・ジオング戦ではシェルドをファンネルのように遠隔操作するなど、本家の仕様にならぬ機体性能をも引き出した。



登場はインテンション・オートマチック・システムとNT-Dシステムの搭載による肉体的負担に苦悶を覚える



メカメカロウ・ハックを駆使されたことで動体視力が向上し、NT-Dシステムの運用の妨げを克服する



サイコフィールドを発生させるなど未知の領域の多いユニコンガンダム。その特性を掌握し、これを武器にする



兄弟機であるバンシィ、并項してNT-Dシステムを発動させてしまう自爆を強制的な意思で抑制した「こちめ」



威力の低いビームアームを開発し、撃破にはならぬ機体数を減らすなどプロらしい技倆を磨いていく



フルアーマー・ユニコンを駆使し、こちめ・MS-06F、トとしての技量とニュータイプ的能力の両方を求められた

#### RX-0

##### ユニコンガンダム1号機 (ユニコンモード)

「UC計画」の基として開発された機体。サイコフィールドを全身に採用した初の機体であり、インテンション・オートマチック・システムによりパイロットの意思を直接的にシステムに伝える



#### RX-0

##### ユニコンガンダム1号機 (ダストロイモード)

近衛レニエータタイプ強化入甲を感知した際、NT-D・ニュータイプ・システムが、メカメカロウ・システムを発動。一部の機体からサイコフィールドを露出させてこの部へ変身する。その重の能力は未知数



#### RX-0

##### フルアーマー・ユニコンガンダム

ハナンの親友であるタケヤの提案による最終決戦用の完全試作機。ト・ロイ・モーターからアストロイ・モーターに変換する際、機体重量が増し、外装が必要ならぬ。よう、配置や変更された。る



RUC1 FZB10450

## リディ・マーセナス

## 出自と執念のはざまで苦悩する戦士

名門マーセナス家の出身で、当初はネエル・アガマに配属されていた。リゼル・デルタプラスと高い位置の要求される可変機を乗り継ぎ、ラー・カイラムへの配置転換時にはトライスターに随伴するほど有能なパイロットとして迎えられた。インダストリアル7宙域戦では民間人を救出して帰投、難産宙域でのノル・ブロンタル急襲時にはリゼルの片足を失うなど、致命傷を負っていない代わりに大きな戦果も残していない。優れた操縦テ

クニ・クを持ちつつも、運に救われる凡庸なパイロットの域を出ていなかった。だが、ジオン残党軍によるトリントン襲撃時には大型モビルスーツのシャムブロを一撃で沈黙させるなど、情け容赦のない冷徹な戦闘スタイルを確立していく。その出自を振り切るようにバンシィ・ノルンのパイロットに志願、新たに追加されたサイコフレーム製の兵装を総構無尽に使いこなし、フルアーマー・ユニコーンガンダムに肉薄した。



個人的不思いからオーブリー・バートンとリゼル・デルタプラスと交際するも、母を救済目的で、リゼル・デルタプラスと離れる。



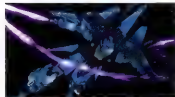
バナーへの執念を手伝ってバンシィ・ノルンのパイロットに志願すると、激戦の中でバンシィ・ノルンに倒れる。



バナーの助言で、リゼル・デルタプラスと離れる。リゼル・デルタプラスと離れる。



ノル・ブロンタルに襲撃されたリゼル・デルタプラスを救済し、リゼル・デルタプラスと離れる。



リゼル・デルタプラスと離れる。リゼル・デルタプラスと離れる。



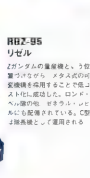
MSN-001A1  
デルタプラス

高次のコンセプトを受け継ぐMSで、重装甲を目的として開発された。ウェイズライダー形態による単機での大気圏突入が可能になっている。バウダースの直前、戦いのみ存在する試作機がリゼル・アガマに支給された。



RX-0(N)  
ユニコーンガンダム2号機  
バンシィ・ノルン  
(ユニコーンモード)

強化人間用だったバンシィ・ノルン。敵パイロットにも機組可能な仕様変更した機体。リゼル・デルタプラスの機体と異なる。リゼル・デルタプラスの機体と異なる。リゼル・デルタプラスの機体と異なる。



RX-0(N)  
ユニコーンガンダム2号機  
バンシィ・ノルン  
(ユニコーンモード)

強化人間用だったバンシィ・ノルン。敵パイロットにも機組可能な仕様変更した機体。リゼル・デルタプラスの機体と異なる。リゼル・デルタプラスの機体と異なる。リゼル・デルタプラスの機体と異なる。



RX-0(N)  
ユニコーンガンダム2号機  
バンシィ・ノルン  
(ユニコーンモード)

強化人間用だったバンシィ・ノルン。敵パイロットにも機組可能な仕様変更した機体。リゼル・デルタプラスの機体と異なる。リゼル・デルタプラスの機体と異なる。リゼル・デルタプラスの機体と異なる。



登場作品	機動戦士ガンダムUC
所属	地球連邦軍リゼル・デルタ
機体	リゼル
機体タイプ	機体タイプ
機体番号	リゼル
機体状態	生存



PLOT FILE NO.152

## トライスター

## ナイジェル・ギャレット／ダリル・マッキネス／ワッツ・ステップニー

「LC計画」にテストパイロットとして参加するはずだったヘアメントによるエース部隊。ラ・カイヤムに配置され、ジェスター機とヘスジャハによるフォーメーションで、主に1G下の空中戦に威力を発揮。敵機の前を交差しながら同タイミングで狙撃するなど立体的な戦法をとる。チーム本来の目的であるユニオンガンダムを管理任務にも就き、ナイジェル隊長の冷静な判断で皆

難な裏事情のある作戦も遂行。この戦術の際にワッツ機が海面に落下するアクシデントが生じフォーメーションが見直されたようで、ワッツ機のみ火力に重点を置いたジェスター・キャノンに変更。シャイアン基地への捜索では友軍機を無傷で行動不能に陥らせる。その鮮やかなチームワークから、旧ジオン公国軍の「黒い三連星」にあやかって「ロンド・ベルの三連星」の異名を持つ。



トロンロンと空を飛ぶ「ユニオン・カラー・ジェスター」は、交戦ワッツ機と連携するヘスジャハのみで戦っている。



ワッツ機、ヘスジャハはユニオンカラー・ジェスターと連携して、敵機を撃破する。この戦術は、敵機を撃破する。この戦術は、敵機を撃破する。



ユニオンガンダム移設時に緊急、ワッツ機、ユニオンガンダムの支援が本来のチーム活動の目的である。



「ユニオン・カラー・ジェスター」は、敵機を撃破する。この戦術は、敵機を撃破する。この戦術は、敵機を撃破する。

登場作品	機動戦士ガンダムUC
所属	地球連邦軍ロンド・ベル隊
機長	大尉 ナイジェル・中尉 ダリル・ワッツ
機体タイプ	攻撃型、チームワーク型
主な搭乗機体	ユニオン・ジェスター
戦術判定	優秀

RGM-96X  
ジェスタ

ジェガン系列の最新鋭機だが、ユニオンガンダムの支援機として開発されたため、卓越した機動力と加速性能を持つ。基本武装はジェガンのものをベースにしているが、位置調整が容易化が図られている。

RGM-96X  
ジェスタ・キャノン

ジェスタに重武装・重装甲を施したタイプ。右腕にビームキャノン、左腕に両腕ミサイルキャノンを装備。両腕にもハンドガン。トナリと見られるが、総合火力がアップしている。機体各部には増設装甲が取り付けられている。



PLOT FILE NO.151

## ガエル・チャン

影から歴史を見守る  
ベテラン軍人

カーディアス・ビストやサイラム・ビストの忠実な付き人だが、その素性は元・連邦軍の軍人である。バーナージを逃がすための時間稼ぎとしてネオ・ジオング相手に奮戦。有線式ハンドやインコムを有効に使いながら、敵が立たないと知ると腰からグレネードを射出するなど悲壮な戦いぶりを見せた。頭部60mmバルカン砲まで駆使するなど、武装をすべて使い切る姿勢に、普段の温厚さとは異なる気風。現役時代の勇猛果敢な戦いぶりを感じさせる。

ARX-014  
シルヴァ・バレット

ネオ・ジオンの開発したドーベン・ウルフを連邦軍が改良した機体。準サイコミュ兵器「インコム」を搭載。ガエルの機体はユニオンガンダムの運用テスト用に整備されていたらしい。



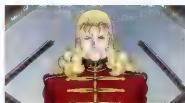
P.L.C. 5月15日

## フル・フロンタル

## デブリの海を切り裂く“赤い彗星”

ネオ・ジオン軍“袖付き”の首魁であるフル・フロンタルは、一機のMSで二隻のクラブ級を撃沈したことから“シャアの亡霊”“赤い彗星の再来”と連邦側から恐れられている。追々中距離からの砲に敵の武装のみを潰す精密狙撃で先手を取り、さらに縦横各面のバーニアをひまめに噴射することで障害物や対空砲火を避けつつ接近し、敵に心理的プレッシャーを与える。真紅の機体色と相俟って、そのスマートな身のこなしは一種のパフォーマンスさを感じているものと思われる。機

を戦域外に待機させ、敵艦に通常の二倍のスピードで接近しているよう認識させるのも、戦略的必要性よりも演出効果を狙ったものであろう。ハイレベルな機体さばきは愛機シンナージュにサイコフレームとインテンションオートマッチングシステムが使われていることと無縁ではない。だが、浮遊するデブリを盾にしてビームを避ける、切り離したプロペラントタンクを誘射させて爆発に見せかけるなどの知能戦は、フロンタルの豊富な実戦経験の賜物と言えるだろう。



年戦争時のシャア・アズナブルの面影を想起させるかのようなマスクを常用しているが、それを人形とみずこと、ためらひはなかった。



「ファーストのバグダッド」の謎のニュー・ジオン軍のバグダッド。そこから、彼を倒すべく迎え入れようとする試み。

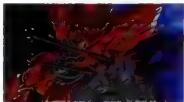
登場作品	機動戦士ガンダム、
所属	ネオ・ジオン連邦軍
階級	大佐
ユーザー	シャア・アズナブル、
主な搭乗機	シンナージュ
機体判定	戦艦

MSN-06S  
シンナージュ

“U計画”で試作されたMSを袖付きが実験的に改良した機体。機能的にニュー・ジオンと共通した部分もあるが、高機動・高加速に特化した強襲MSとして草刈り完成度を得た。

NA-999  
ネオ・ジオン

シンナージュを模倣用のフラッグとする大型モビルスーツ。六本の腕は有線式サイフュード。本体にも六門の大口徑メガ粒子砲を備える。さらにはサイロ・ユニットを展開することで機体周囲にサイロ・ユニットを発生させることが出来る。



「ラプソディの楽」のテーマ。メロディックなメロディ。カ、侵入。その際にはマスクを介した遠隔操作を行った。サイロ・ユニットによってニュー・ジオン軍の全武装を破壊した。バグダッドの命を奪うまでもなく、最後には肉弾戦で勝負をつけようとした。

結核菌は「メロディ」のテーマ。カ、侵入。その際にはマスクを介した遠隔操作を行った。サイロ・ユニットによってニュー・ジオン軍の全武装を破壊した。バグダッドの命を奪うまでもなく、最後には肉弾戦で勝負をつけようとした。



## アンジェロ・ザウパー

## フロントルに心酔する薔薇の騎士

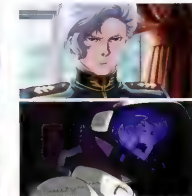
フル・フロントル親衛隊の隊長を務めるアンジェロ大尉は、フロントルの行動に際しては必ず彼に随行して専用にかスタマイズされたMSを駆る。アンジェロにとって、フロントルの戦うフィールドは“薔薇”であり、彼の戦闘を侵犯しないため、時として援護射撃すら控えるほどである。ラプラス紛争の後半、インコミュを操縦したローゼン・ズールを支給されてからのアンジェロは、その好戦的な性格が本質を発揮。オールレンジ攻撃で多数の敵機を死角から狙い込むようにして撃墜する



親衛隊は鉄血のアンジェロ大尉とフロントル大尉、オレンティン大尉、右側の三人から構成される。アンジェロ以外の2人はユニコーンガンダムとの交戦時、戦死している。



ラッセ・ブルーノ大尉の射撃と火力をまかした援護射撃により、アンジェロの戦域を確保。ユニコーンガンダムを親衛隊機と決ま撃ちこしようと試み、こたもあが



フル・フロントルへの忠誠心が強い反面、彼を軽蔑したり蔑視する人間を憎悪する。その真意な性格傾向がユニコーンガンダムとの対決時、原因ともなった。



ザウパー・レール砲の射程距離をロゼン・ズールの広域火力に劣るため、アンジェロの戦域を確保し、援護射撃を味方へつた。その任務は親衛隊のアンジェロの戦域を確保し、援護射撃を味方へつた。



登場作品	鋼鉄戦士ガンダムUC
所属	ネオコン機動軍
階級	大尉
機体タイプ	戦艦タイプ
主な得意機体	ロゼン・ズール
戦歴判定	戦死

### AMS-129 ギラ・ズール アンジェロ・ザウパー専用機

重機型のバックパックを装備した機体。機体のギラ・ズール・バックパックには大型プロペラントタンクと高圧ガス・ノズル・砲・砲が搭載され、長距離支援に優れた設計。作戦によっては、シャクルズとビーム・ショットライフルを使用する。

### YAMS-132 ローゼン・ズール

両腕にインコム・システム搭載の三連メカ銃子砲を持ち、オールレンジ攻撃を行なう。背骨から射出するライコンロケット・ミサイル・兵器を無力化するフィールドを形成。右腕を失った後は、メカ銃子砲を内蔵したフィールドを必要時に展開している。

## 呪われた過去を断ち切る気高い闘志

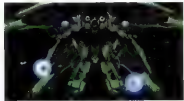


第一次ネオ・ジオンの生み出した強化人間であり、ファンネルを使ったオールレンジ攻撃を得意とする。ただし、この時代には死角からのオールレンジ攻撃は最強の戦術ではなっており、突撃方法も研究されていた。そのため、敵機に懐に入られた場合のビームサーベル戦も後段から考慮していたようで、機体重量のあるクシャトリヤで小型機と互角に切り結んだ。オーガスタ研究所で再調整を受けた後は、サイコフレームを内蔵したバン

ニィでヒム・スマートガンによる追跡離脱撃からヴァイブレーション・ネイルによる接近戦まで、強化人間の戦争本能にまかせて始められた機体性能を存分に引き出した。だが、パイロットとしての技量はクシャトリヤ・リベアードとクシャトリヤ・ベッセルングに継承してからが本領発揮で、連邦製の武装を組み込まれた急ごしっの機体を巧みにコントロールし、その不完全さを武器にして友軍に勝機を与えた。

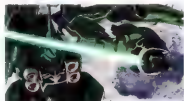


ユニコーンガンダムとマロッド・バスタード・シン・アサヒとは生身で対峙する機会も多かったが、戦場ではない「監視単位」に過ぎないことを強調した。



24歳と若く、ニュータイプ能力も顕著な新人パイロット。CD766年時点では、マロッド・バスタード・シン・アサヒと対峙する。

登場作品	機動戦士ガンダムUC
所属	機動第1連隊
階級	中尉
機体タイプ	ユニタイプ
主な搭乗機体	クシャトリヤ
戦後行状	生存



機体メカニクス、より重視がなされ、自衛の武装はヒム・ヘルのみ。重たい機体で、速く接近戦、戦った。



### RX-0 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ(ユニコーンモード)

この形態では、右腕のアームド・アーマーが「ビーム・スマイトガン」が主な武装となる。単なるビーム兵器ではなく、サイコロ・システム・オートマチック・システムの連動による「予測照準」システムを持つ。

### RX-0 ユニコーンガンダム2号機 バンシィ(デストロイモード)

一号機と同様、NT-0システム発動によって右腕のサイコロ・アームが露出した形態となる。左腕のアームド・アーマーは近接格闘用のサイコロ・アームで、超激速で敵機を内部フレームもろとも破壊する。



### NZ-666 クシャトリヤ

コクピットにサイコフレームを配することで、第一次ネオ・ジオンの開発した大型MAクシャトリヤのコンセプトを20メートル級で実現した。ガンシールドに特長し、ガンシールドの警備任務などに付いた。

### NZ-666 クシャトリヤ・リベアード

ユニコーンガンダムとの戦いで大破した機体をネール・アーガメ艦内の予備パーツで再武装。左腕にハイパー・ビーム・ジャベリン、右腕にビーム・カトリックを装備。ファンネルはファンネル・ミサイルに改造されて、



## PLATE 15. E. B. COLEMAN

ガランシュール隊

ギルボア・サント サボア クワニ アイバン

荷付けに所属する機組員は船客の乗降を最大4機のMSを積載可能で、強化人間用MSクシャットンと3機のギフ・スルを運用する。船長は自衛隊公団空軍出雲のスコール・シンネマンで、航海士のフラスト・スコー。操縦手とMSパイロットを兼任するギルボア・サントラ、一年戦争に従軍したベトナムたちが搭乗している。ギルボアが隊長を務めるMS隊にはサブア、ベッソンといたパイロットが所属し、ガランシュールに降

組された数多なMS用武器を余すところなく使い  
回した。ガラシールは「プラスの箱」回収任  
務をはじめ、大気圏突入性能を以て単独での  
行動が多く、地球で決起した日コン公園軍と接  
触した際、旧来の設備を譲り受けている。新旧を  
問わずに、使える武器は全て使い尽くすのがガラ  
シール隊の習慣で、プアス事件最終局面では  
捕獲した戦艦同様に緑のギラ・ズールにマーキ  
ングをして視界に加えたことがある。



民間船に徴収している」とか、あるいは「水直」で活動する船員のユニフォームは「ラウエの旗」受領のためインダストリアル、あるいは「スミット旗」で活動する。



題のメ、イ知向の知悉、知るる、ま多、増やすこと  
 るエ、ルア、カマの共同教習、製造、キヤス、やスミウ  
 レドバ、た新日の格調をネ、ルア、カマ照、編入、イ



キルネア サントは、感傷パノラマ、家庭を持ち、演劇の土地であるパナノ・ノックスを、時的に保護した。



仕場作品	機動戦士ガンダムⅡ
所属	旭社
階級	不明
エピソード	指揮官型
主眼人物	キース・ル
戦歴判定	戦死 生存 クワ アイハム



アン・ロ・ザウ、横岡雄、ジョー・ブーノ  
 総改を装飾した豪華仕様 作品によては、メ  
 カトロップ造り模倣する。大気圏突入時の戦闘く  
 集わす。さる。



**AMS 129**  
**ギラ・ズール**

槍打きの主力となるキャット・カ  
の後継機。カノンミール陸軍機  
は国産、サイレン・トヤ、年戦  
争末期、開発され、浮遊砲生キ  
ャーなど、用地国産の武器を多く  
含む、国産機。



**AMS-129**  
ギラ・スール  
ネエル・アーガム隊協力仕様

袖付きとネール ア カマの共同組織が落ちた  
後、軍義の格納庫に、同様のもの ス ーが性  
た。 それらの機体はオレンジ色の機体カラー  
を塗らネール ア カマ隊として参戦し





「エース部隊」と呼ばれるチーム

## エリート部隊と結果的にエースになった部隊

戦場にはエース部隊と呼ばれるチームが存在する。チームとして高い戦果を残した結果、一般の部隊よりも強いと評されたことが、「エース部隊」という呼称になる。この「エース部隊」という呼称が、大々分けて二つ存在する。ひとつは前述した通り、チームワークの良さとによって損耗率は低く、また、多くの戦果を挙げたことで「エース部隊」と呼ばれるもの（いわゆる「結果エース部隊」）。もうひとつは、当初から高い戦果を挙げることと期待して、「エース部隊」を創出するために、実力の高いパイロットを集めてチーム編成されたエリート部隊の二つだ。「結果エース部隊」は、上官によって構成された叩き上げの隊員によりて構成されており、個人の技術よりもチームとして評価されている。一方、エリート部隊は、その名前の通りエリートパイロットが集められているため、パイロット個人の技術は高いものの、チームワークに問題が出たり、他の部隊から抜擢されたことも多い。ここでは、エース部隊と呼ばれる二つの部隊の傾向を紹介しよう。

## エリート部隊



## キマイラ隊

一年戦争の後半に、キシリア・ザビの指揮下で編成されたとするエースパイロット部隊。ジョニー・ライオン、トーマス・クルツ、ジェラルド・サカイらが参加。最新鋭のゲルググ系の機体を配し、ア・バオア・クー攻防戦で活躍した。



## ティターンズ

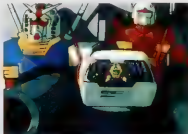
ティターンズ戦争後、ジオン公国軍の残党リトリ部隊として地球連邦軍内に設立された機体特務部隊。エリート部隊とは違い、ティターンズの思想に賛同した士官が多く参加していたため、いわゆる実力の差が埋められたエースパイロット部隊とは異なっている。



## フル・フロンタル親衛隊

ネオ・ジオン機体「袖付き」の中で、首魁であるフル・フロンタルを擁護するために、アンジェロ・ザウバーを中心に組織されたエリート部隊。袖付きの中から若くて戦争成績がいいものが集められている。

## 結果エース部隊



## ホワイトヘース隊

年戦争時に、サイドアから避難した民間人の中から軍人に志願したパイロットを中心に編成された部隊。最悪クラスのエースパイロットであるアムロ・レイを中心に、移動する先々で高い戦果を挙げた結果、ジオン軍からも恐れられる存在となった。



## 不死身の第4小隊

サウス・バニングが率いていた地球連邦軍のMS小隊。一年戦争のソロモン攻防戦、ア・バオア・クー攻防戦という激戦に参加し、高い戦果を挙げながらも一人の戦死者も出なかったためにその名が付いた。



## 第08MS小隊

地球連邦軍南方方面コマロ大隊に所属していたMS小隊。隊長のシロー・アマダがジオン軍とつながるスパイ疑いがかけられたことから最前線送りになるも、戦死者を出すことなくいつもの危険な任務をやり遂げた。

ガンダムコミック  
COMICS

**ACE IN THE GUNDAM**



## コミックスで描かれる エースパイロットの物語



機動戦士ガンダム オレら連邦無道隊  
(作画 曾野由大 脚本 タカブツ)

一年戦争同時に活躍した シム・ストライカ を軸するMS教導隊キメスの活躍を描く。元ボクサーのエースパイロット、ユージ・アルカナを新たなメンバーとして迎えた教導隊が、一年戦争の終結を画策する巨大な陰謀に巻き込まれていく。PS3同ゲーム「タゲットインサイト」、アニメ ゲーム「戦場の絆」と連動した展開がなされていた。



機動戦士ガンダム  
アッガイ北米横断2250マイル  
(作画 曾野由大 脚本 タカブツ)

一年戦争当時、北米大陸のケ・ブカナベール基地でアッガイのパイロットとして配属されていた、メルトとベルズの兄弟は、基地の陥落と共に、教導部隊のメンバーとしてキャリフォルニアへ、スヘ向けに北米横断の戦へ出ることになる。その行く手では、さまざまな人々との出会いが待っていた。『オレら連邦無道隊』とのクロスオーバーも描かれている。

MSに搭載して活躍するエースパイロットは、映像本編だけではなく、コミックスの世界にも多数存在する。一年戦争の外伝的な物語から、キャラクターの新解釈、大胆な設定のアレンジが施されて描かれるコミックスの宇宙世紀では、個性的なエースパイロットたちが多彩な活躍を見せている。ここでは、エースパイロット紹介の番外編としてエースパイロットたちが活躍するコミックスを紹介していく。

(協力) ガンダム・スナック



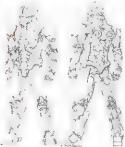
機動戦士ガンダム カタナ  
作画 曾野由大 脚本 タカブツ

JC0084年、軍閥の影響を受けて、ストウの対象となっていた イタリアに駐留する地球連邦軍の対フロ部隊BGST パーケスト。彼らの前に現れた謎の組織メン・フェデルの正体とは? ティターンズが台頭し、混乱の度合いを増す地球圏を舞台に、BGSTの隊員であるフルダ・イットウとガンダムタイプの機体をもつストライカーカスタムの戦いが始まる。『オレら連邦無道隊』の終極的な物語でもある。

表紙イラスト

曾野由大 プロフィール

漫画家、イラストレーター。兵庫県出身。「装甲騎兵ボトムズ AT Stories」、「機動戦士ガンダム オレら連邦無道隊」などのメカアクション漫画を得意としている。漫画家として活動する傍ら SF系の世界観を持つアニメーション作品で美術設定を多数担当。「FREEDOM」、「SHORT PEACE」、「映画のメグランジェ」、「PSYCHO-PASS」(原案のカルガンティア)などに参加。現在、ガンダムシリーズ上で、『アイアンアッガイ』(悪魔下、『アッガイ博士』)を連載中。







機動戦士ガンダム ギレン戦記  
Ark Performance

一年戦争末期に、ジオン公国内で秘密裏に進められていた「ギレン・ザビ暗殺計画」。暗殺隊にジオン公国に入った連邦軍の調査で明らかになった暗殺計画の裏面を、記録映像や機体資料をもとに見せて行くドキュメンタリー形式の物語。劇中では描かれなかった、一年戦争末期のサイド3の状況などが描写され、裏面の物語が展開。サイド3守衛隊部隊で、ギレン親衛隊などのMS資料も登場する。



機動戦士ガンダムMSV-R  
ジョニー・ライデンの帰還  
Ark Performance

UC 0095年を舞台に、一年戦争で散逸した資料を集め、保存する組織であるFSSとそこに所属するテストパイロットのレット・ウェイラインを中心とし、一年戦争の間に隠れてしまった機体と生死不明と書かれているエースパイロット、ジョニー・ライデンの行方の解明を描く。カンダムエース誌上で連載された大月原邦男によるメカデザイン企画「MSV-R」との連動した物語となっている。



機動戦士ガンダム  
光るのア・バオア・クー  
Ark Performance

一年戦争の最終決戦の場となった宇宙要塞ア・バオア・クーの戦いに参加した地球連邦軍、ジオン公国軍の両方の兵士や関係者へのインタビューから、その戦いの現状を描き出すドキュメンタリー形式の物語。「ギレン戦記」(1)と「MSV-R ジョニー・ライデンの帰還」と世界観や設定を異しくしており、両作品に登場するキャラクターの裏面を補足する対比的な物語となっている。



機動戦士ガンダム 宇宙世紀紀実伝  
紅霞のシン・マナナガ  
虎島孝昌

模型企画「ギゼルス ツバサエ・ジョン」で設定されたエースパイロット、シン・マナナガを主人公とした物語。序章はソロモン陥落後のエピソードが描かれ、その後はシン・マナナガの過去に遡ったストーリーが展開する。設定するドスル・ザビに代えて、一年戦争開始時にジオン公国の軍人に志願したシン・マナナガの背景が描かれている。こちらも「MSV-R」との連動企画となっており、アナルヘル・ガト・などの他のエースパイロットも多数登場している。



機動戦士ガンダム 新ジオンの再興  
近藤和久

UC 0089年からUC 0099年の第二次ネオ・ジオン戦争から第二次ネオ・ジオン戦争にかけた時間軸を舞台とした作品である「新ジオンの再興」。その続編としてガンダムX スペース誌上で連載された。MSのつみ、クスでのリアル描写の始祖ともいわれる漫画家の近藤和久による、独自解釈のもとでデザインされたMSが多数登場。正史とは異なる、MSの姿や機やそれらが活躍する戦場の様子が描かれている。



## エースの階級

MSパイロットの階級に見る  
連邦軍とジオン軍の教育プログラムの違い



宇宙世紀  
エースパイロット総覧

ACE PILOT LIST  
U.C.0079-0096

ACE IN THE GUNDAM

種別 種別 種別	種別	種別	種別	種別
001	アマロレイ	RX-78-2 ガンダム RMS-099 リッター・デウス MSG-083 デビル RGZ-91 小惑星 RX-100 リンダム	地球連邦(ホワイトベース隊) ニューギ 地球連邦(リンドバール隊)	機動戦士ガンダム 機動戦士ガンダム 機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
002	ジャブアスオパ ワフ・バジール	MS-066 ザクII MSG-075 ズゴック YMS-14 ザク・ザク MSG-02 ジオンダ RMS-099 リッター・デウス RMS-100 行方 MSG-04 サザン	ジオン公国 ニューギ ネオジオン	* 機動戦士ガンダム 機動戦士ガンダム 機動戦士ガンダム 逆襲のシャア
003	ザム	MS-06F ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム
004	アサヒ	RMS-099 リッター・デウス	ニューギ	機動戦士ガンダム
005	ロベール	RMS-099 リッター・デウス	ニューギ	機動戦士ガンダム
006	カインデン	RX-77 ガンダム	地球連邦(ホワイトベース隊)	機動戦士ガンダム
007	ハヤト・コバヤシ	RX-77 ガンダム RX-75 ガンダム	地球連邦(ホワイトベース隊) ニューギ(カサハ)	機動戦士ガンダム 機動戦士ガンダム
008	ミウ・ホセ	RX-15 ガンダム	地球連邦(ホワイトベース隊)	機動戦士ガンダム
009	スティーヴン	Gフーター FF-3C11 コア・ブラスター	地球連邦(ホワイトベース隊)	機動戦士ガンダム
010	セイラ・マス	Gフーター FF-3C11 コア・ブラスター	地球連邦(ホワイトベース隊)	機動戦士ガンダム 機動戦士ガンダム 機動戦士ガンダム
011	ドズル・ザビ	MS-06F ザクII MSG-075 ズゴック	ジオン公国	機動戦士ガンダム
012	ガルマ・ザビ	MSG-06F ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム
013	マサ・ザビ	YMS-13 ガンダム MSG-075 ズゴック	ジオン公国	機動戦士ガンダム
014	ガイア マサ・ザビ	MS-09 フム MS-06R ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム
015	ランバ・タル	YMS-07B ザクII MSG-05 ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム
016	ナナ・ザビ・ラン	MAM-07 ザクII	ジオン公国(マ・ザビ・ラン隊)	機動戦士ガンダム
017	コウ・ザビ	MAM-03 ザクII	ジオン公国(マ・ザビ・ラン隊)	機動戦士ガンダム
018	カサハ	MAM-07 ズゴック	ジオン公国(マ・ザビ・ラン隊)	機動戦士ガンダム
019	アサハ	MAM-04 ザクII	ジオン公国(マ・ザビ・ラン隊)	機動戦士ガンダム
020	ザラ・ザビ	MAM-10 ザクII	ジオン公国(マ・ザビ・ラン隊)	機動戦士ガンダム
021	トウ	MSG-05 ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム
022	ザク	MSG-06F ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム
023	シャア・アズナブル	MSG-03 ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム
024	サラ・ザビ	MSG-06F ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム
025	シャア・アズナブル	RX-79[G] 機動戦士ガンダム RX-79[G] ザクII	地球連邦(第0085小隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
026	ロバ マイク	RGM-79[G] 機動戦士ガンダム	地球連邦(第0085小隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
027	カレン・ザビ	RX-79[G] 機動戦士ガンダム	地球連邦(第0085小隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
028	テラ・ザビ	RGM-79[G] 機動戦士ガンダム	地球連邦(第0085小隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
029	バリス・ザビ	MS-06F ザクII MSG-075 ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム 第0085小隊
030	アイナ・ザビ アイナ・ザビ	MS-06R-1 宇宙用機動戦士ガンダム アイナ・ザビ アイナ・ザビ	ジオン公国	機動戦士ガンダム 第0085小隊
031	トウ ザク ザク	MS-05 ザクII MS-06C ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム 第0085小隊
032	ザク ザク ザク	MS-06F ザクII	ジオン公国	機動戦士ガンダム 第0085小隊
033	ザク ザク ザク	MSG-07B ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
034	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MS-18C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
035	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
036	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
037	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
038	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
039	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
040	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
041	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
042	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
043	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
044	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
045	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
046	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
047	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
048	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
049	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
050	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
051	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
052	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊
053	ザク ザク ザク	MSG-03C ザクII MSG-03C ザクII	ジオン公国(サイコパズ隊)	機動戦士ガンダム 第0085小隊

曲名	収録	収録	収録
054	ソウラキ	MSX-2+4400 EX-78GP01 ゴンダム試作1号機 EX-78 GP-01F: ゴンダム試作1号機フルバリエーション EX-78 GP-01F: ゴンダム試作1号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 034
055	デュータキ	MSX-2+4400 RG-83 ジムキャノンII	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 034
056	サラム・バスター バスター・バスター バスター・バスター バスター・バスター	RG-79C ジム RG-79D ジムスライパー RG-83 ジムキャノンII RG-79Q ジムスライパー	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 037
057	アサキ・バスター	MS-006A フォクシー MS-14A ゴンダ RG-78GP01A ゴンダム試作1号機 AMA-02 1/24スケール	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 038
058	サキ・バスター	AMA-02 1/24スケール	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 038
059	サキ・バスター	MS-0082 リック・ドム	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 038
060	バスター・バスター	MS-009 1号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 039
061	バスター・バスター	MS-140P ゴンダ (機動戦士ガンダム) AGX-04 ゴンダ・バスター	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 039
062	バスター・バスター	MS-009/TROP ドム・バスター YMS-15M ゴンダ	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 039
063	バスター・バスター	RG-79L ジムスライパー	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
064	バスター・バスター	RG-79C ジムスライパー	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
065	バスター・バスター	MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
066	バスター・バスター	MS-009 1A 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
067	バスター・バスター	MS-0082 2号機 MS-009-2P 機動戦士ガンダム	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
068	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
069	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
070	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-140 ドム	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
071	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
072	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
073	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
074	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
075	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
076	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
077	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
078	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
079	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
080	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
081	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
082	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
083	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
084	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
085	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
086	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
087	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
088	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
089	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
090	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
091	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
092	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040
093	バスター・バスター	MS-009 2号機 MS-009 2号機	機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY 040







# ACE IN THE GUNDAM

U.C.0079 - U.C.0096

宇宙世紀のエースと専用機の系譜

2015年4月1日発行

発行人 ● 要上龍二  
編集人 ● 大橋俊哉  
発行所 ● 株式会社美和出版社  
〒110-0015  
東京都台東区東上野  
3-15-12 野本ビル6階  
営業部・03-3833-8777  
編集部・03-3833-8780  
広告部・03-3833-8735

印刷所 ● 美同印刷株式会社

## staff

Editor in Chief ● 大橋俊哉

Editors & Writers ● 石井誠  
眞島正晃  
廣田恵介  
谷澤光  
山崎雅

Cover Illustration ● 曾野由大

Art Director ● 中川英祐  
(TRIPELINE)

Designer ● 中澤愛子  
特沼めぐみ  
(TRIPELINE)

Special Thanks ● 創通  
サンライズ  
バンダイ  
バンダイナムコゲームス  
KADOKAWA

© 創通・サンライズ







# ACE IN THE GUNDAM

U.C.0079

U.C.0096

宇宙世紀のエースと専用機の系譜

宇宙世紀の  
エースパイロットたち……  
彼らが駆け抜けた戦場と  
名を成さしめた愛機  
その真実に迫る!!

ACE IN THE GUNDAM  
U.C.0079-U.C.0096 宇宙世紀のエースと専用機の系譜

# MOBILE SUIT GUNDAM

機動戦士ガンダム  
機動戦士ガンダム 0080 鋼鉄の降下  
機動戦士ガンダム 0083 ギン・ダイクとの対決  
機動戦士ガンダム 0085 星を継ぐ者  
機動戦士ガンダム MS-06C1 赤い閃光  
GUNDAM THE RIDE (X-1) SAGA Q  
機動戦士ガンダム 0085 STANDSTILL MEMORY  
GUNDAM EVOLVE  
機動戦士ガンダム  
機動戦士ガンダム 0079  
機動戦士ガンダム 0080  
機動戦士ガンダム 0081  
機動戦士ガンダム 0082  
機動戦士ガンダム 0083  
機動戦士ガンダム 0084  
機動戦士ガンダム 0085  
機動戦士ガンダム 0086  
機動戦士ガンダム 0087  
機動戦士ガンダム 0088  
機動戦士ガンダム 0089  
機動戦士ガンダム 0090  
機動戦士ガンダム 0091  
機動戦士ガンダム 0092  
機動戦士ガンダム 0093  
機動戦士ガンダム 0094  
機動戦士ガンダム 0095  
機動戦士ガンダム 0096

EWA BOOK

## ACE IN THE GUNDAM

U.C.0079-U.C.0096

宇宙世紀のエースと専用機の系譜

発行日：2015年4月1日

発行人：野上隆二

編集人：大橋俊郎

発行所：株式会社集英社出版

〒110-0015 東京都港区東上野 3-15-12 野本ビル6階

営業部：03-3833-8777 編集部：03-3833-8780 広告部：03-3833-8735

雑誌：60132-92

定価：本体1,500円＋税



9784865450927

ISBN978-4-86545-092-7

C9476 ¥1500E



1929476015006



EPOCH OF THE JAPANESE  
EPOCH OF THE JAPANESE

EIWA  
MOOK